

**武蔵村山市第三次環境基本計画
策定支援業務委託
市民等意識調査報告書**

令和7年3月



株式会社ナレッジリーン

目 次

1 調査の概要	1
1-1 目的	1
1-2 調査対象・調査方法	1
1-3 調査項目	2
2 市民アンケート調査の結果	3
2-1 回答者属性	3
2-2 住んでいる周辺の環境について	4
(1) 武蔵村山市の周辺環境や行政の支援への満足度	4
(2) 将来に向けて残したい身近な自然や環境	13
2-3 環境に関する取組状況について	14
(1) 環境に関する取組状況	14
(2) 環境活動に取組まない理由	17
(1) 省エネ・再エネ等設備等の導入状況	18
(2) 地球温暖化対策設備機器を導入しない理由	22
2-4 市の環境施策について	23
(1) 市が重点的に取組むべき環境施策	23
(3) 市の環境情報の入手方法	27
2-5 市民の環境活動について	28
(1) 環境活動への参加状況	28
(2) 環境活動に参加したきっかけ	28
(3) 環境活動に参加しない理由	29
(4) 環境活動に参加する機会について	30
2-6 自由意見	31
3 事業者アンケート調査の結果	36
3-1 事業所属性	36
3-2 事業所の環境活動について	37
(1) GX の取組の認知度	37
(2) GX の取組状況について	38
(3) 事業所で取り組んでいる環境活動	39
(4) 地球温暖化対策設備機器の導入状況	41
3-3 環境活動における効果と課題について	45
(1) 環境活動で得られた効果	45
(2) 環境活動を進めるにあたっての課題	45
(3) 気候変動適応策の取組状況	46
3-4 環境施策について	47
(1) 市が重点的に取組むべき環境施策	47
(2) 市の環境情報の入手方法	48

3-5 望ましい支援について.....	50
(1) 市が実施すると望ましいサポート.....	50
3-6 地域の環境活動について.....	50
(1) 取り組んでいる地域環境活動	50
(2) 取組の状況	51
(3) 協力、支援の意向.....	51
3-7 自由意見.....	52
4 調査結果のまとめ.....	53
4-1 気候変動対策	53
4-2 循環型社会の形成	54
4-3 自然共生社会	54
4-4 安全・安心・快適な生活環境	55
4-5 環境教育・パートナーシップ	56
巻末資料	資-1
① 市民アンケート調査票	資料-2
② 事業者アンケート調査票	資料-10

1 調査の概要

1-1 目的

武蔵村山市では、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間の計画（令和 2 年度中間見直しを実施）である「武蔵村山市第二次環境基本計画」を策定し、「みどり」と「暮らし」をみんなで育む「住み良いまち」を目指すべき環境像として掲げ、計画に沿ってさまざまな環境施策を進めてきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えるため、気候変動や生物多様性など昨今の国内外の社会的情勢の変化を踏まえながら、令和 8 年度を初年度とする「武蔵村山市第三次環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民と事業者の皆様から、環境に関する取組状況などをお伺いするため、アンケート調査を実施しました。

1-2 調査対象・調査方法

	市 民	事業者
調査対象	武蔵村山市に住む 満 18 歳以上の 2,000 人	武蔵村山市内の事業所 500 か所
抽出法	「住民基本台帳」からの 無作為抽出	市内事業所からの抽出
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答	
調査期間	令和 6 年 10 月 1 日～10 月 18 日	
配布数	2,000	500
回収数 (うち WEB 回答数)	622 (93)	117 (26)
回収率	31.1%	23.4%

<参考：年齢別回収率>

年齢	発送数	回収数	回収率
18~29	298	39	13.1%
30~39	247	42	17.0%
40~49	337	71	21.1%
50~59	405	123	30.4%
60~69	262	111	42.4%
70~	451	234	51.9%
不明		2	
合計	2,000	622	31.1%

1-3 調査項目

区 分	調査項目
市 民	①周辺環境や行政の支援への満足度（問 1） ②将来に向けて残したい身近な自然や環境（問 2） ③普段取り組んでいる環境に関する取組（問 3・問 4） ④省エネ・再エネ等設備の導入状況（問 5・問 6） ⑤市が重点的に取組むべき環境施策（問 7） ⑥環境情報の入手方法（問 8） ⑦市民の環境活動と今後の予定（問 9～問 10） ⑧回答者属性（問 11～問 16）
事業者	①GX の取組の認知度と取組状況（問 1-1・1-2） ②事業所の環境活動と今後の予定（問 2-1・2-2） ③省エネ・再エネ等設備の導入状況（問 3） ④環境活動における効果と課題（問 4・問 5） ⑤気候変動適応策の取組状況（問 6） ⑤市が重点的に取組むべき環境施策（問 7） ⑥環境情報の入手方法（問 8） ⑦市が実施すると望ましいサポート（問 9） ⑧地域での環境活動と今後の意向（問 10・問 11） ⑨回答者属性（問 12～問 18）

※集計にあたっての留意点

- ・ 回答結果は、小数点第 2 位を四捨五入のうえ割合を示しているため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、全体の回答数に対する割合を示しているため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ 数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（有効回答数）を示しています。
- ・ 各設問において、回答の記入がないもの、回答が識別できないものについては、「不明」として扱っています。

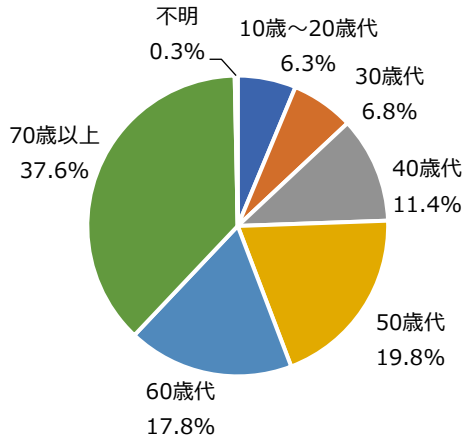
※前回調査との比較について

- ・ 本調査結果の分析を行うにあたり、平成 26 年度に実施された「武蔵村山市第二次環境基本計画」策定時のアンケート調査結果を前回調査結果として比較を行っています。

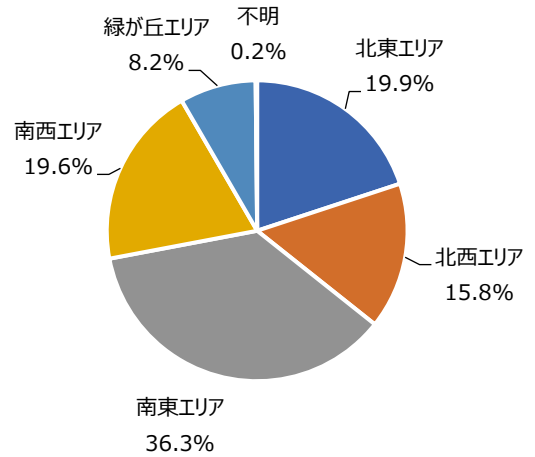
2 市民アンケート調査の結果

2-1 回答者属性

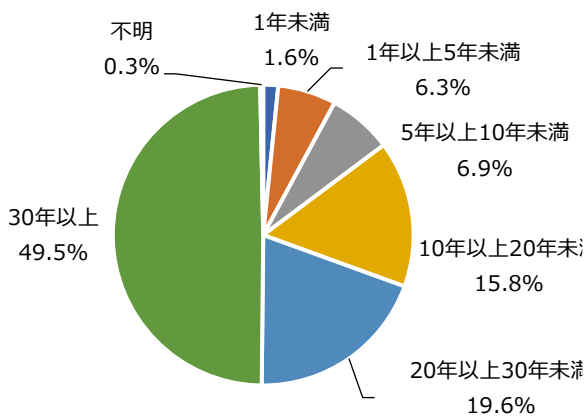
<年齢>



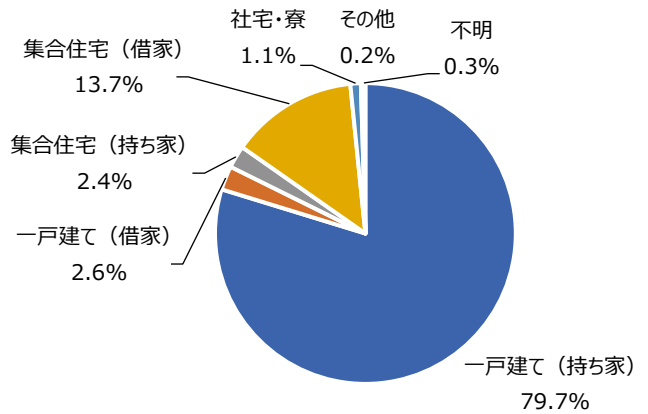
<居住エリア>



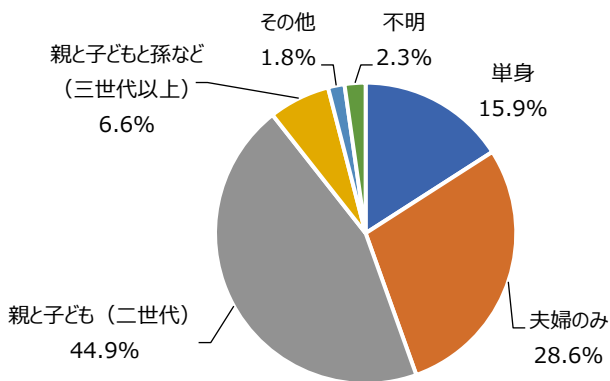
<居住年数>



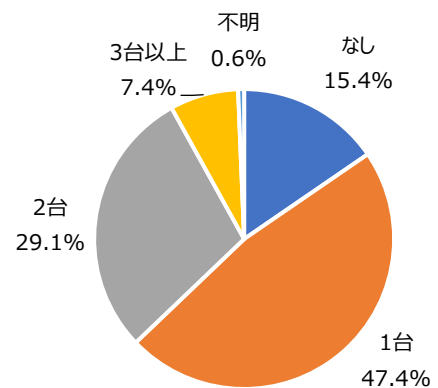
<住居の形態>



<世帯構成>



<自動車保有台数>



2-2 住んでいる周辺の環境について

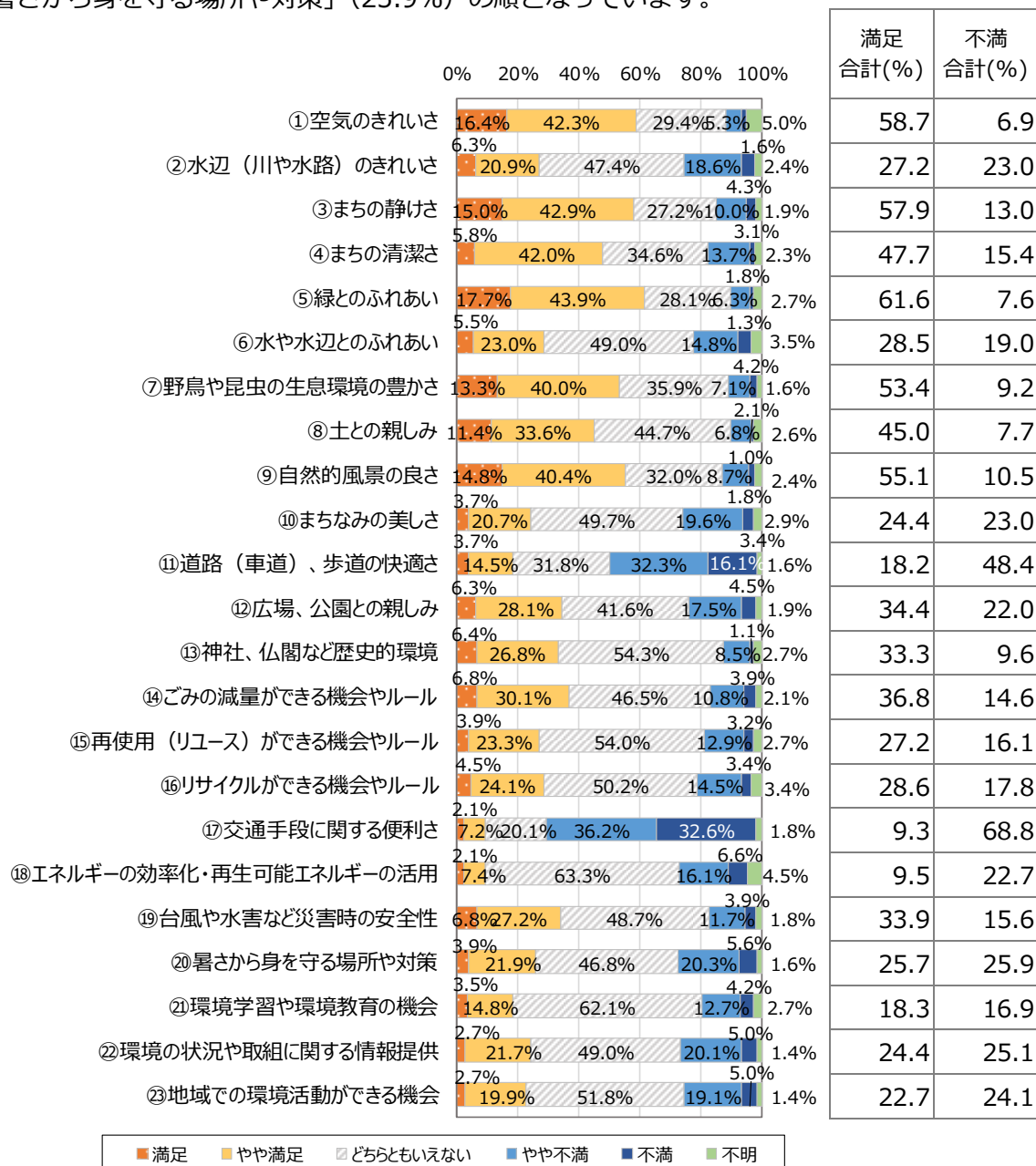
(1) 武蔵村山市の周辺環境や行政の支援への満足度

問 1 お住まいの周辺環境（身近な環境）や行政の支援について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度について、1～5の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

武蔵村山市の環境や行政の支援についてどのように感じていることを聞いたところ、『満足合計』（「満足」と「やや満足」の合計）が50%を超えていた項目は、23項目中5項目でした。

「満足」と「やや満足」の合計が最も高かったのは「⑤緑とのふれあい」（61.6%）で回答者の6割上が満足と感じています。次に「①空気のきれいさ」（58.7%）、「③まちの静けさ」（57.9%）の順で続きます。

一方、『不満合計』（「やや不満」と「不満」の合計）の割合が最も高かった項目は「⑰交通手段に関する便利さ」（68.8%）で7割近くにのぼりました。次に「⑱道路（車道）、歩道の快適さ」（48.4%）、「⑳暑さから身を守る場所や対策」（25.9%）の順となっています。



【周辺の環境に対する満足度】

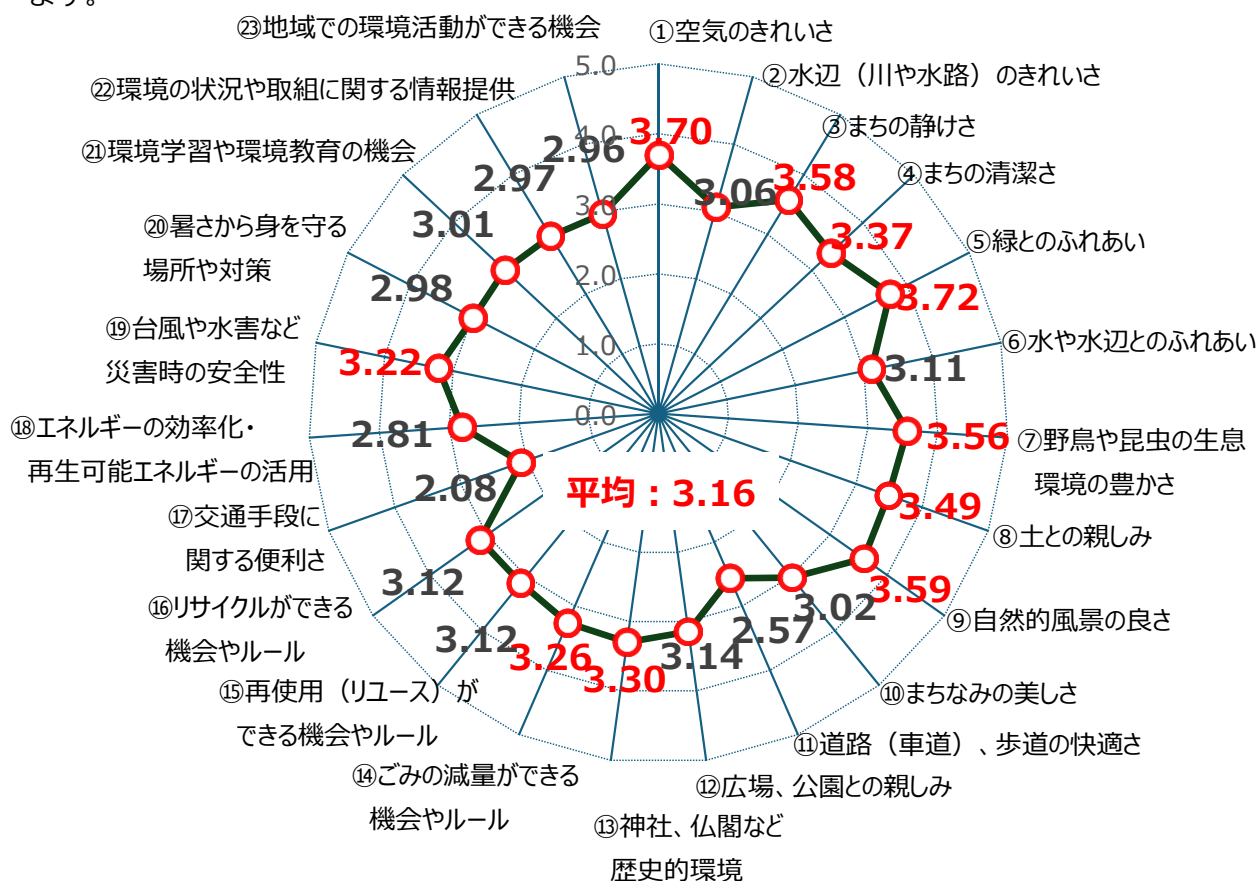
『満足合計』と『不満合計』の両方が多いケースなどでは一概に満足度が高いと判断できないため、すべての回答に配慮した指標を『満足度点』として以下の方法で算出しました。

$$\text{満足度点} = \frac{\text{「満足」回答数} \times 5 + \text{「やや満足」回答数} \times 4 + \text{「普通」回答数} \times 3 + \text{「やや不満」回答数} \times 2 + \text{「不満」回答数} \times 1}{\text{回答者数 (不明除く)}}$$

この結果、満足度点の平均は 3.16 となり、10 項目で平均を超えていました。

満足度点が最も高かったのは「⑤緑とのふれあい」(3.72)であり、次に「①空気のきれいさ」(3.70)、「⑨自然的風景の良さ」(3.59)の順となりました。『満足合計』と比較すると、上位2位までは同一の項目で、3位の「③まちの静けさ」は満足度点では4位(3.58)でした。

満足度点が最も低かったのは「⑩交通手段に関する便利さ」(2.08)で、次に「⑪道路(車道)、歩道の快適さ」(2.57)、「⑧エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用」(2.81)の順で続いています。



【前回調査(平成26年度)との比較】

比較可能な項目について前回調査(平成26年度)と比較すると、ほぼ全ての項目で『満足合計』は向上していました。最も大きく上昇していたのは「台風や水害など災害時の安全性」(前回は「地震、災害に対する安全性」)で17.4ポイント上昇しています。次に「環境の状況や取組に関する情報提供」(14.5ポイント)、「神社、仏閣など歴史的環境」(12.9ポイント)の順に大きく上昇していました。

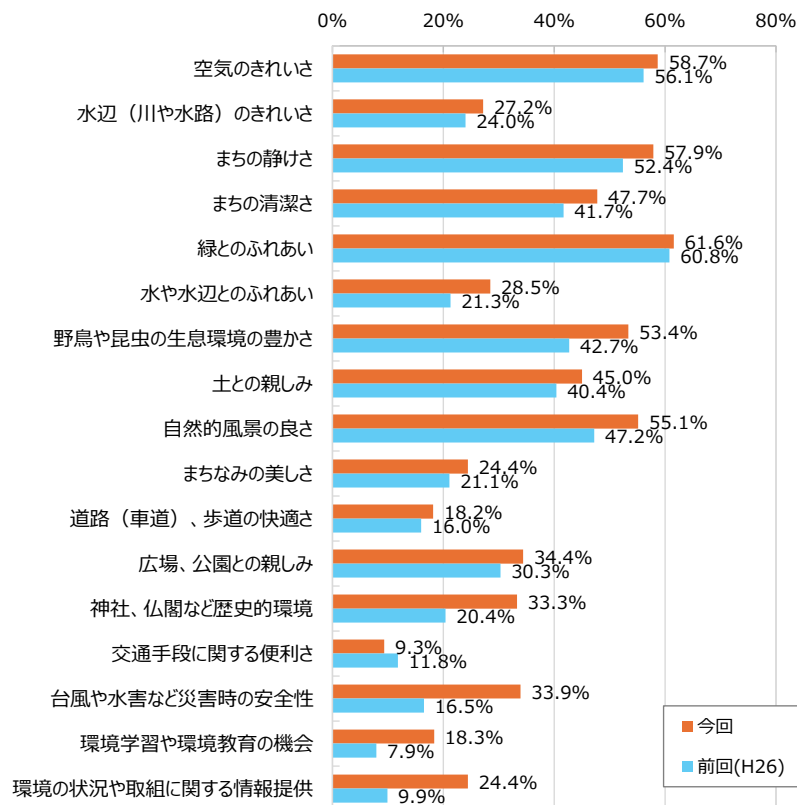
一方、『満足合計』が低下していたのは「交通手段に関する便利さ」で、前回比2.5ポイントの低下となりました。

満足合計・不満合計の比較

項目	令和6年度調査		平成26年度調査		変化量	
	満足合計 (%)	不満合計 (%)	満足合計 (%)	不満合計 (%)	満足合計	不満合計
空気のきれいさ	58.7	6.9	56.1	11.8	2.6	▲4.9
水辺（川や水路）のきれいさ	27.2	23.0	24.0	31.4	3.2	▲8.4
まちの静けさ	57.9	13.0	52.4	17.5	5.5	▲4.5
まちの清潔さ	47.7	15.4	41.7	22.4	6.0	▲7.0
緑とのふれあい	61.6	7.6	60.8	9.3	0.8	▲1.7
水や水辺とのふれあい	28.5	19.0	21.3	26.2	7.2	▲7.2
野鳥や昆虫の生息環境の豊かさ	53.4	9.2	42.7	14.9	10.7	▲5.7
土との親しみ	45.0	7.7	40.4	12.5	4.6	▲4.8
自然的風景の良さ	55.1	10.5	47.2	17.2	7.9	▲6.7
まちなみの美しさ	24.4	23.0	21.1	28.5	3.3	▲5.5
道路（車道）、歩道の快適さ	18.2	48.4	16.0	54.9	2.2	▲6.5
広場、公園との親しみ	34.4	22.0	30.3	27.6	4.1	▲5.6
神社、仏閣など歴史的環境 <3>	33.3	9.6	20.4	22.6	12.9	▲13.0
交通手段に関する便利さ	9.3	68.8	11.8	26.5	▲2.5	42.3
台風や水害など災害時の安全性 <1>※	33.9	15.6	16.5	71.3	17.4	▲55.7
環境学習や環境教育の機会	18.3	16.9	7.9	18.0	10.4	▲1.1
環境の状況や取組に関する情報提供 <2>	24.4	25.1	9.9	24.2	14.5	0.9

<1>～<3> は変化量が上昇した上位3つを示しています。

※平成26年度の項目は「地震、災害に対する安全性」となっています。



満足度点について前回調査（平成 26 年度）と比較すると、変化量の上昇が最も大きかったのは「台風や水害など災害時の安全性」（前回は「地震、災害に対する安全性」）で 1.27 ポイント上昇しています。次に「神社、仏閣など歴史的環境」（0.35 ポイント）、「水辺（川や水路）のきれいさ」「水や水辺とのふれあい」「自然的風景の良さ」（いずれも 0.2 ポイント）の順に大きく上昇していました。低下したのは「交通手段に関する便利さ」で 0.75 ポイント低下しています。

満足度点の比較

項目	令和 6 年度 調査	平成 26 年度 調査	変化量
空気のきれいさ	3.70	3.61	0.09
水辺（川や水路）のきれいさ <3>	3.06	2.86	0.20
まちの静けさ	3.58	3.44	0.13
まちの清潔さ	3.37	3.22	0.15
緑とのふれあい	3.72	3.71	0.01
水や水辺とのふれあい <3>	3.11	2.92	0.20
野鳥や昆虫の生息環境の豊かさ	3.56	3.38	0.19
土との親しみ	3.49	3.37	0.12
自然的風景の良さ <3>	3.59	3.39	0.20
まちなみの美しさ	3.02	2.87	0.15
道路（車道）、歩道の快適さ	2.57	2.39	0.17
広場、公園との親しみ	3.14	3.00	0.14
神社、仏閣など歴史的環境 <2>	3.30	2.95	0.35
交通手段に関する便利さ	2.08	2.84	▲0.75
台風や水害など災害時の安全性 <1>※	3.22	1.95	1.27
環境学習や環境教育の機会	3.01	2.85	0.15
環境の状況や取組に関する情報提供	2.97	2.82	0.15

<1>～<3> は変化量が上昇した上位 3 つを示しています。

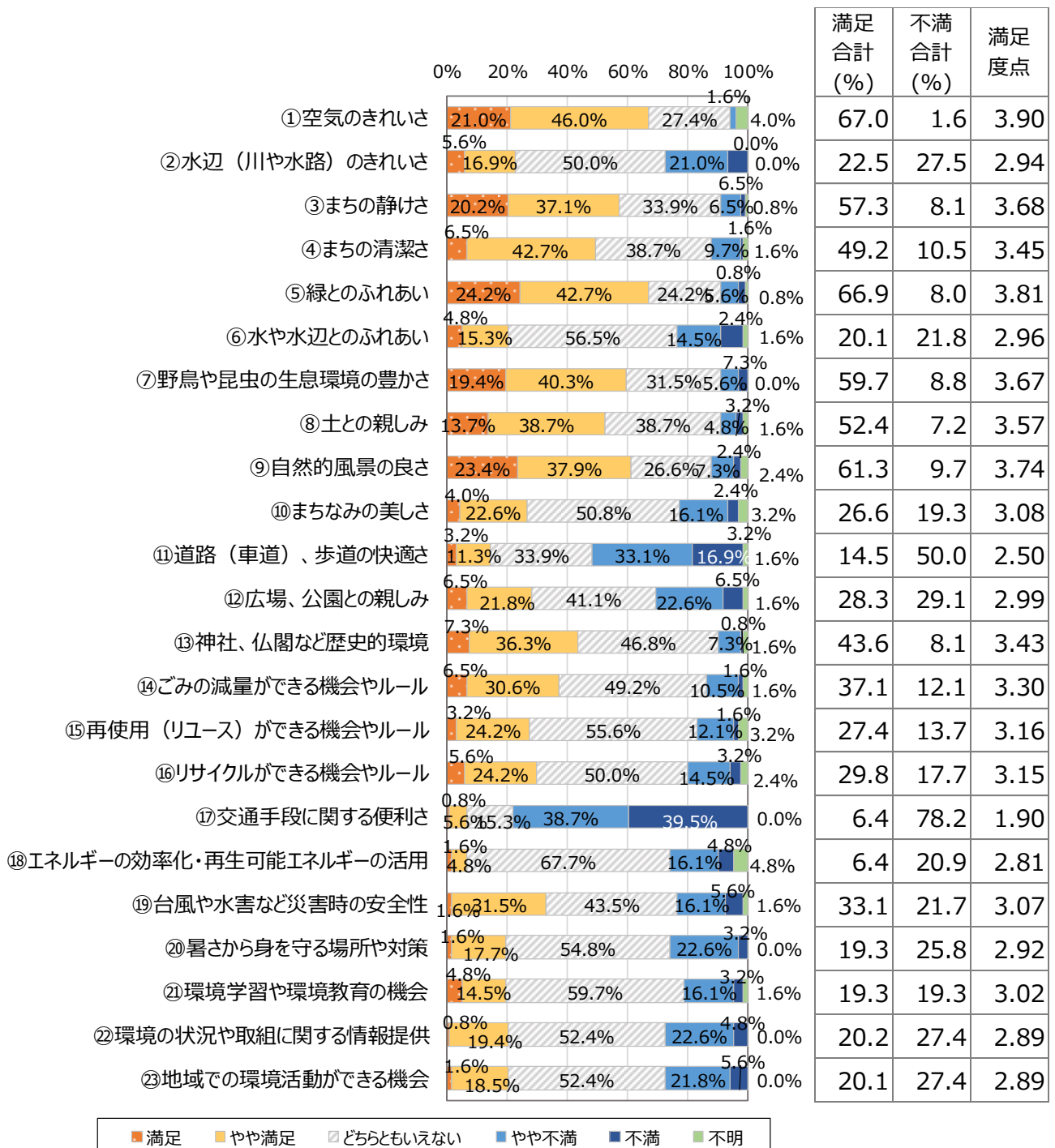
※平成 26 年度の項目は「地震、災害に対する安全性」となっています。

【居住エリア別周辺環境に対する満足度】（クロス集計）

●北東エリア（中藤、神明、中央、本町）

満足度点が高い上位3つは、「①空気のきれいさ」（3.90）、「⑤緑とのふれあい」（3.81）、「⑨自然的風景の良さ」（3.74）であり、『満足合計』も「①空気のきれいさ」（67.0%）、「⑤緑とのふれあい」（66.9%）、「⑨自然的風景の良さ」（61.3%）同様の順となっています。

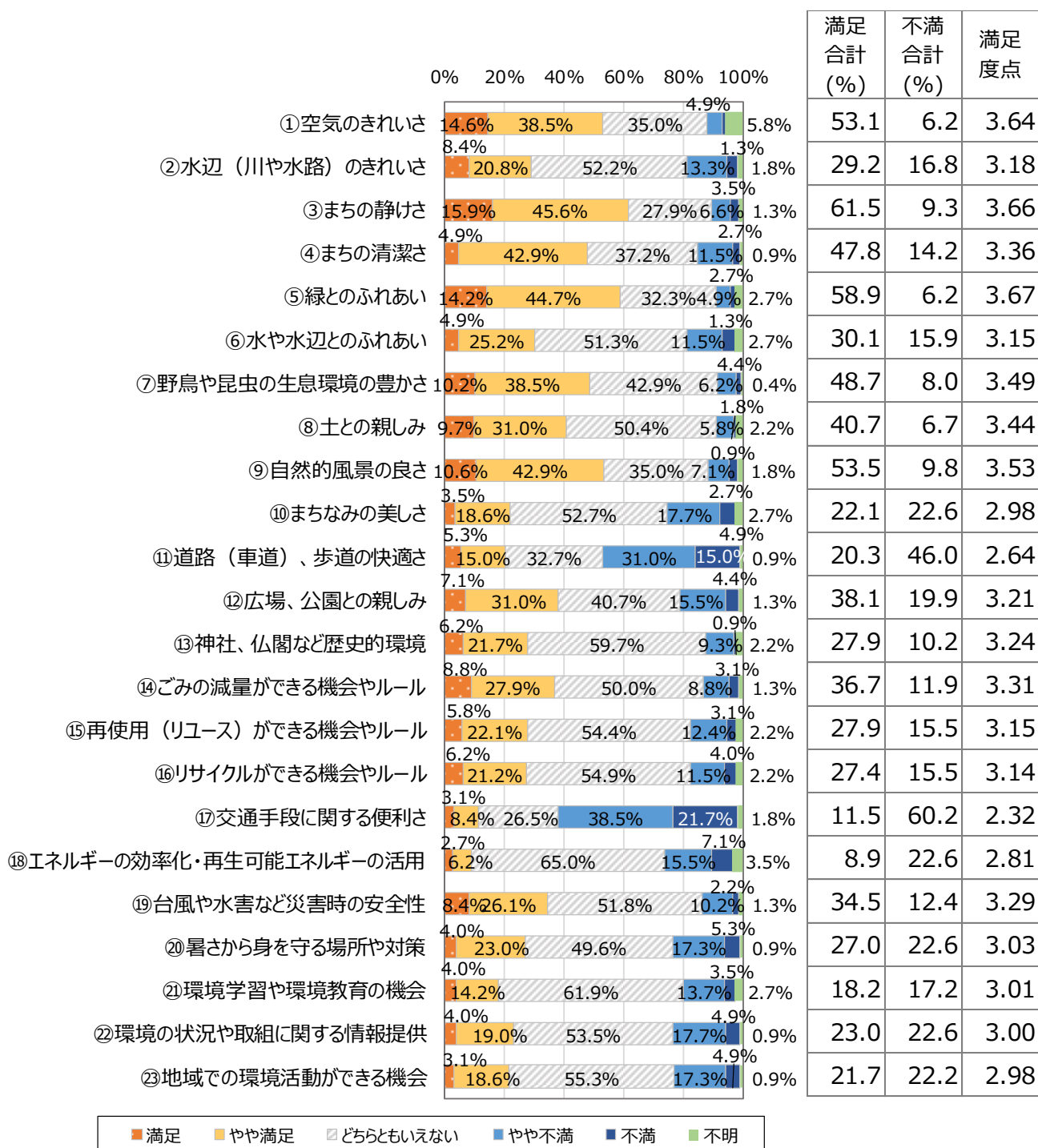
満足度点が高い項目は、「①7交通手段に関する便利さ」（1.90）、「①1道路（車道）、歩道の快適さ」（2.50）、「①8エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用」（2.81）でした。『不満合計』の上位3つは、「①7交通手段に関する便利さ」（78.2%）、「①1道路（車道）、歩道の快適さ」（50.0%）、「①2広場、公園との親しみ」（29.1%）の順となっています。



●南東エリア（榎、学園、大南）

満足度点が高い上位3つは、「⑤緑とのふれあい」(3.67) が最も高く、「③まちの静けさ」(3.66)、「①空気のきれいさ」(3.64) の順となっています。『満足合計』は「③まちの静けさ」(61.5%)、「⑤緑とのふれあい」(58.9%)、「⑨自然的風景の良さ」(53.5%) の順となっています。

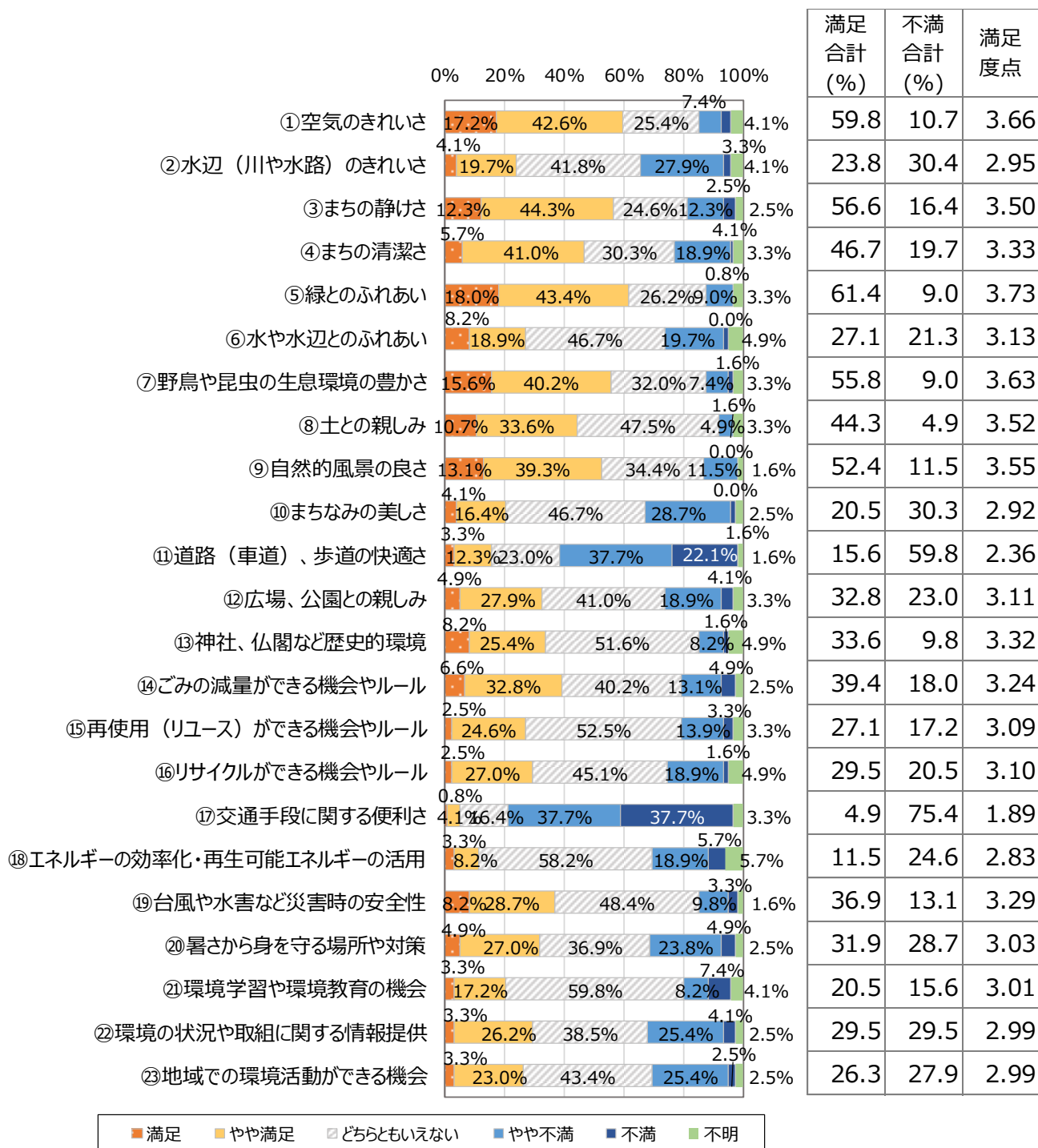
満足度点が低い項目は、「⑰交通手段に関する便利さ」(2.32)、「⑩道路（車道）、歩道の快適さ」(2.64)、「⑱エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用」(2.81) の順です。『不満合計』の上位3つは、「⑰交通手段に関する便利さ」(60.2%)、「⑩道路（車道）、歩道の快適さ」(46.0%)、「⑩まちなみの美しさ」「⑱エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用」「⑳暑さから身を守る場所や対策」「㉑環境の状況や取組に関する情報提供」(いずれも 22.6%) の順となっています。



●南西エリア（残堀、伊奈平、三ツ藤）

満足度点が高い上位3つは、「⑤緑とのふれあい」（3.73）、「①空気のきれいさ」（3.66）、「⑦野鳥や昆虫の生息環境の豊かさ」（3.63）です。『満足合計』は「⑤緑とのふれあい」（61.4%）「①空気のきれいさ」（59.8%）、「③まちの静けさ」（56.6%）の順となっています。

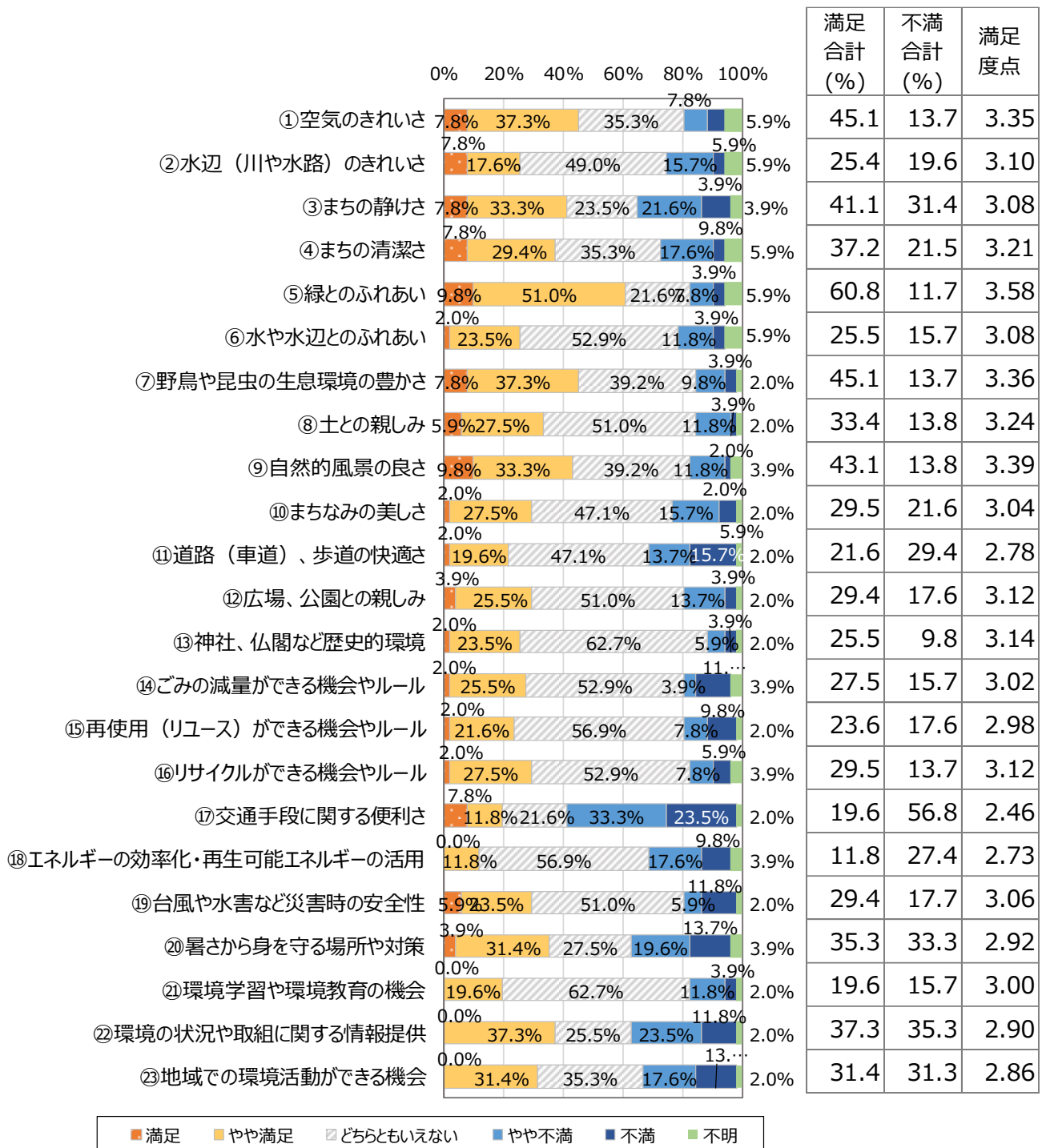
満足度点が高い項目は、「⑦交通手段に関する便利さ」（1.89）、「⑩道路（車道）、歩道の快適さ」（2.36）、「⑩エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用」（2.83）の順です。『不満合計』の上位3つは、「⑦交通手段に関する便利さ」（75.7%）、「⑩道路（車道）、歩道の快適さ」（59.8%）、「②水辺（川や水路のきれいさ）」（30.4%）の順となっています。



●緑が丘エリア（緑が丘）

満足度点が高い上位3つは、「⑤緑とのふれあい」（3.58）、「⑨自然的風景の良さ」（3.39）、「⑦野鳥や昆虫の生息環境の豊かさ」（3.36）、です。『満足合計』は「⑤緑とのふれあい」（60.8%）、「①空気のきれいさ」と「⑦野鳥や昆虫の生息環境の豊かさ」が同率（45.1%）の順となっています。

満足度点が高い項目は、「⑦交通手段に関する便利さ」（2.46）、「⑩エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用」（2.73）、「⑪道路（車道）、歩道の快適さ」（2.78）の順です。『不満合計』の上位3つは、「⑦交通手段に関する便利さ」（56.8%）、「②環境の状況や取組に関する情報提供」（35.3%）、「⑩暑さから身を守る場所や対策」（33.3%）の順となっています。



(2) 将来に向けて残したい身近な自然や環境

問 2 市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所がありますか。
ある場合は、具体的な地名とその理由を3つまでご記入ください。

市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所を聞いたところ、235人(37.8%)の方から回答があり、延べ件数は376件となりました。3人以上から回答があった場所とその理由は下表のとおりでした。

地名	出現数	主な理由
野山北・六道山公園	114	豊かな自然が残されており、貴重な生き物が見られる、散策に適している、混雑せずに自然に触れられる など
野山北公園自転車道・水道道路・横田トンネル群	43	桜が見られる、散歩やサイクリングに適している、自動車が通らないので安全、歴史と自然が豊か、多摩地域の文化遺産 など
狭山丘陵(狭山緑地・狭山湖)	32	市民が身近に利用できる、四季を楽しめる など
里山民家	27	昔の家が残されていて珍しい、ピクニックに良い など
残堀川	20	緑が多く良い環境、散歩に適している、子どもが遊べる など
大南公園	20	水生生物や野鳥が見られる、川沿いの桜並木がきれい など
村山温泉かたくりの湯	19	温泉施設、市民の憩いの場、観光の目玉になる など
伊奈平の林・ターザン森(海道緑地保全地域)	10	カブト虫などの貴重な生き物が見られる、工場地帯にある自然、木々が残されている、緑があって空気が綺麗 など
湖南衛生組合菖蒲園	10	花が楽しめる、近隣住民の憩いの場所、小学生が遠足にゆく など
空堀川	5	水辺の保全と水害対策、隅田川の上流、鴨や野鳥が飛来する など
玉川上水	5	森林浴を楽しめる、歴史ある水路、歩くのに気持ちが良い など
雷塚公園	4	ネイチャーゲームをしている、自然がそのまま残されている など
多摩湖	4	自然が豊か、散策コース など
真如苑(旧プリンスの森)	4	空間があり、空が広く見渡せて、富士山が見られる など
野山北・六道山公園あそびの森(アスレチック)	4	山の木々の中で地形を利用した遊びができる、子ども達に対して自然への好奇心を提供できる場所 など
公園	4	大小公園を災害にも強い、皆がくつろげる場所にしてほしい など
畑、農地	4	市内の農業や農産物が多くなるのもっと身近になるとよい、若い人が農業など従事したいと思った際に残しておくべき など
番太池	3	ホタルが生息して貴重な場所 など
みかん園	3	幼稚園でもミカン狩りを経験し、子どもも嬉しそうだった など

上記のほか、2人以下の回答は以下のものでした。

西大南樹林公園、大南東公園、プリンスの丘公園、山王森公園、多摩開墾、武蔵村山総合体育館・運動場、カタクリ群生地、野山の池、野山北公園プール、砂川公園、浄水場跡公園、東大南児童遊園、お伊勢の森神社、鍛冶ヶ谷～岸の全寺社、公務員宿舎跡の木、横田児童遊園、団地内公園、さいかち公園、つくし公園、見晴橋付近の広場(公園)、山林、原山地域運動場、龍の入不動尊、三ツ木地域運動場、村山団地内の木々、東京経済大学、本町3丁目5丁目付近の山間・谷間、緑が丘学園地区の自然、今ある山をどこもこれ以上減らしたくない、岸、三本榎、武蔵村山市榎1丁目更地周辺、神社、南西地区、かぶと橋周辺

2-3 環境に関する取組状況について

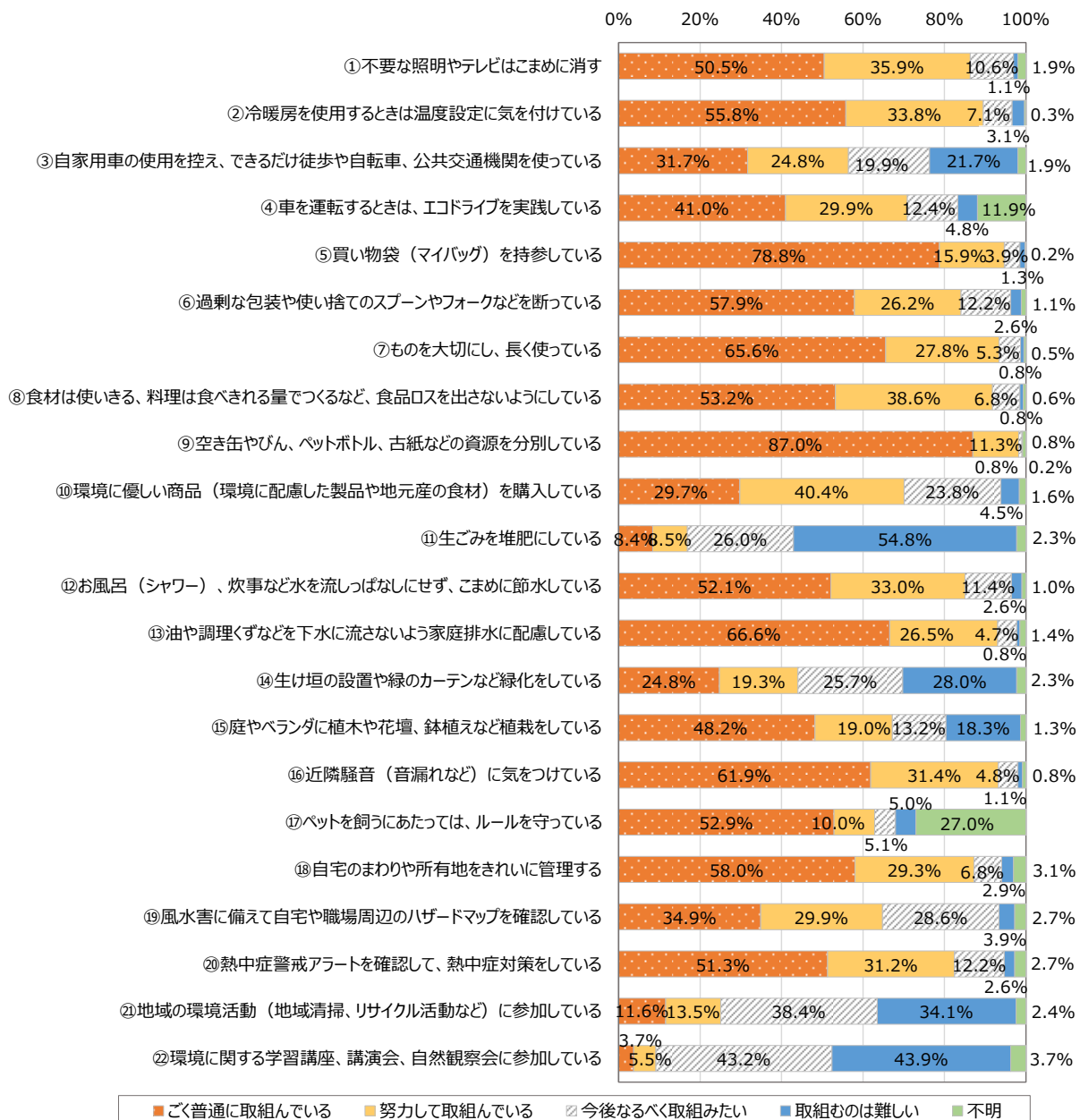
(1) 環境に関する取組状況

問3 環境に関する取組について、普段あなたが取組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、1～4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

「取組んでいる」（「ごく普通に取組んでいる」と「努力して取組んでいる」の合計）の割合が最も高かったのは、「⑨空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している」で98.2%とほとんど全ての人が取組んでいます。次に「⑤買い物袋（マイバッグ）を持参している」（94.7%）、「ものを大切に、長く使っている」（93.4%）の順でした。

「今後なるべく取組みたい」では、「⑫環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している」（43.2%）、「⑭地域の環境活動（地域清掃、リサイクル活動など）に参加している」（38.4%）、「⑲風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している」（28.6%）の順に高い結果でした。

「取組むのは難しい」では、「⑪生ごみを堆肥にしている」（54.8%）、「⑫環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している」（43.9%）、「⑭地域の環境活動（地域清掃、リサイクル活動など）に参加している」（34.1%）の順に高い結果でした。



【年代別の環境行動の取組状況】（クロス集計）

「取組んでいる」（「ごく普通に取組んでいる」と「努力して取組んでいる」の合計）の年代別の集計結果を下表に示します。色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。（％）

項目	全体 (n=622) ※不明含む	10歳～ 20歳代 (n=39)	30歳代 (n=42)	40歳代 (n=71)	50歳代 (n=123)	60歳代 (n=111)	70歳以上 (n=234)
①不要な照明やテレビはこまめに消す	86.3	84.6	85.7	84.5	87.0	87.4	86.8
②冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている	89.5	79.5	73.8	88.7	83.7	94.6	94.9
③自家用車の使用を控え、できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関を使っている	56.4	59.0	45.2	52.1	48.0	58.6	63.2
④車を運転するときは、エコドライブを実践している	70.9	53.8	73.8	67.6	81.3	78.4	65.4
⑤買い物袋（マイバッグ）を持参している	94.7	87.2	92.9	97.2	93.5	91.9	97.4
⑥過剰な包装や使い捨てのスプーンやフォークなどを断っている	84.1	71.8	69.0	85.9	85.4	84.7	87.6
⑦ものを大切に、長く使っている	93.4	92.3	88.1	90.1	91.9	93.7	96.2
⑧食材は使いきる、料理は食べきれぬ量でつくるなど、食品ロスを出さないようにしている	91.8	87.2	90.5	85.9	90.2	97.3	92.7
⑨空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している	98.2	92.3	95.2	100.0	99.2	98.2	98.7
⑩環境に優しい商品（環境に配慮した製品や地元産の食材）を購入している	70.1	43.6	54.8	60.6	62.6	78.4	80.3
⑪生ごみを堆肥にしている	16.9	17.9	4.8	14.1	11.4	13.5	24.4
⑫お風呂（シャワー）、炊事など水を流しっぱなしにせず、こまめに節水している	85.0	84.6	71.4	83.1	78.9	88.3	89.7
⑬油や調理くずなどを下水に流さないよう家庭排水に配慮している	93.1	92.3	88.1	94.4	90.2	97.3	93.6
⑭生け垣の設置や緑のカーテンなど緑化をしている	44.1	30.8	26.2	35.2	30.1	45.9	59.0
⑮庭やベランダに植木や花壇、鉢植えなど植栽をしている	67.2	53.8	47.6	62.0	59.3	72.1	76.5
⑯近隣騒音（音漏れなど）に気を付けている	93.2	84.6	76.2	93.0	94.3	97.3	95.3
⑰ペットを飼うにあたっては、ルールを守っている	62.9	76.9	71.4	70.4	77.2	65.8	47.9
⑱自宅のまわりや所有地をきれいに管理する	87.3	82.1	83.3	88.7	92.7	91.9	83.8
⑲風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している	64.8	51.3	66.7	63.4	63.4	66.7	67.5
⑳熱中症警戒アラートを確認して、熱中症対策をしている	82.5	66.7	76.2	77.5	80.5	90.1	85.0
㉑地域の環境活動（地域清掃、リサイクル活動、緑化活動、自然環境保全活動など）に参加している	25.1	17.9	31.0	31.0	20.3	20.7	27.8
㉒環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している	9.2	7.7	9.5	14.1	6.5	8.1	9.8

【前回調査（平成 26 年度）との比較】

比較可能な項目について前回調査（平成 26 年度）と比較すると、13 項目中 6 項目で向上し、7 項目で低下しています。最も向上していたのは「生け垣の設置や緑のカーテンなどで緑化をしている」で 14.4 ポイント上昇していました。次に「買い物袋（マイバッグ）を持参している」（11.6 ポイント）、「自家用車の使用を控え、できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関を使っている」（6.4 ポイント）の順に上昇幅が大きくなっています。

最も低下が大きいのは「ペットを飼うにあたっては、ルールを守っている」で 18.4 ポイント低下しています（前は「ペットを飼う場合に、近所に迷惑をかけないようにする」）。次に「庭やベランダに植木や花壇、鉢植えなど植栽をしている」（8.1 ポイント）、「地域の環境活動（地域清掃、リサイクル活動など）に参加している」（2.5 ポイント）の順に低下していました。

項目	令和 6 年度 調査	平成 26 年度 調査	変化量
自家用車の使用を控え、できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関を使っている <3>	56.4	50.0	6.4
買い物袋（マイバッグ）を持参している <2>	94.7	83.1	11.6
過剰な包装や使い捨てのスプーンやフォークなどを断っている ※1	84.1	84.9	▲0.8
ものを大切にし、長く使っている	93.4	92.4	1.0
環境に優しい商品（環境に配慮した製品や地元産の食材）を購入している ※2	70.1	70.3	▲0.2
生ごみを堆肥にしている	16.9	12.9	4.0
油や調理くずなどを下水に流さないよう家庭排水に配慮している ※3	93.1	93.7	▲0.6
生け垣の設置や緑のカーテンなど緑化をしている <1>※4	44.1	29.7	14.4
庭やベランダに植木や花壇、鉢植えなど植栽をしている	67.2	75.3	▲8.1
ペットを飼うにあたっては、ルールを守っている ※5	62.9	81.3	▲18.4
自宅のまわりや所有地をきれいに管理する	87.3	82.3	5.0
地域の環境活動（地域清掃、リサイクル活動など）に参加している ※6	25.1	27.6	▲2.5
環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している ※7	9.2	11.5	▲2.3

<1>～<3> は変化量が上昇した上位 3 つを示しています。

※については、平成 26 年度の設問では以下の表現となっております。

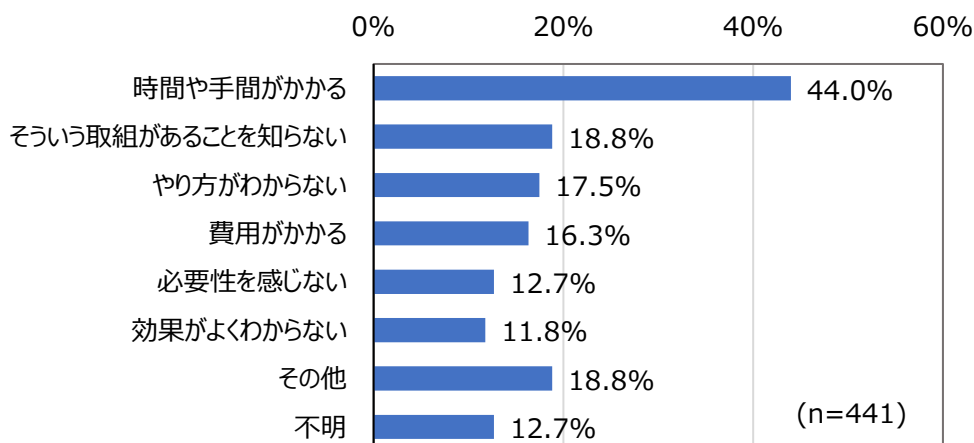
※1：過剰な包装は断る／※2：環境に配慮した製品を購入する／※3：天ぷら油などの廃油をそのまま流さないようにする／※4：ブロック塀を生垣に変えて、緑豊かにする／※5：ペットを飼う場合に、近所に迷惑をかけないようにする／※6：道路、公園、川などの清掃作業、美化活動に参加する／※7：講演会や自然観察会などの環境イベントに参加する

(2) 環境活動に取り組まない理由

問4 問3で1つでも「取り組むのは難しい」と回答した方にご質問します。理由としてあてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動に取り組まない理由を聞いたところ、「時間や手間がかかる」(44.0%)が最も多く、次に「そういう取組があることを知らない」(18.8%)、「やり方がわからない」(17.5%)、「費用がかかる」(16.3%)の順となっています。

その他の回答では、住居環境的な理由、健康状態や身体的な理由、移動手段、時間的制約、場所・スペース的な理由などが挙げられています。



<その他の回答>

その他として寄せられた意見を整理した結果を下表に示します。

区分	主な理由
住居環境	マンション・集合住宅のため/生け垣や花壇がない/または設置できない/庭がない/ベランダでの土の扱いが困難/戸建てではない/賃貸物件のため
健康状態・身体的な理由	高齢であるため/体調不良/体力が無い/身体的に無理/足が不自由/歩行困難/半身麻痺/腰痛/身体の老化/持病がある
移動手段	車に乗らない/車の免許を返納/公共交通機関が不十分/自家用車が必須
時間的制約	仕事がある/時間がない/平日の昼間の時間帯/親の介護をしている/家族のことで手一杯
ペット	ペットを飼っていない/都営住宅などでペットが飼えない
堆肥化・コンポスト	堆肥の捨て場に困る/生ごみを堆肥にしても使えない/堆肥を作るのに虫が来る/コンポストの臭いが気になる/コンポストの大きさが気になる/キエー口はハードルが高い
場所・スペース	設置する土地がない/場所がない/スペースがない
その他	高齢で皆と一緒にすることが困難/実践できる場所に住んでいない/機会がない/所有地内での対応が可能か不明/大学の予定地で始めることが難しい/周りとの関係/自然環境より生活環境を良くしたい/駅・商店が離れている/自営業/設問が難しい/子どもが小さい

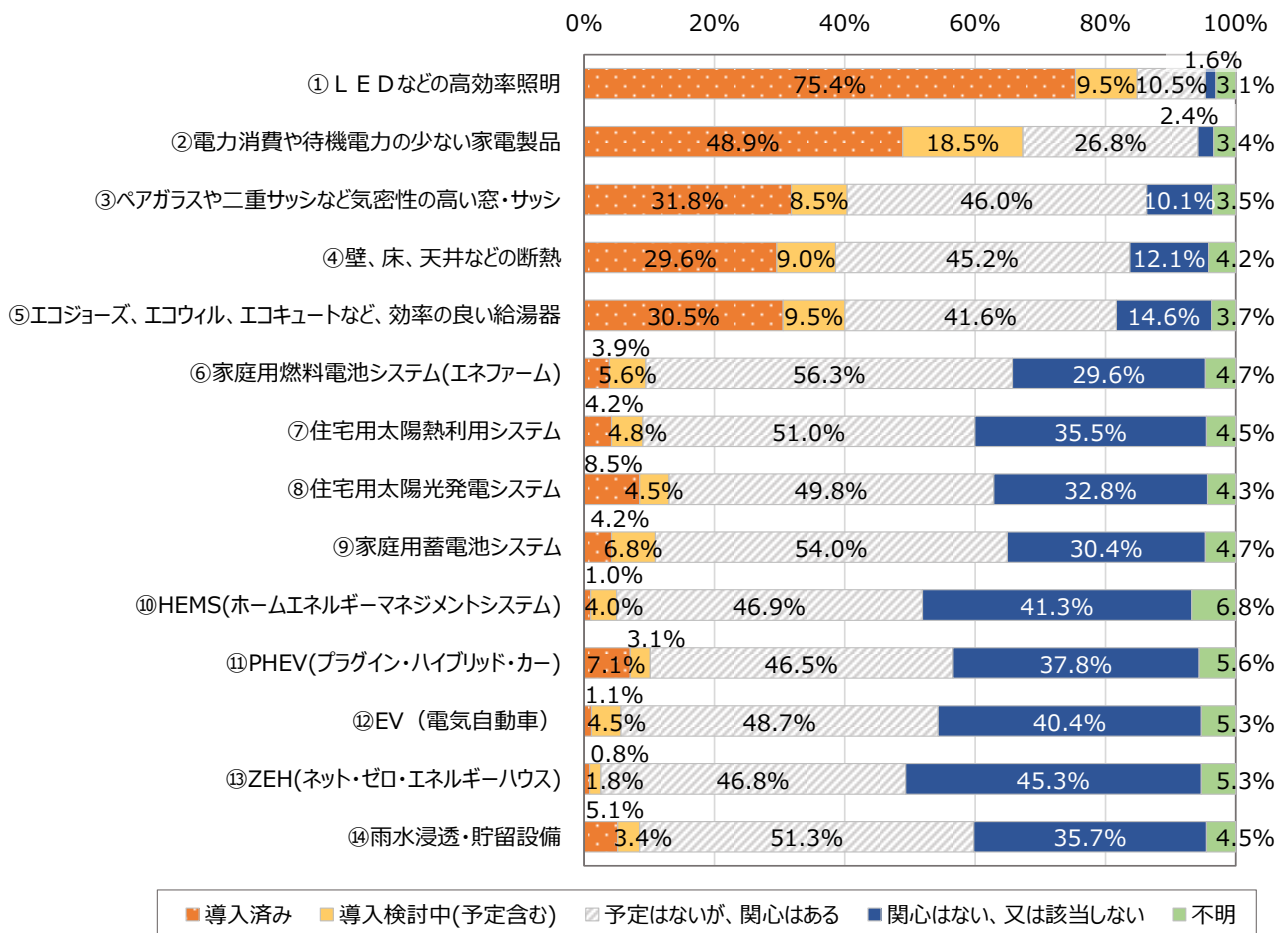
(1) 省エネ・再エネ等設備等の導入状況

問5 電気やガスなどエネルギー使用量の削減につながったり、水害対策となる設備等について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、1~4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

省エネ・再エネ等設備の導入状況を聞いたところ、『導入済み』は「①LEDなどの高効率照明」(75.4%)が最も高く、次に「②電力消費や待機電力の少ない家電製品」(48.9%)、「③ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ」(31.8%)の順に多くなっています。

『導入検討中(予定含む)』では、割合が最も高かったものは「②電力消費や待機電力の少ない家電製品」(18.5%)であり、ついで「①LEDなどの高効率照明」「⑤エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器」(共に9.5%)、「④壁、床、天井などの断熱」(9.0%)の順でした。

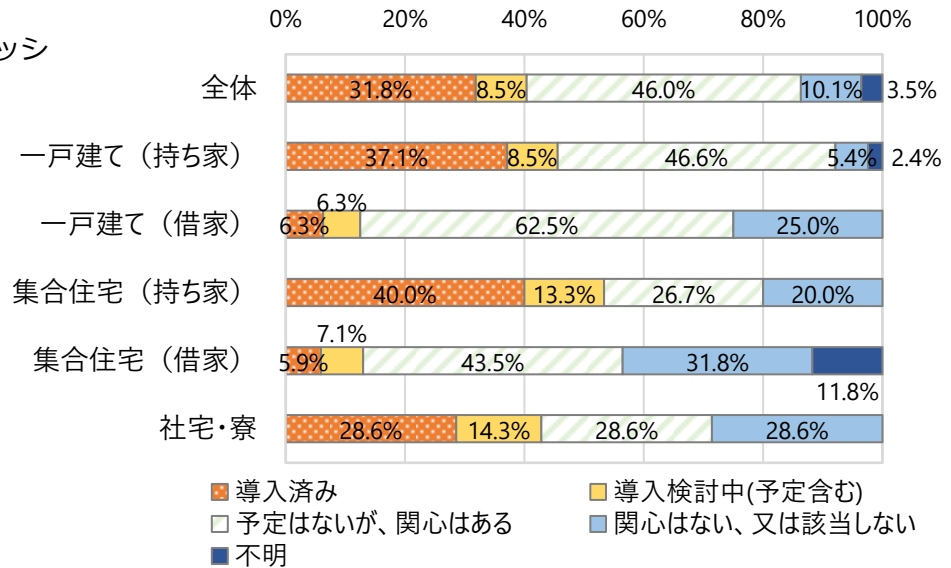
また、『導入予定はないが、関心はある』については、「⑥家庭用燃料電池システム(エネファーム)」(56.3%)、「⑨家庭用蓄電池システム」(54.0%)、「⑭雨水浸透・貯留設備」(51.3%)の順に高くなっています。



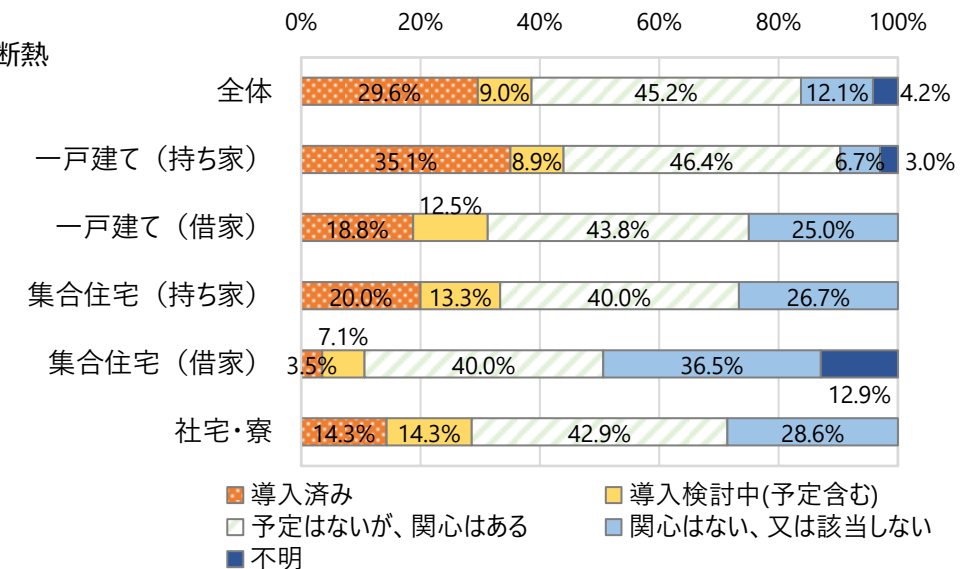
【居住形態別の導入状況】（クロス集計）

問5の設問項目のうち、住宅設備に関わる項目について、回答者の住居形態別に集計した結果を以下に示します。

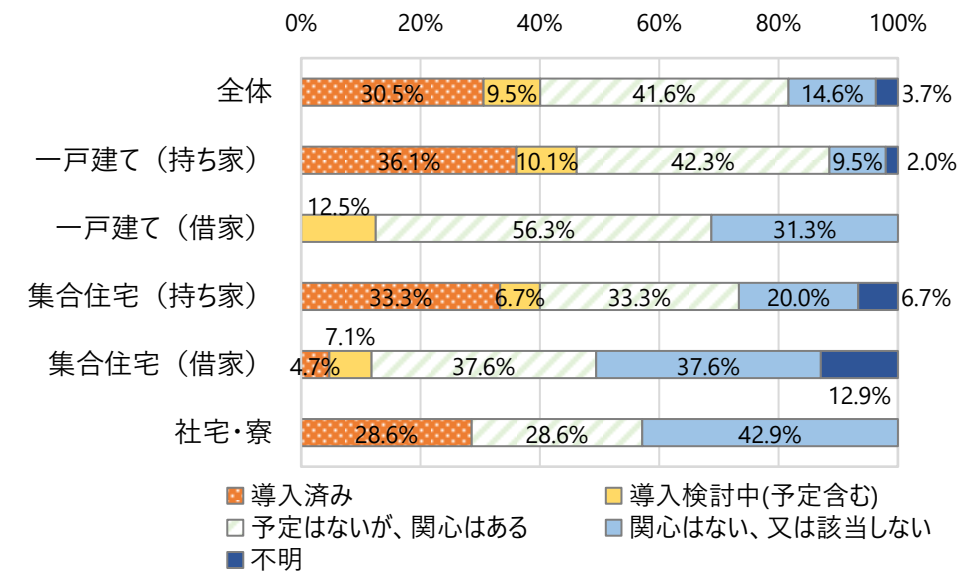
①ペアガラスや二重サッシ



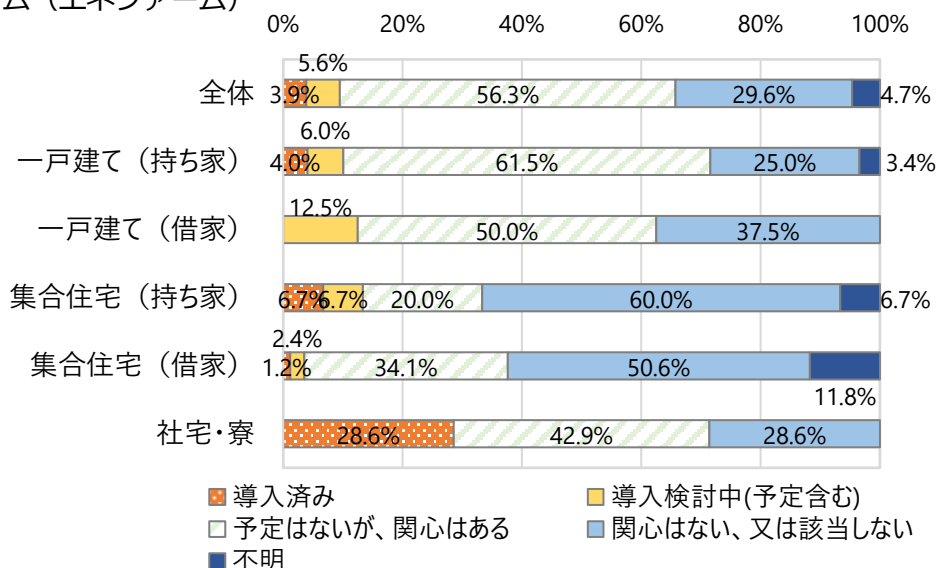
②壁、床、天井などの断熱



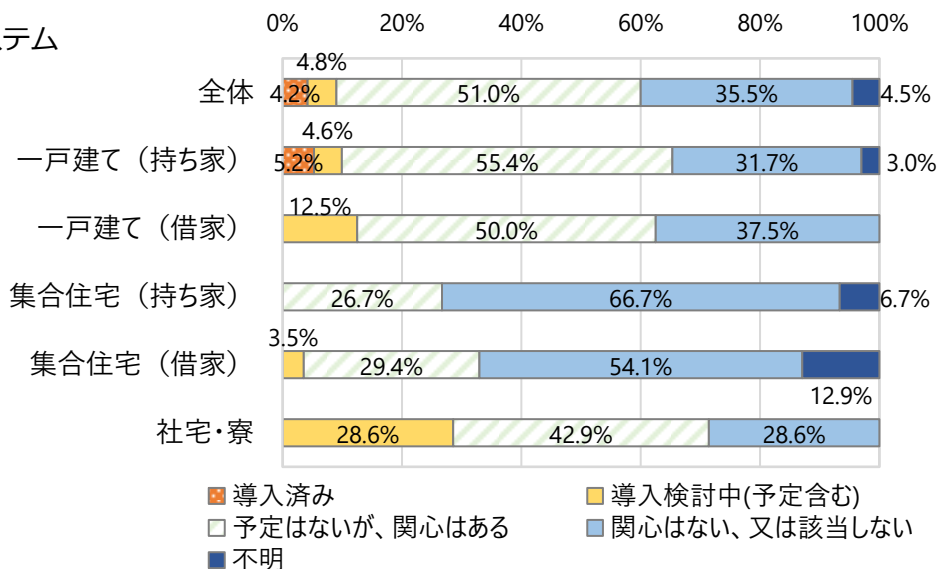
③エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器



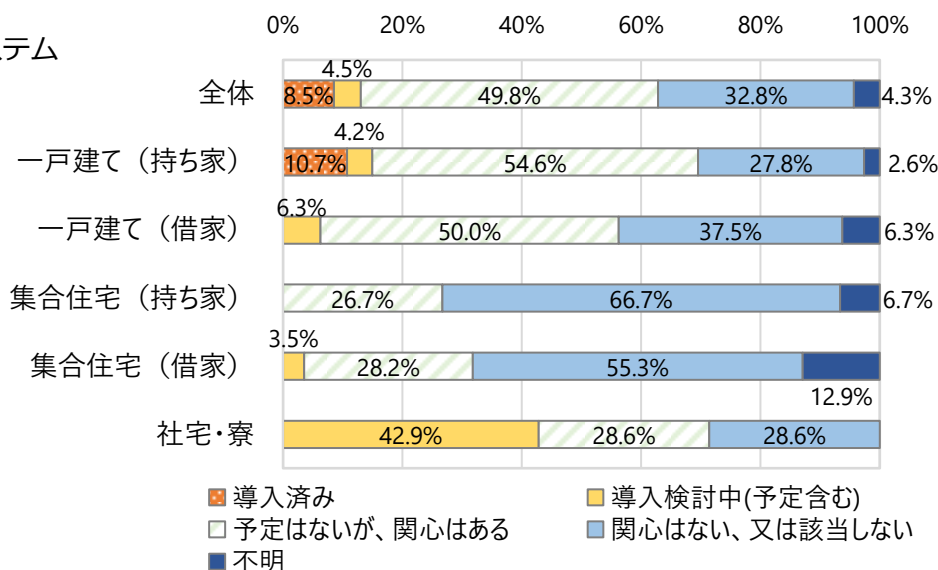
④ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）



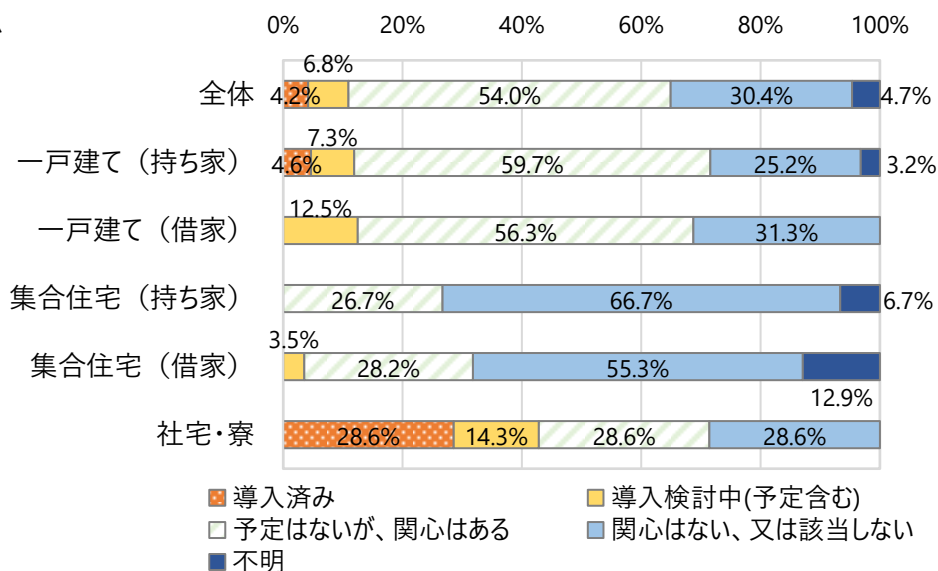
⑤ 住宅用太陽熱利用システム



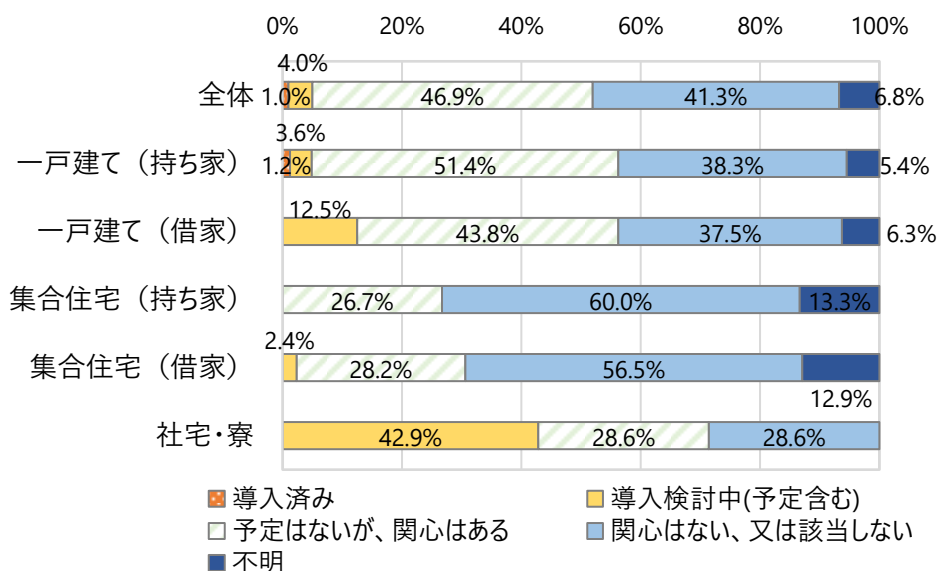
⑥ 住宅用太陽光発電システム



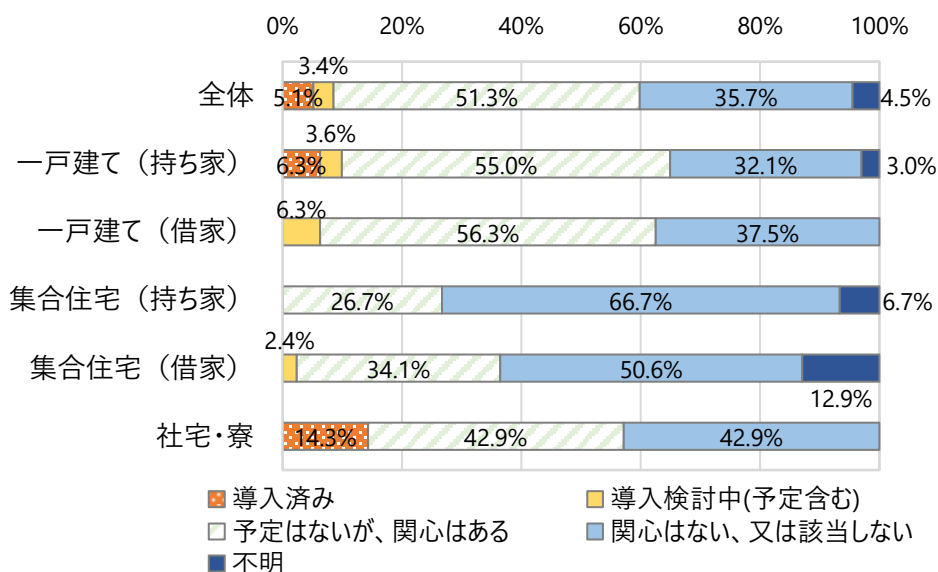
⑦家庭用蓄電池システム



⑧HEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム)



⑨雨水浸透・貯留設備

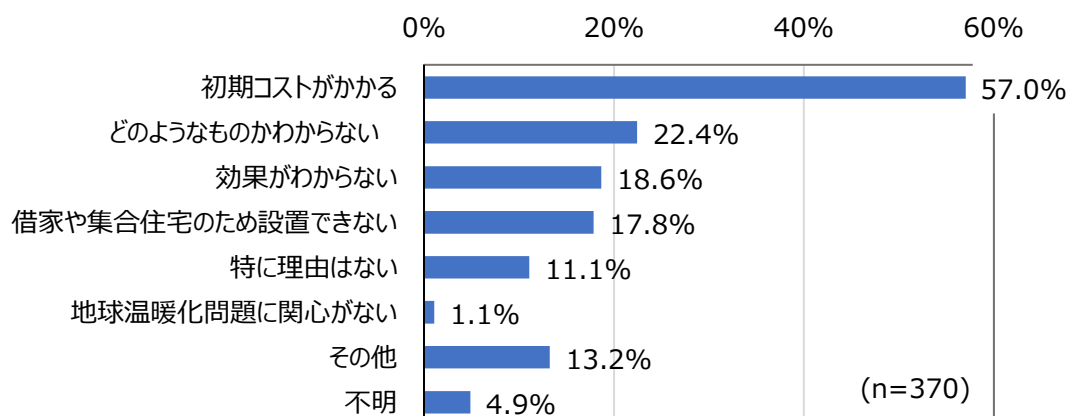


(2) 地球温暖化対策設備機器を導入しない理由

問6 問5で1つ以上「関心はない、又は該当しない」と回答した方にご質問します。
理由としてあてはまる番号をすべて○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器を導入しない理由を聞いたところ、「初期コストがかかる」(57.0%)が最も多く、次いで「どのようなものかわからない」(22.4%)、「効果がわからない」(18.6%)の順となっています。

また、その他の回答から、コスト、住宅の状況・設備、太陽光発電・EV(電気自動車)への不信感、関心・必要性の欠如などが理由として挙げられていました。



<その他の回答>

その他として寄せられた意見を整理した結果を下表に示します。

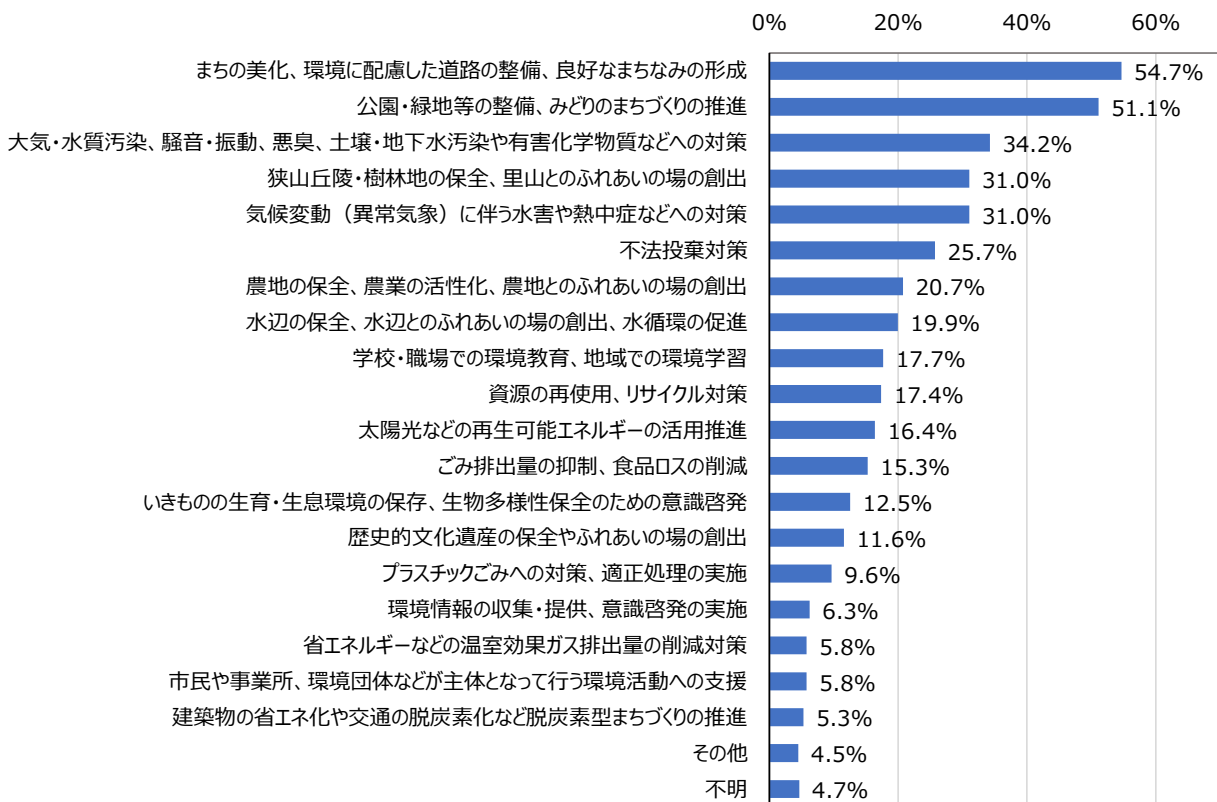
区分	寄せられた意見
コスト	費用対効果が不明確で、コストがかかるため導入をためらう／予算的に余裕がないため、導入できない など
住宅状況・設備	特殊な屋根のため、設置できない／家の建て替えの予定がないため、導入を検討しない／中古物件で断熱が不十分だが、改修にコストがかかる など
太陽光発電・EV(電気自動車)への不信感	太陽光発電はデメリットが多いと感じている／太陽光発電は電気代が上がる原因／設備の劣化や交換に費用がかかる／EVは製造時にCO ₂ を排出する／電気自動車を充電すると、より温暖化ガスを排出する／電気自動車はつまらない／ガソリン車が好き／水素エンジン車に期待している など
関心・必要性の欠如	関心がない、または必要性を感じない／市民の問題とは思えない高齢のため、新規の活動が難しい／いつまで現住所に住めるかわからないため、導入を検討しない など

2-4 市の環境施策について

(1) 市が重点的に取り組むべき環境施策

問7 武蔵村山市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境施策はどれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に取り組むべき環境施策については、「まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成」(54.7%)が最も多く、次いで「公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進」(51.1%)、「大気・水質汚染、騒音・振動、悪臭、土壌・地下水汚染や有害化学物質などへの対策」(34.2%)の順となっています。まちづくりのハード整備や、典型的な公害へ直接的な対応などが求められていることがうかがえます。



<その他の回答>

その他として寄せられた意見の主なものを下表に示します。

区 分	寄せられた主な意見
歩道・道路	歩道の工事が必要であり、特に木の部分の盛り上がりや倒木の恐れがある場所がある。／夏に市道などの歩道と車道の境の草木が伸びており、歩道の幅が狭くなっている。
河川	河川の管理が不足している。
住宅	断熱リフォームの補助制度を推進してほしい。／近くに住んでいない家があり、整理してほしい。
エネルギー	ごみ処理の熱を利用した屋内温水プール（流れるプール、ウォータースライダー付き）を一年中利用したい。／風力発電を推進すべき（冬は風が強い）。
交通	武蔵砂川駅への公共交通機関の整備（特に雨天時の自家用車利用が多い）が必要。／交通網の整備が必要。／自家用車以外の交通手段が少なすぎる。／早期モノレールの導入と細い道路（裏道）の整備が必要。
ごみ	ごみ袋の金額が高い。／カラス対策が必要。
騒音	近隣騒音（特に夜遅くのBBQ）を規制してほしい。
市の広報・重要事項	市として何が重要なのか、市内全地域にアピールする必要がある。
その他	狭山丘陵と水辺を生かした観光地化による再興を望む。／公園の暑さ対策が必要。

【年代別の重点的に取組むべき環境施策】（クロス集計）

市が重点的に取組むべき環境施策について、年代別の集計結果を下表に示します。色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。 (%)

	全体 (n=622) ※不明含む	10歳～ 20歳代 (n=39)	30歳代 (n=42)	40歳代 (n=71)	50歳代 (n=123)	60歳代 (n=111)	70歳以上 (n=234)
まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成	54.7	53.8	61.9	50.7	58.5	56.8	51.7
公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進	51.1	53.8	50.0	52.1	48.8	53.2	50.9
大気・水質汚染、騒音・振動、悪臭、土壌・地下水汚染や有害化学物質などへの対策	34.2	23.1	31.0	31.0	35.0	33.3	37.6
狭山丘陵・樹林地の保全、里山とのふれあいの場の創出	31.0	28.2	16.7	18.3	27.6	39.6	35.9
気候変動（異常気象）に伴う水害や熱中症などへの対策	31.0	30.8	45.2	28.2	31.7	30.6	29.1
不法投棄対策	25.7	17.9	28.6	16.9	30.1	30.6	24.8
農地の保全、農業の活性化、農地とのふれあいの場の創出	20.7	25.6	9.5	18.3	25.2	21.6	20.1
水辺の保全、水辺とのふれあいの場の創出、水循環の促進	19.9	23.1	28.6	14.1	22.8	20.7	17.9
学校・職場での環境教育、地域での環境学習	17.7	23.1	23.8	25.4	15.4	17.1	15.0
資源の再使用、リサイクル対策	17.4	17.9	16.7	21.1	17.1	16.2	17.1
太陽光などの再生可能エネルギーの活用推進	16.4	7.7	19.0	8.5	17.9	17.1	18.4
ごみ排出量の抑制、食品ロスの削減	15.3	12.8	9.5	21.1	9.8	16.2	17.5
いきものの生育・生息環境の保存、生物多様性保全のための意識啓発	12.5	12.8	19.0	12.7	17.1	11.7	9.4
歴史的文化遺産の保全やふれあいの場の創出	11.6	17.9	14.3	8.5	8.9	16.2	10.3
プラスチックごみへの対策、適正処理の実施	9.6	5.1	7.1	12.7	5.7	6.3	13.7
環境情報の収集・提供、意識啓発の実施	6.3	0.0	9.5	5.6	4.9	5.4	8.1
省エネルギーなどの温室効果ガス排出量の削減対策	5.8	7.7	0.0	2.8	11.4	6.3	4.3
市民や事業所、環境団体などが主体となって行う環境活動への支援	5.8	5.1	9.5	5.6	8.1	2.7	5.6
建築物の省エネ化や交通の脱炭素化など脱炭素型まちづくりの推進	5.3	2.6	0.0	11.3	7.3	5.4	3.8

【居住地区別の重点的に取組むべき環境施策】（クロス集計）

市が重点的に取組むべき環境施策について、居住地区別の集計結果を下表に示します。色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。 (%)

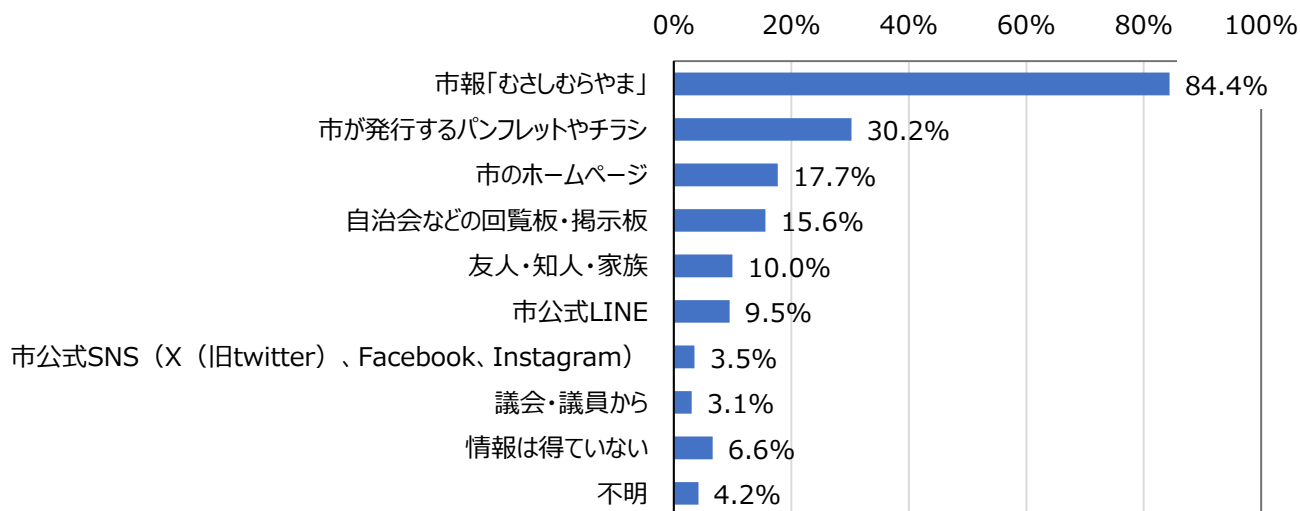
	全体 (n=622) ※不明含む	北東 エリア (n=124)	北西 エリア (n=98)	南東 エリア (n=226)	南西 エリア (n=122)	緑が丘 エリア (n=51)
まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成	54.7	54.8	46.9	62.4	50.0	47.1
公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進	51.1	54.8	43.9	57.5	40.2	54.9
大気・水質汚染、騒音・振動、悪臭、土壌・地下水汚染や有害化学物質などへの対策	34.2	20.2	35.7	34.1	45.9	39.2
狭山丘陵・樹林地の保全、里山とのふれあいの場の創出	31.0	33.1	30.6	30.1	29.5	35.3
気候変動（異常気象）に伴う水害や熱中症などへの対策	31.0	27.4	26.5	36.7	30.3	25.5
不法投棄対策	25.7	33.1	20.4	21.2	23.0	45.1
農地の保全、農業の活性化、農地とのふれあいの場の創出	20.7	16.9	22.4	21.2	23.0	19.6
水辺の保全、水辺とのふれあいの場の創出、水循環の促進	19.9	23.4	26.5	17.3	19.7	11.8
学校・職場での環境教育、地域での環境学習	17.7	18.5	19.4	18.1	17.2	11.8
資源の再使用、リサイクル対策	17.4	19.4	13.3	19.0	16.4	15.7
太陽光などの再生可能エネルギーの活用推進	16.4	14.5	21.4	14.6	17.2	17.6
ごみ排出量の抑制、食品ロスの削減	15.3	20.2	12.2	15.0	13.1	15.7
いきものの生育・生息環境の保存、生物多様性保全のための意識啓発	12.5	11.3	16.3	10.6	10.7	21.6
歴史的文化遺産の保全やふれあいの場の創出	11.6	11.3	12.2	9.3	15.6	11.8
プラスチックごみへの対策、適正処理の実施	9.6	12.9	7.1	9.3	10.7	5.9
環境情報の収集・提供、意識啓発の実施	6.3	6.5	8.2	5.8	6.6	3.9
省エネルギーなどの温室効果ガス排出量の削減対策	5.8	4.0	7.1	6.6	5.7	3.9
市民や事業所、環境団体などが主体となって行う環境活動への支援	5.8	5.6	9.2	5.3	4.1	5.9
建築物の省エネ化や交通の脱炭素化など脱炭素型まちづくりの推進	5.3	4.0	6.1	5.3	7.4	2.0

(3) 市の環境情報の入手方法

問8 市が進めている環境に関する取組などの情報について、どのように入手していますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

市の環境情報の入手方法を聞いたところ、「市報むさしむらやま」(84.4%)が最も多い結果となりました。次いで「市が発行するパンフレットやチラシ」(30.2%)、「市のホームページ」(17.7%)の順となっています。一方、「情報は得ていない」については6.6%の回答がありました。

その他の入手方法としては、「イオンに時々ハザードマップなどが展示されている」との意見が寄せられました。



【年代別の環境情報の入手方法】(クロス集計)

色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。

(%)

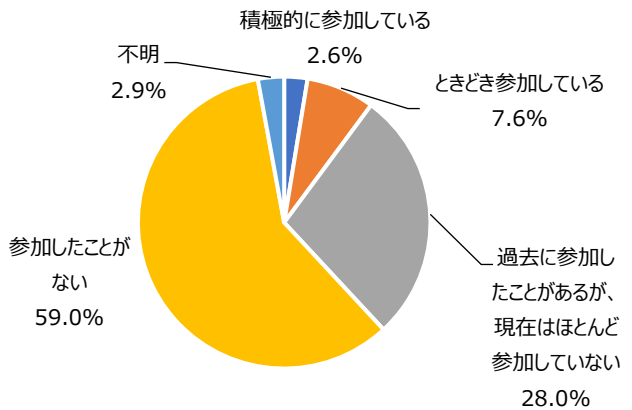
	全体 (n=622) ※不明含む	10歳～ 20歳代 (n=39)	30歳代 (n=42)	40歳代 (n=71)	50歳代 (n=123)	60歳代 (n=111)	70歳以上 (n=234)
市報「むさしむらやま」	84.4	61.5	73.8	74.6	87.0	90.1	89.7
市が発行するパンフレットやチラシ	30.2	17.9	19.0	18.3	16.3	27.9	46.6
市のホームページ	17.7	17.9	16.7	22.5	18.7	22.5	13.7
自治会などの回覧板・掲示板	15.6	10.3	9.5	2.8	10.6	16.2	23.9
友人・知人・家族	10.0	20.5	11.9	8.5	8.1	8.1	10.3
市公式LINE	9.5	12.8	4.8	9.9	18.7	9.0	5.1
市公式SNS (X (旧twitter)、Facebook、Instagram)	3.5	5.1	7.1	5.6	3.3	4.5	1.7
議会・議員から	3.1	2.6	0.0	0.0	4.1	2.7	4.3
情報は得ていない	6.6	23.1	7.1	15.5	6.5	3.6	2.1

2-5 市民の環境活動について

(1) 環境活動への参加状況

問9-1 あなたは環境保全に関する催しや、自然観察会、美化・清掃活動などに参加したことがありますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

最も多かった回答は「参加したことがない」で59.0%と過半数に上りました。次に「過去に参加したことがあるが、現在はほとんど参加していない」(28.0%)、「時々参加している」(7.6%)の順に多く、「積極的に参加している」は2.6%でした。



【年代別の環境活動への参加状況】(クロス集計)

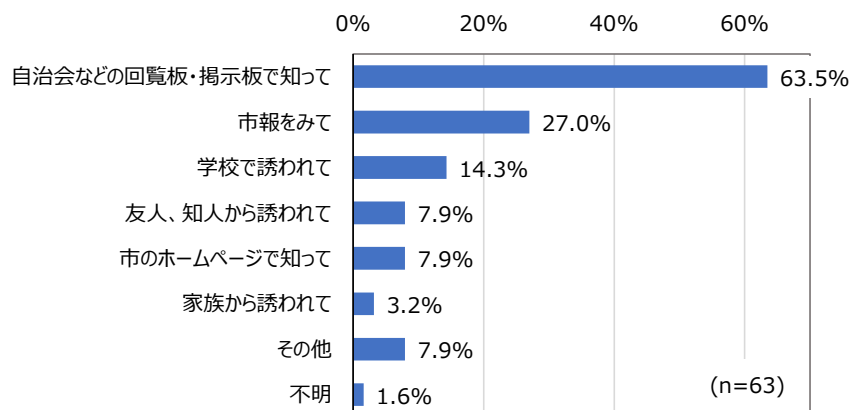
色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。 (%)

	全体 (n=622) ※不明含む	10歳～ 20歳代 (n=39)	30歳代 (n=42)	40歳代 (n=71)	50歳代 (n=123)	60歳代 (n=111)	70歳以上 (n=234)
積極的に参加している	2.6	0.0	2.4	1.4	2.4	3.6	3.0
時々参加している	7.6	0.0	11.9	11.3	2.4	6.3	10.3
過去に参加したことがあるが、現在はほとんど参加していない	28.0	35.9	11.9	21.1	23.6	36.0	30.3
参加したことがない	59.0	64.1	71.4	66.2	70.7	53.2	50.4

(2) 環境活動に参加したきっかけ

問9-2 現在、参加している方に質問します。参加したきっかけは何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

最も多かった回答は「自治会などの回覧板・掲示板で知って」で63.5%となっています。次に「市報をみて」(27.0%)、「学校で誘われて」(14.3%)の順に多くなっており、公的な情報が参加のきっかけとなっている様子がうかがえます。

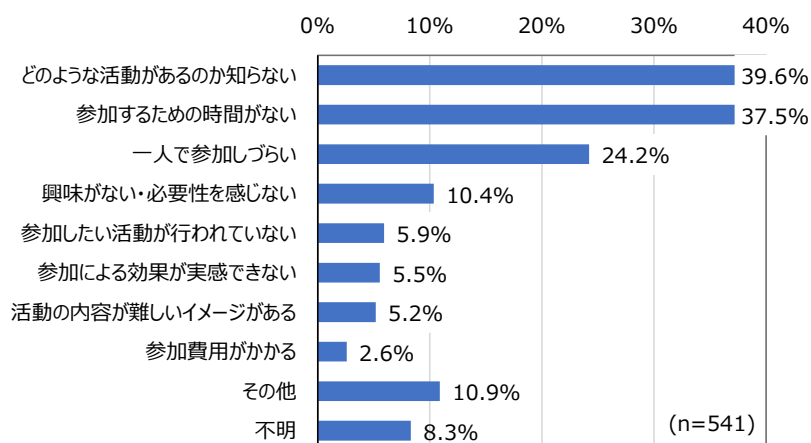


(3) 環境活動に参加しない理由

問9-3 現在、参加していない方に質問します。参加しない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動に取り組まない理由を聞いたところ、「どのような活動があるのか知らない」が39.6%で最も多くなっています。次いで、「参加するための時間がない」(37.5%)、「一人で参加しづらい」(24.2%)となっており、効果的な情報発信や参加しやすい雰囲気づくりが必要と考えられます。

その他の回答では、身体的な理由(特に年齢と健康状態)が不参加の大きな要因となっています。また、時間的制約や家庭環境などが理由として挙げられました。



<その他の主な回答>

区分	寄せられた主な理由
身体的な理由	年齢・体力(年齢のため体力がない/体力的に困難 など)
	健康状態(体調が悪い/障害があるため など)
環境的な理由	時間的成約(市内にいる時間が少ない など)
	家庭環境(家族の介護/子どもが小さい など)
過去の経験	学校で参加していたがその機会がなくなった/自治会の役員が終了した など
情報に関する理由	いつ開催されるか分からない/参加の場所が分からない

【年代別の環境活動に参加しない理由】(クロス集計)

色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。

(%)

	全体 (n=622) ※不明含む	10歳~ 20歳代 (n=39)	30歳代 (n=42)	40歳代 (n=71)	50歳代 (n=123)	60歳代 (n=111)	70歳以上 (n=234)
どのような活動があるのか知らない	39.6	43.6	51.4	43.5	47.4	36.4	31.7
参加するための時間がない	37.5	48.7	34.3	45.2	50.0	37.4	25.9
一人で参加しづらい	24.2	30.8	20.0	27.4	27.6	28.3	18.0
興味がない・必要性を感じない	10.4	17.9	5.7	19.4	10.3	9.1	7.4
参加したい活動が行われていない	5.9	2.6	5.7	4.8	6.9	9.1	4.8
参加による効果が実感できない	5.5	5.1	5.7	1.6	7.8	4.0	6.3
活動の内容が難しいイメージがある	5.2	5.1	2.9	8.1	8.6	5.1	2.1
参加費用がかかる	2.6	5.1	8.6	0.0	2.6	2.0	1.6

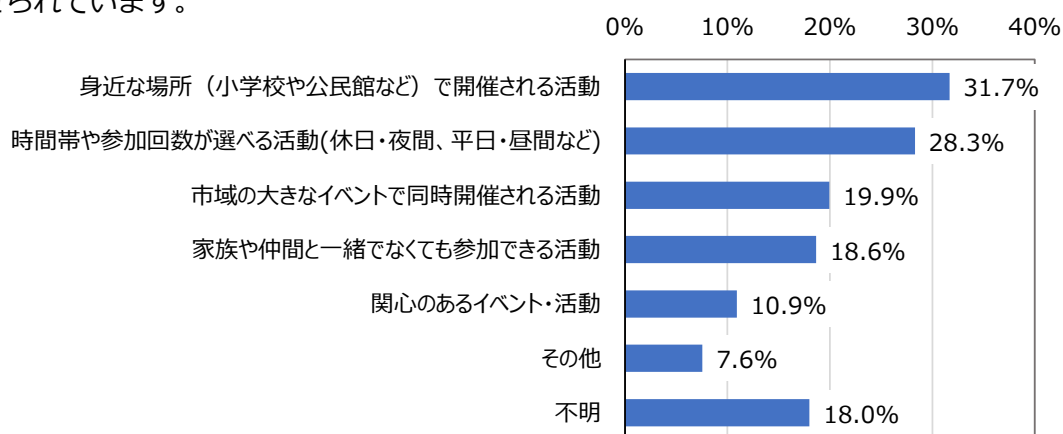
(4) 環境活動に参加する機会について

問 10 あなたはどのような機会があれば、環境活動に参加したいと思いますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動に参加する機会について聞いたところ、「身近な場所（小学校や公民館など）で開催される活動」が31.7%と最も多く、次いで、「時間帯や参加回数が選べる活動（休日・夜間、平日・昼間など）」（28.3%）、「市域の大きなイベントで同時開催される活動」（19.9%）」となっています。

近隣など行きやすい場所での開催や、他のイベントとの併催の場合に参加しやすい傾向がうかがえます。

その他の回答では、参加意欲を刺激する要素、活動内容への希望、参加形式への希望などが意見として寄せられています。



<その他の主な回答>

区分	寄せられた主な意見
参加意欲	結果や意味がわかる活動/自分にメリットがある活動/地域の人々と関わりができる延長で/市長さんと直接お話できる機会 など
活動内容	地元農家を発展させるようなイベント/小さい子どもと一緒に楽しめる活動/不用品交換会、ソーラーパネルづくり、多摩産材を使って木工教室 など
参加形式	年何回かを「清掃活動の日」と設定/1人でもできる自己申告・報告の活動/好きなアーティストが参加する/ペット同伴可能なイベント/手話通訳者 など

【年代別の環境活動に参加する機会】(クロス集計)

色付きセルは全体よりも回答割合が高かったものを示します。 (%)

	全体 (n=622) ※不明含む	10歳～ 20歳代 (n=39)	30歳代 (n=42)	40歳代 (n=71)	50歳代 (n=123)	60歳代 (n=111)	70歳以上 (n=234)
身近な場所（小学校や公民館など）で開催される活動	31.7	30.8	31.0	33.8	34.1	27.9	31.6
時間帯や参加回数が選べる活動（休日・夜間、平日・昼間など）	28.3	28.2	33.3	25.4	41.5	26.1	22.2
市域の大きなイベントで同時開催される活動	19.9	30.8	31.0	22.5	23.6	18.0	14.5
家族や仲間と一緒になくても参加できる活動	18.6	17.9	7.1	15.5	25.2	13.5	20.9
関心のあるイベント・活動	10.9	33.3	16.7	7.0	13.8	10.8	6.0

2-6 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、154人（24.8%）の方からの記入がありました。以下は、記入内容を分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は231件となりました。

分類	件数
生活環境	(計) 103
公共交通、道路・歩道・自転車道の環境 (うちモノレールについて)	40 (7)
美化、マナー（不法投棄、ポイ捨て・ペット・喫煙）	24
隣地、空き家、耕作放棄地の管理、道路等の雑草	18
河川周辺の雑草	9
公害防止（化学物質・騒音・振動・悪臭・水質汚濁）	6
道路のマナー（自動車、自転車）	4
まちづくり	2
自然・生物多様性	(計) 58
公園・緑地・街路樹・緑道（管理含む）	25
自然・みどり・農地・いきもの	18
緑化	10
河川、水辺	5
循環型社会	(計) 12
ごみの分別・収集、マナー	9
資源の有効利用（リユース・リサイクル）	3
気候変動対策	(計) 6
再生可能エネルギー	3
気候変動への適応	3
普及啓発・環境活動	(計) 13
環境教育・環境学習	5
住民参加、協働	5
啓発・情報発信	3
その他（環境）	(計) 7
環境全般	4
アンケート・計画について	3
その他（環境以外）	(計) 32
公共行政・公共施設	16
防災・防犯・安全・安心	8
その他	8

◆主な意見（要約）

○生活環境

【公共交通、道路・歩道・自転車道の環境】

- 交通が不便。モノレールを早く開通してほしい。車利用も減り、立川への移動も楽になる。
- モノレール延伸の推進を強く要望。イオンモール周辺の車両通行量を減らし、環境保全につながる。
- バスをうまく利用したいが、どのバス停がどこを通過してどこまで行くのか、値段がいくらかわからず乗れない。一覧で詳しく書いてあると、子どもも安心して利用できると思う。
- MM シャトルの本数を増やしてほしい。
- 道路が狭すぎる。道路の整備が悪い。
- 道路の整備がもう少しきれいだと自転車が走りやすい。道ができたのは良いが、車の抜け道となり、かえって危ないくらい。
- 歩道が悪すぎる。とても狭く、段差も多く危険。自転車で転倒しそうになったことも。マンホールが少し隆起している歩道がある。
- 歩道の工事を早めにした方が良い。倒木の可能性があり、雨が降ると危険。道路側に倒れそうで大惨事になる恐れあり。確認した方がいい。
- 中学校からサイクリングロードにつながる道路は劣化が進み、非常に歩行時や自転車走行するにあたり危険な状態。早急に対応してほしい。
- 歩行者が安全に走行できるよう、路地に白線がほしい。
- 緊急車両がスムーズに入ってくれる道幅にしてほしい。
- 道路の自転車利用表示。細い道路では車と自転車との並走に無理があると感じる。ドライバーへの自転車優先の啓蒙がもっと必要。
- 無理矢理作った自転車道は狭くて危ない。歩道を通れるようにしてほしい。
- かたくりの湯－六道山の道はジョギング、サイクリング、ウォーキング等最高に恵まれた所ですが、雨期時はどろんこになっている。都に働きかけて砂利を敷いてほしい。
- 歩道幅をもう少し広くしてほしいです（自転車が交差できる幅）。
- 狭い歩道にさらに狭くなるのに木を植えるのは、やめてほしい。緑を増やす場所を考えてほしい。

【美化、マナー（不法投棄、ポイ捨て・ペット・喫煙）】

- 犬や猫のフンの始末を徹底してほしい。
- 自転車道が犬の散歩道になっていて、糞の処理がされていないことが目につく。市道でも同様。近隣で猫を何匹も放し飼いでおり猫の糞に困っている。飼い主のペットに対する管理をきちんとしてほしい。
- 確信犯的にフンを始末しない人がいる。強く取締りをできないか？
- 雷塚公園、さいかち公園をよく利用するが、タバコやお酒の缶やビンなどゴミがたくさんポイ捨てされている。
- 緑道がある環境は良いと思うが、途中にベンチやテーブルがあると、その周辺にはペットボトル・菓子の空き袋などゴミが散乱していることが多い。
- 多摩湖の周遊道路不法投棄のゴミを少しでも減らしてほしい。散歩に行くとも目について、豊かな自然とはゴミの山？残念な風景。
- ゴミの有料化になってから、ゴミのポイ捨てが多くなり、粗大ゴミまで捨てられている。
- 残堀川へのゴミ投棄。
- 運動場と近くの畑にお菓子やペットボトルのゴミが落ちていることが多い。
- 不法投棄の多さにいつも悲しくなる。どうしたら無くなるのか、難しい問題だが考えていけたら。
- 生活道路なのに車がスピードを出して走っている。ゴミのポイ捨て、犬のフンだらけ！マナーが悪い通行人が多い。監視カメラを早くに設置してほしい。
- 歩きタバコをしている人が多い。

【隣地、空き家、耕作放棄地の管理、道路等の雑草】

- 植木鉢や自転車、植木の枝が出ているのが（1m以上）多く見られる。運転していると車が傷つく。
- 庭の木が道路、歩道にはみ出しているが、手入れをしていない家庭が多い気がする。注意しにくいので、市で対策をしてくれるといい。
- ゴミを庭に放置している。ゴミを溜め込む家がある。一度見に来ていただきたい。
- 空地の雑草整備。狭い道路の雨水溜まり等の市内循環をお願いする。
- 最近、空き地や空き家の庭が手つかずになり、草が生え放題になっているところが増えている。景観も悪く、物騒。ゴミ、草などどうにかしてほしい。害虫やハチなどの発生、小動物の発生の懸念。環境活動の中で行政に動いて頂けたら幸い。
- 道路端の花が歩道に垂れて見苦しい、汚い。
- 夏場の道路における草が伸びていて、歩道が狭くなっていて気になる。
- 街は道路を見ればその行政の力の入れ方がわかると言われている（落ち葉、ゴミの清掃を重点に）。

【河川周辺の雑草】

- 残堀川の雑草が伸び放題になっているのが気になる。杉花粉後の稲科の花粉もある人がいるので。
- 残堀川の草刈り回数を多くしてほしい。残堀川の清掃、草木を定期的に伐採していただきたい。
- 残堀川が非常に汚い。草木がぼうぼうで悲しい。何とかならないか？
- 最も基礎とするとと思われることは「危険を減らす」ということではないか。川の周辺ひとつとっても、川の流れの中に木が生えてきていたり、親水公園の大きな木の枝が垂れ下がっていたり、木の根が遊歩道を押上げていたり様々。これらにも重点を置いていただきたい。まずは「安全な暮らし」を。

【公害防止（化学物質・騒音・振動・悪臭・水質汚濁）】

- 近隣に煤煙を排出している事業所がある。早急な対策をお願いしたい。
- 農薬を制限してほしい。
- 夜間、横田基地からヘリコプターやオスプレーが飛行するのはやめてほしい。
- 横田基地の水質汚染の検査をやってもらいたい。
- 近所のお風呂屋さんの煙突からの黒い煙。しかたないのかもしれないが、対策があればと思う。
- 横田基地から PFAS が流出しているが、その害が人体にもある。血液検査を武蔵村山市でもやってください。他の市でかなりやっていると聞いている。
- 地下水を飲めるようにしてほしい。

【道路のマナー（自動車、自転車）】

- 道路、自動車、自転車マナーが非常に悪い。お年寄り、子どもが安心して暮らせる街に！子どもを乗せた自転車でスマホ、ノーヘル。命を守るためには、警察と連携して厳しくするべき。
- 昭島の物流拠点の問題（新青梅へ抜けるルートに武蔵村山、伊奈平、三ツ木、中原等）は武蔵村山市としてどのように対策し、住民に対して何らかの説明やアクションがあるのか。物流拠点ができれば自宅は窓を開けられず、夜も車の往来で迷惑すると思う。
- 生活道路につき通り抜けご遠慮下さいと、看板が立っているにもかかわらず通り抜けが多く困っている。夜、バイクの騒音が酷く子供が起きてしまう。スピードが早い車、一時停止しない車も多く怖い。

【まちづくり】

- 村山団地の活用（住みやすい町づくり）
- 早くモノレールを誘致して、駅の周りを賑やかにしてほしい。

○自然・生物多様性

【公園・緑地・街路樹・緑道（管理含む）】

- 管理・防犯上の問題もあるとは思いますが、公園の木が最近少ないと感じる。高齢者や子どもの熱中症対策、温暖化対策のためにも植林や土があるスペースの保護をしていただきたい。
- 整備された公園や施設（図書館、遊具など）、人が集まりたくなるような環境があると良いと思う。
- 花壇やじゃぶじゃぶ池のような場所があればいいなと思う。
- 伊奈平公園、子ども達も多く集まり、遊具も整備されているが、噴水、夏場子ども達が遊ぶのがないのが残念（高齢者にも桜、ベンチと良い）。
- 子どもがボールで遊べる公園が少なすぎる。
- 雑草が生い茂り、遊ぶことができないことがあるので、整備をこまめにしてあげてほしい。
- 雑草や植栽の手入れが全く行き届いていない。
- 大南公園、雷塚公園などの樹木の枝が伸びて危険なので剪定してください。大南公園の雑草除去の回数を増やしてほしい。樹木の管理（木の植え替え）。
- 公園の木が大きくなりすぎて、子ども達が遊んでいても暗くて危ない。公園が汚すぎる。
- 大南公園で、最近、大きな木が枯れてしまったのか伐採された。昔からある公園なので仕方ないことだが、今後たくさん木に囲まれた公園であってほしい。
- 大南東公園東側歩道に犬の糞をさせる者がいる。植え込みを伐採して見えるようにしてほしい。
- 大南東公園の榎の撤去を望む。電柱の傍の榎の枝が、強風や台風などで電線を巻き上げ、3線が絡み合うような状態になり、東電に正規の位置に戻すと同時にスリーブをかけてもらった。枝の撤去は武蔵村山市で管理しているので伐採できないということであった。原因の榎の伐採を早急に望む。
- 大南公園のミストシャワー、あまりにも弱く、特に風が吹いていなくても全く下方に向いていない。全くのムダ。幼児用遊具が設置されているが、遊具の上部は見えるが草が伸び放題で遊具に行けない。
- 菖蒲園も草の手入れがされていないので、あまりにも悲しい。
- ペットを飼っている世帯が多く見受けられるので、市内に市営のドッグランなどあれば（有料で）、緑化とも相乗して有効だと考える。ドッグランがほしい。
- 美しい街路樹も良いが、果実のなるものも非常時またはこども食堂などに活用できると良いですね。管理の方はボランティアまたはシニアの方で。
- 街路樹が電線にかかっていて危険なのと、枝等で歩道も寸断ヶ所あり。至急対応願います。
- 残堀川や水道道路の桜並木。残堀川には親水公園があったはず？いつ生えたのか大きな木が茂り、雑草のやぶばかり。家並みのそばで桜の木が台風などで枝が折れ、木が倒れないか少々不安。

【自然・みどり・農地・いきもの】

- 夏に雷塚公園や野山北公園に行くと、いかに木・土・日陰が大切かわかる気がする。まだまだ自然が残っている村山はいい環境だと思う。
- 狭山丘陵があるのは貴重だと思います。残堀川に水とふれあえる場所があり、良いと思う。
- 自然と子ども達を大切にしていることに感謝している。
- 武蔵村山市の魅力は東京都の中でも自然が豊かな市であることも大きいと思う。
- 武蔵村山市は大きな災害もなく、自然が多く住みよい市。
- 自然環境は良いところと思う。いろいろな動物、鳥等普段見られない動物を見かけることが多い。
- 最近、「キジ」を見なくなった。
- 市の木榎とあるが、榎はオオムラサキ（国蝶）の餌である。それを生かし、市全体でオオムラサキの育成に取り組んではどうか（市に大きな目玉を作ってほしい）。
- 緑が北に偏っている気がする。市全体にバランス良く配してもらえればと思う。
- 以前からすれば緑は少しずつ減少している印象。それでも、自然環境は良い。
- 緑が減った。もっと緑がほしい。村山の自然を保全してほしい。
- 緑を守っていた農地や林がどんどん宅地になり、大丈夫かなと心配。
- 農地は作物が二酸化炭素を吸収し、アスファルトと違い土が温度上昇を防いでいるので、温暖化防止にも寄与していると言われている。農業の振興とより良い環境づくりを双方の関係部署が協力して、すすめていただければと思う。農地の宅地化がすすんでしまったらなんの特徴もない不便なところになるだけのような気がする。

【緑化】

- 街の緑化は二酸化炭素の減少に寄与するし、温暖化防止のみならず、美化にも役立つ。市では「みどり」を「暮らし」に役立てる活動をしているので、今後とも緑化を延ばしてもらいたい。
- 昔、苗木の無料配布があったので復活してほしい。

【河川、水辺】

- 残堀川に水とふれあえる場所があり、良いと思う。
- 残堀川が瑞穂との境でわかるように。整備が悪い。
- とにかく河川の汚さが目に余る。

○循環型社会

【ごみの分別・収集、マナー】

- 家の周りや近隣の道路をボランティアで掃除しているが、ゴミ出しマナーが悪く、風でゴミが散らばったり、また、コンビニゴミを道路にポイ捨てても見受けられる。道路や町の美化は防犯の効果もあると思うので、ゴミ捨てのマナーの強化をできるようにしてほしい。
- マンション等の使われていないゴミ集積所にゴミが持ち込まれ、散乱しているのが汚い感じで良くないと思う。
- 近くの集合住宅のゴミの出し方が守られていなくて粗大ゴミが道路に倒れそうで危ない。
- ゴミ袋代をもう少し抑えていただけると大変助かる。有料ゴミ袋の減免の枠を広げてください。
- ごみの収集時間、午前か午後決めてほしい。

【資源の有効利用（リユース・リサイクル）】

- リサイクルBOX等を設置してほしい（缶、ペットボトルなど）。
- 粗大ゴミを自分で持ち込み処分できる施設をPRしてほしい。
- リユースできる店舗を応援してはどうか。
- 六道公園に生分解性プラント堆肥場を作り、市内の個人・農家に分配する仕組み等望ましい。

○気候変動対策

【再生可能エネルギー】

- 空いている土地・スペースの有効活用をし、環境およびエネルギー資源の効率化を最大化した方がいいと思う。
- EVと太陽光はダメ！
- 山を切り拓いての太陽光発電は絶対に反対。電気自動車についても効果に疑問があります。水素燃料など他の技術にも着目した環境対策を考えて頂きたい。

【気候変動への適応】

- 地球温暖化により風の強さ、雨の量が従来の基準に合わなくなっていると思われる。基準の見直しが必要と思う。
- 大雨が降れば水が道路まで越すことがあります。近所の雨水の溝の清掃をしてほしいです。これは市役所の仕事なのか、お互いの家の溝をきれいにすべきか。
- 雨水処理などを充実していただきたい。

○普及啓発・環境活動

【環境教育・環境学習／啓発・情報発信】

- まちをきれいに保つには、一人一人個人の意識が必要。このまちを美しく、ずっと住み続けたいと思える環境づくりができるよう、ぜひ中央から発信していただきたいと思う。そのためには子どもの教育から。ぜひ学校でもこの点にふれる教育、機会があることを願っている。
- 日テレ、目がテンで放送しているような「科学の里」みたいなことを野山北公園などで実施されたら良いのでは。
- 学校での集会や学習の場で市民が困っていることや環境をより良くするために気をつけることなど、共有していただきたい。
- 世代によっての学習の仕方は異なると思うが、老若男女、興味を引くような企画がいろいろあれば良い（これまでもあったと思うが、繰り返しも大事と思う）。
- 全世代にわたって知る、学びの機会、気軽に参加できる機会を市が主導で作っていただけると、住みよい町になると思う。
- 緑を残す取組、ゴミ施策や地域産業（農家）の活性支援など、市の環境維持に取組ができると思うが、インターネット等の普及が既にある。場所に固執しないでオンラインでの参加などの工夫で、多様な世代の意見や取組への参加につなげていっては？と思う。

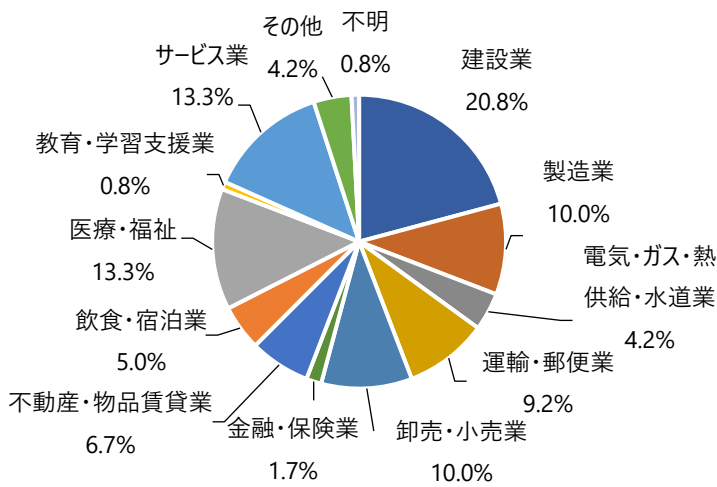
【住民参加、協働】

- 都道や市道・公道に接する植栽や雑草の手入れに関して、時期が遅れてしまうことが多く、手間がかかっているようです。近隣住民の協力をお願いするのも一つの方法だと思う。
- 都営団地あとの菜の花畑やひまわり畑のイベントがしょぼい。他市はがんばっているのに恥ずかしい。長年住んでいるが、楽しいこと（イベント等）が何もない。
- 仕事が休みの時に、役に立つのであれば参加したいと思う。参加しても邪魔くさそうなら参加する気が失せると思う。市が一生懸命取り組んでいるのなら、大変賛成。

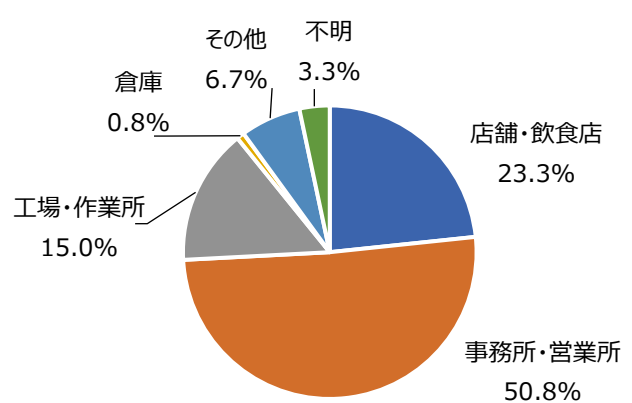
3 事業者アンケート調査の結果

3-1 事業所属性

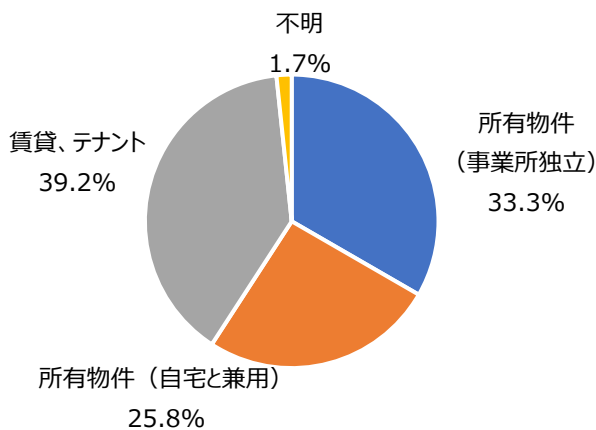
<業種>



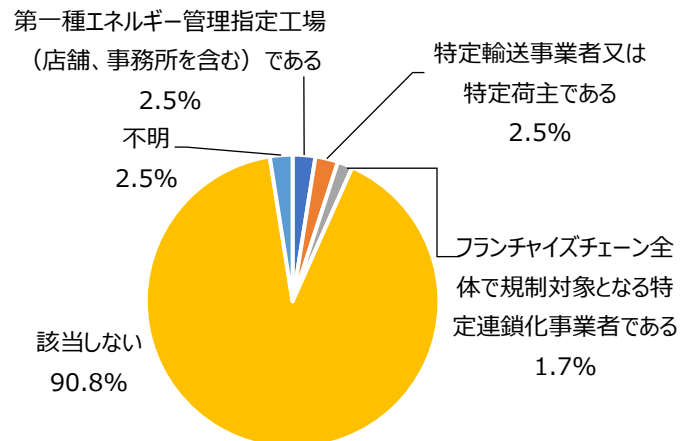
<事業所の主な形態>



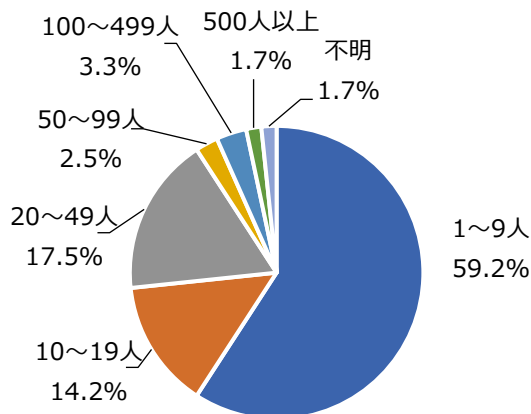
<建物の形態>



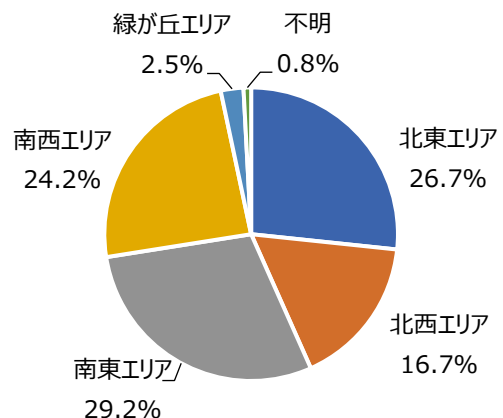
<省エネ法の該当状況>



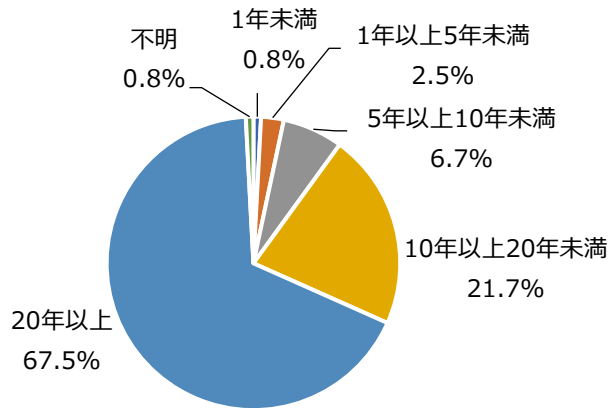
<従業員規模>



<所在地>



<武蔵村山市での事業年数>



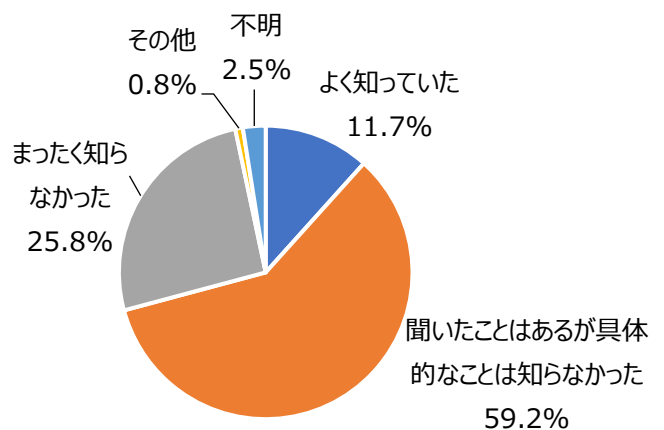
3-2 事業所の環境活動について

(1) GX の取組の認知度

問1 - 日本では2050年までにカーボンニュートラルを目指すことが宣言され、「化石エネルギー中心の産業・社会構造を、クリーンエネルギー中心の構造に転換していく、経済社会システム全体の改革」GX（グリーントランスフォーメーション）を進めるとして、各種法整備のほか、製品・サービスの開発や設備投資等に対する補助金や助成金の交付が行われています。GXを加速することで、「エネルギー安定供給と脱炭素分野で新たな需要・市場を創出し、日本経済の産業競争力強化・経済成長につなげていく」ことが期待されています。貴事業所では、GXの取組について知っていましたか。あてはまる番号を1つだけで囲んでください。

GXの取組に対する認知度を聞いたところ、「聞いたことはあるが具体的なことは知らなかった」（59.2%）が最も多く、次いで、「まったく知らなかった」（26.5%）と続いており、多くの事業所では具体的な内容までの認知が進んでいない状況がみられます。

一方、「よく知っていた」（11.7%）の回答も1割強あり、一部の事業所では企業経営の強化や成長につながる取組として認識され始めていることがうかがえます。

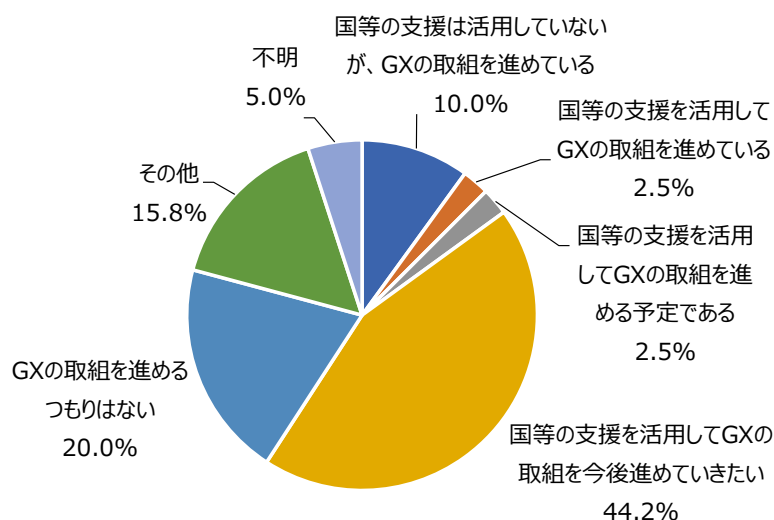


(2) GX の取組状況について

問1-2 貴事業所における GX の取組についてお答えください。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

事業所における GX の取組を聞いたところ、「国等の支援を活用して GX の取組を今後進めていきたい」(44.2%) が最も多く、GX の取組を推進するために国等の支援が期待されていることがうかがえます。

また、「国等の支援は活用していないが、GX の取組を進めている」(10.0%)、「国等の支援を活用して GX の取組を進めている」(2.5%) の結果から、実際に取組を進めている事業所は全体の1割強になっています。一方、「GX の取組を進めるつもりはない」(20.0%) となっています。



◆その他の GX の取組

- 管理会社で進めている
- 事業内容が GX とあまり関係ない
- 日本郵便株式会社として日本郵政株式会社と共に GX リーグへ参加している
- 具体的な方策を検討したことはないが、検討の余地はある

【業種別の GX 取組状況】(クロス集計)

GX の取組を進めている事業者の割合は、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業などで比較的高くなっています。(%)

業種	国等の支援は活用していないが、GXの取組を進めている	国等の支援を活用してGXの取組を進めている	国等の支援を活用してGXの取組を進める予定である	国等の支援を活用してGXの取組を今後進めていきたい	GXの取組を進めるつもりはない	その他	不明
全体(n=120)	10.0	2.5	2.5	44.2	20.0	15.8	5.0
建設業(n=25)	8.0	4.0	0.0	56.0	28.0	4.0	0.0
製造業(n=12)	8.3	16.7	0.0	41.7	16.7	0.0	16.7
電気・ガス・熱供給・水道業(n=5)	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0
運輸・郵便業(n=11)	0.0	0.0	0.0	54.5	36.4	9.1	0.0
卸売・小売業(n=12)	8.3	0.0	8.3	41.7	25.0	16.7	0.0
金融・保険業(n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
不動産・物品賃貸業(n=8)	12.5	0.0	0.0	25.0	25.0	37.5	0.0
飲食・宿泊業(n=6)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
医療・福祉(n=16)	12.5	0.0	6.3	25.0	12.5	37.5	6.3
教育・学習支援業(n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス業(n=16)	18.8	0.0	6.3	56.3	0.0	6.3	12.5

(3) 事業所で取り組んでいる環境活動

問 2-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、1～4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

問 2-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

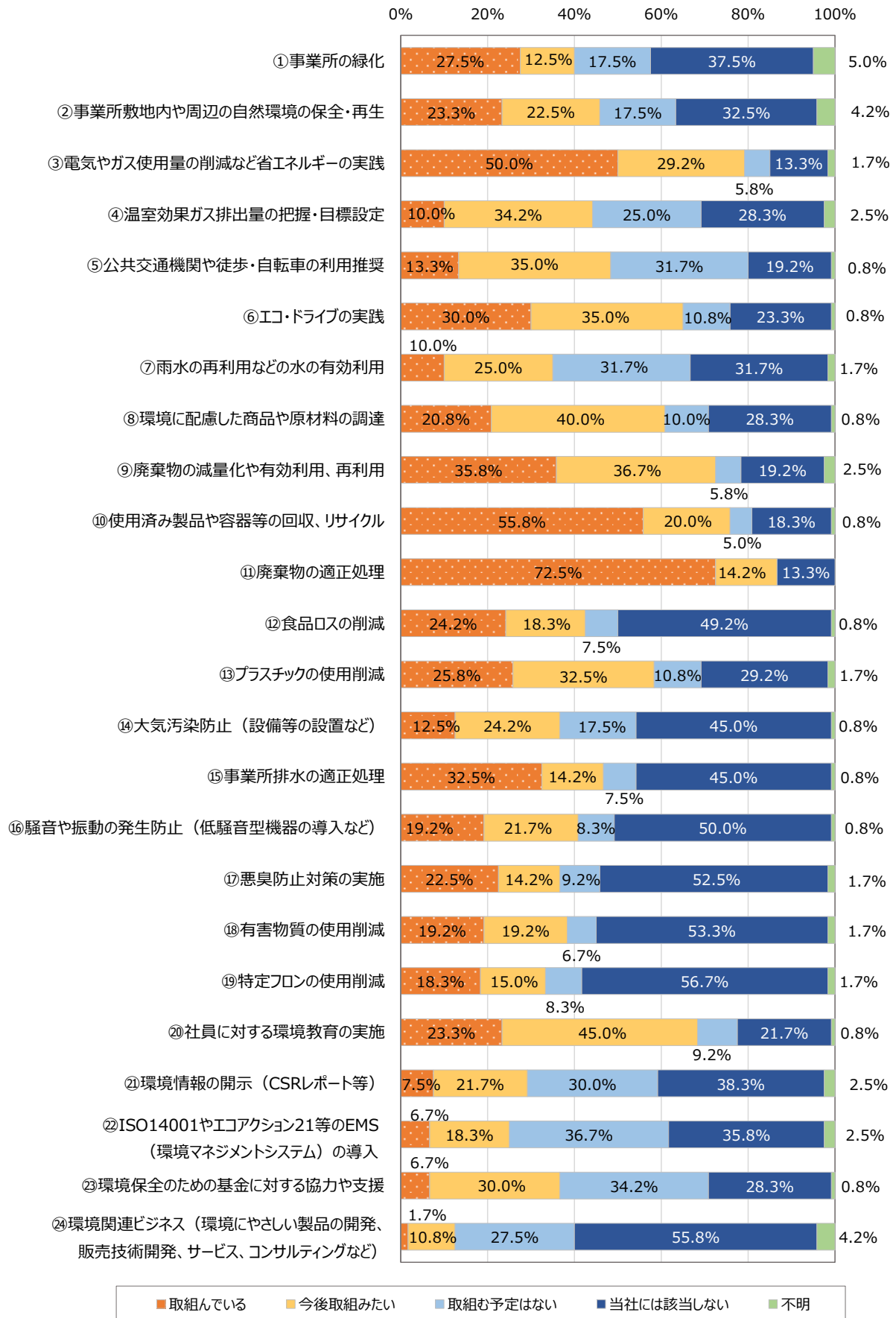
事業所の環境活動について聞いたところ、実施率が高かったのは、「①廃棄物の適正処理」(72.5%)で7割以上の回答となっています。次いで、「⑩使用済み製品や容器等の回収、リサイクル」(55.8%)、「③電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践」(50.0%)で5割以上の事業者で取り組まれています。

『今後取組みたい』の回答率が高かったのは、「⑫社員に対する環境教育の実施」(45.0%)、「⑧環境に配慮した商品や原材料の調達」(40.0%)、で4割以上の回答となっています。

一方、『取組む予定はない』の回答率が高かったのは、「⑫ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS (環境マネジメントシステム) の導入」(36.7%)、「⑬環境保全のための基金に対する協力や支援」(34.2%)、「⑤公共交通機関や徒歩・自転車の利用推奨」(31.7%)、「⑦雨水の再利用などの水の有効利用」(31.7%)、「⑭環境情報の開示 (CSR レポート等)」(30.0%) となっています。

◆その他の環境活動

- 梱包材料など ECO な物への切替
- 不必要な物は車に載せない
- 緑化
- 植林、植樹活動への参加 (企業として)
- ソーラーパネルの導入、ゴミの分別、削減



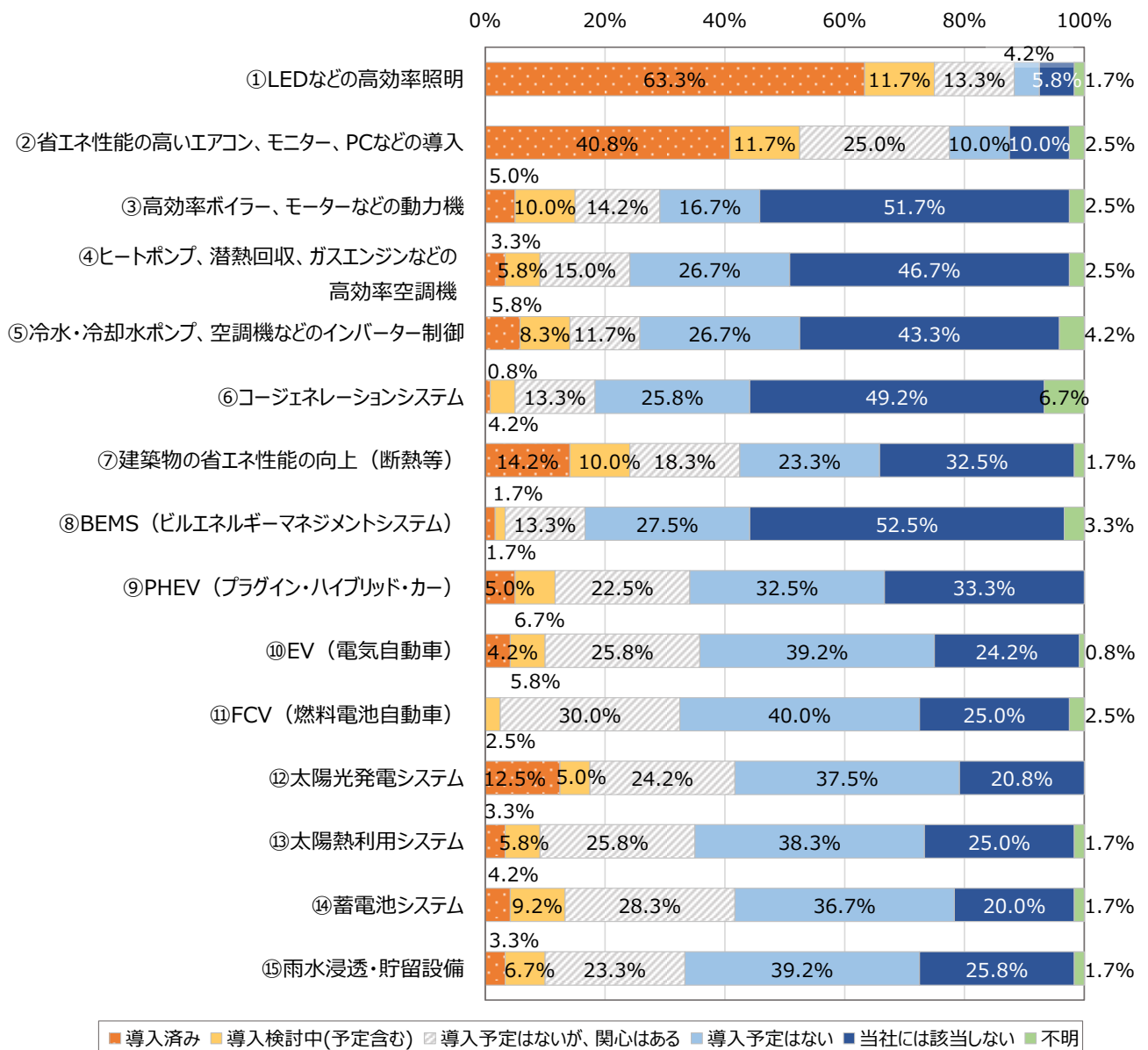
(4) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問3 エネルギー使用量の削減や水害対策となる設備等について、導入しているものがありますか。それぞれの項目について、1～5の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器の導入状況について聞いたところ、『導入済み』と回答した割合は、「①LEDなどの高効率照明」(63.3%)が最も高く、次いで「②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入」(40.8%)となっています。

また、『導入検討中(予定含む)』については、上記2項目のほか、「③高効率ボイラー、モーターなどの動力機」(10.0%)、「⑦建築物の省エネ性能の向上(断熱等)」(10.0%)が1割を超える結果となりました。

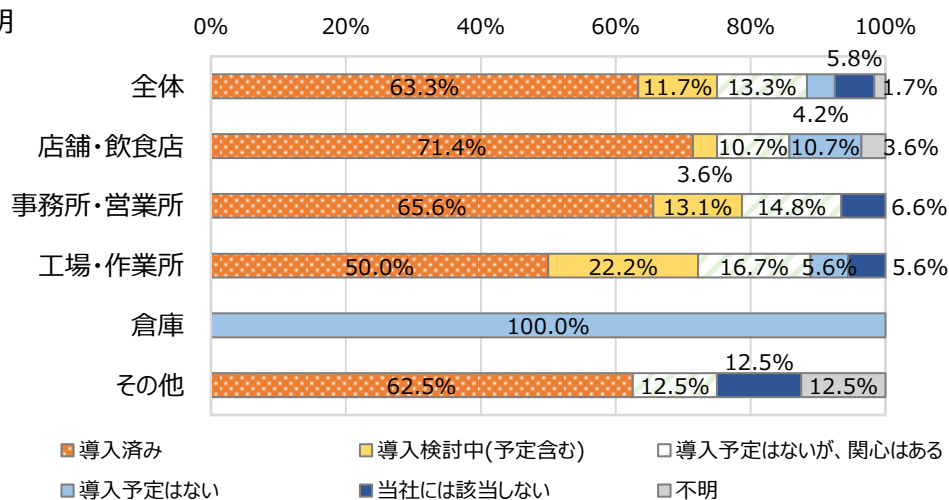
『導入予定はないが、関心はある』については、「⑪FCV(燃料電池自動車)」(30.0%)、「⑭蓄電池システム」(28.3%)、「⑩EV(電気自動車)」(25.8%)、「⑬太陽熱利用システム」(25.8%)、「②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入」(25.0%)で回答率が高くなっています。



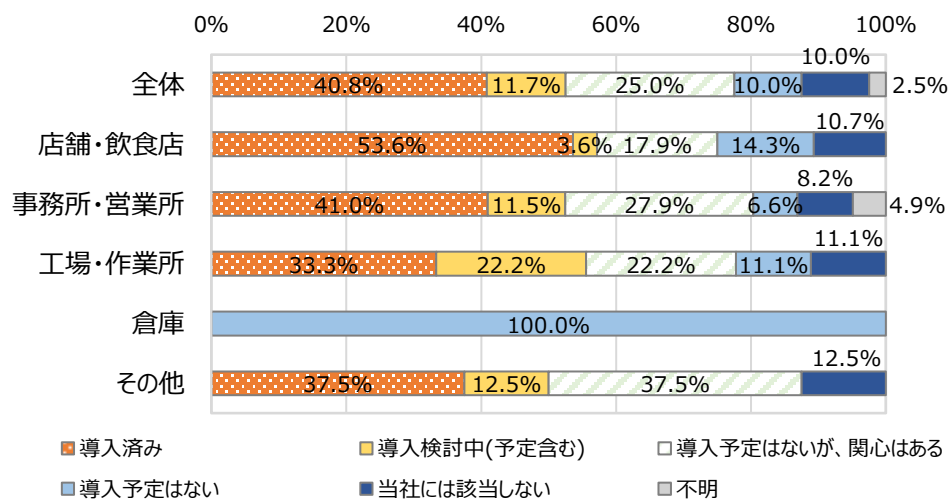
【建物形態別の導入状況】（クロス集計）

問3で導入状況をお聞きした地球温暖化対策設備機器のうち、導入率が比較的高かった機器類について、建物形態別に集計した結果を以下に示します。

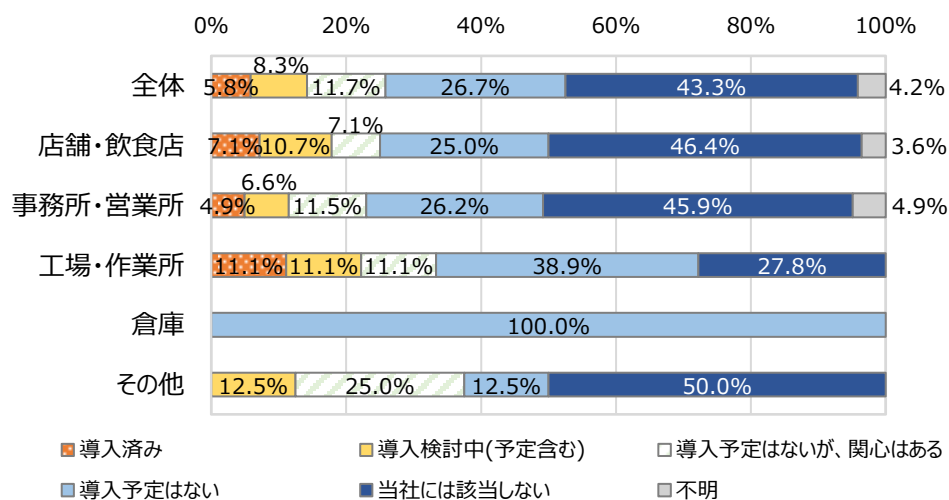
①LED などの高効率照明



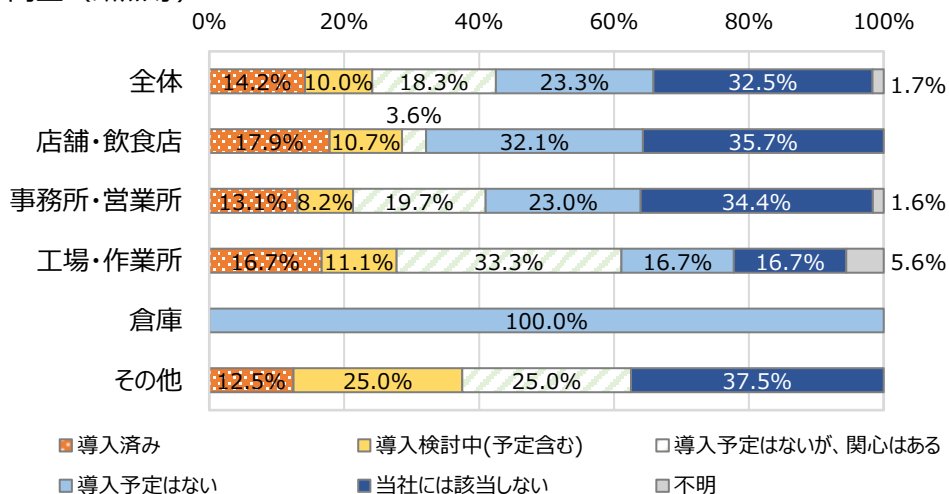
②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入



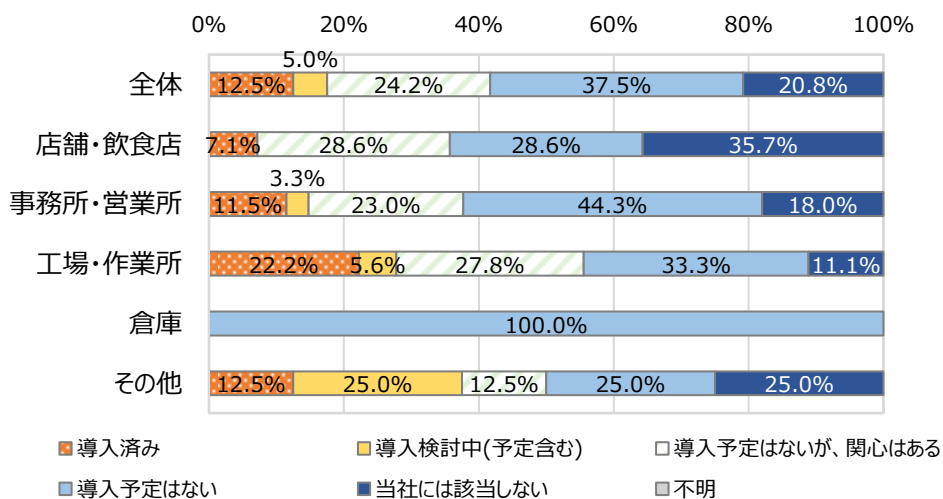
⑤冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御



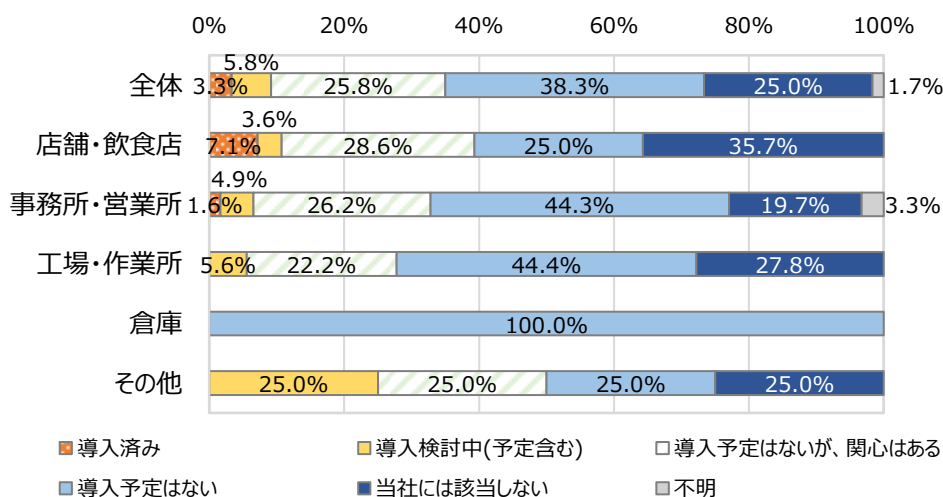
⑦建築物の省エネ性能の向上（断熱等）



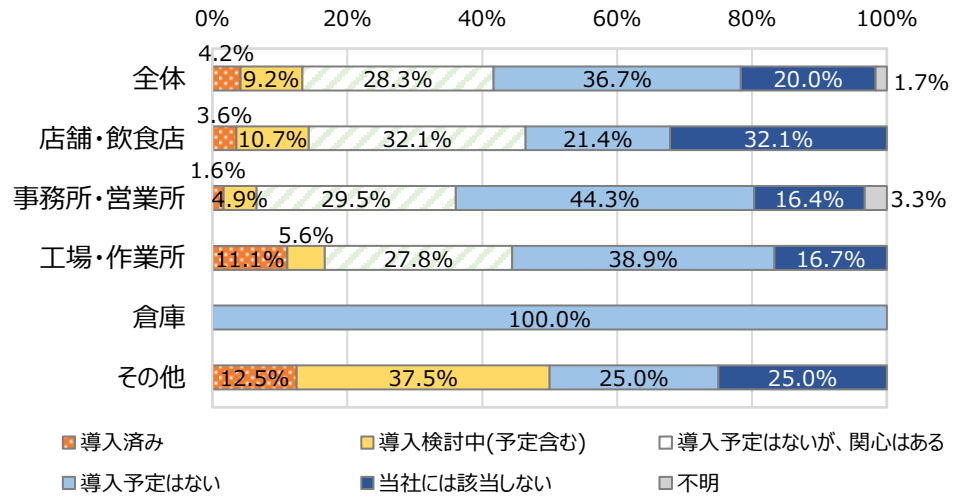
⑫太陽光発電システム



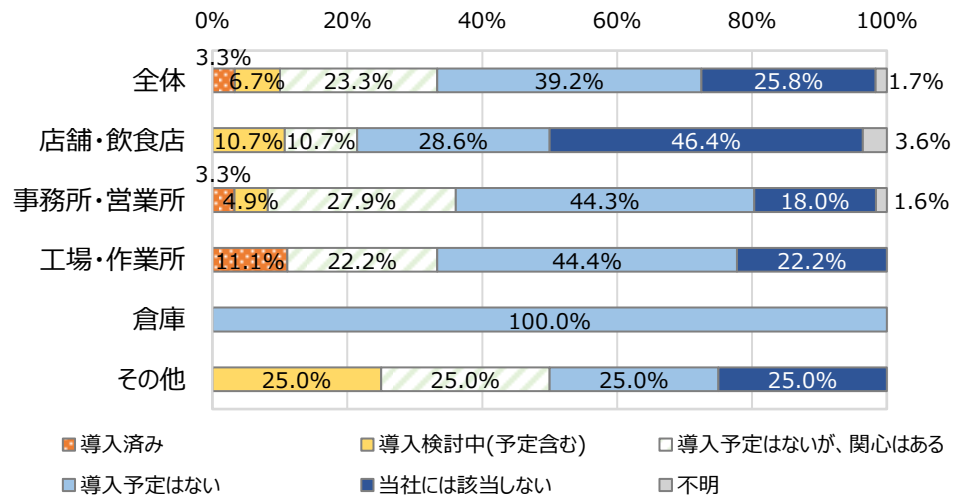
⑬太陽熱利用システム



⑭蓄電池システム



⑮雨水浸透・貯留設備



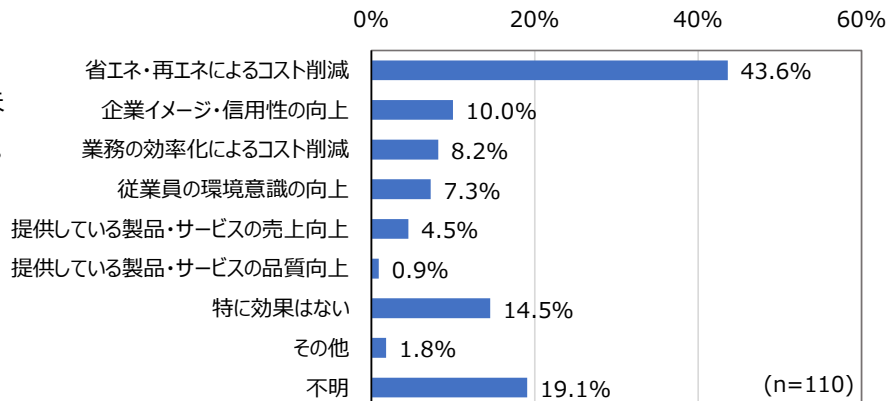
3-3 環境活動における効果と課題について

(1) 環境活動で得られた効果

問4 問2又は問3で1つでも1に○をつけた方にお伺いします。環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動で得られた効果を聞いたところ、「省エネ・再エネによるコスト削減」(43.6%)が最も多く、次いで、「企業イメージ・信用性の向上」(10.0%)、「業務の効率化によるコスト削減」(8.2%)となっています。

「特に効果はない」(14.5%)は全体の2割未満の回答率となっています。



◆その他回答

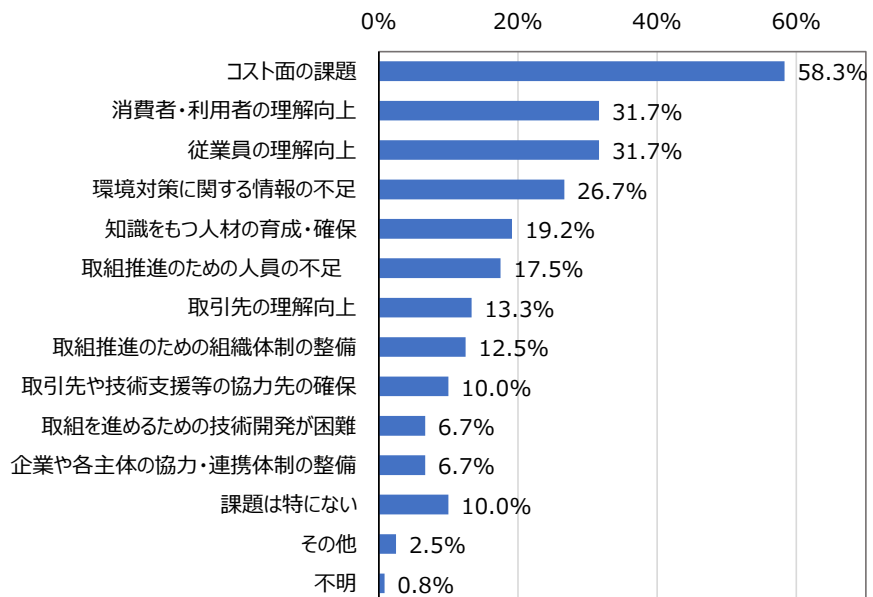
○世界環境負荷への削減

(2) 環境活動を進めるにあたっての課題

問5 すべての方にお伺いします。貴事業所において、環境活動を実施するにあたり、どのようなことが課題であると感じていますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

環境活動を実施する際の課題を聞いたところ、「コスト面の課題」(58.3%)が5割以上の回答率となりました。

次いで、「消費者・利用者の理解向上」(31.7%)、「従業員の理解向上」(31.7%)が3割以上、「環境対策に関する情報の不足」(26.7%)が2割以上の回答率となっています。



◆その他回答

○建物の老朽化による強度不足
○会社からの従業員への発信力

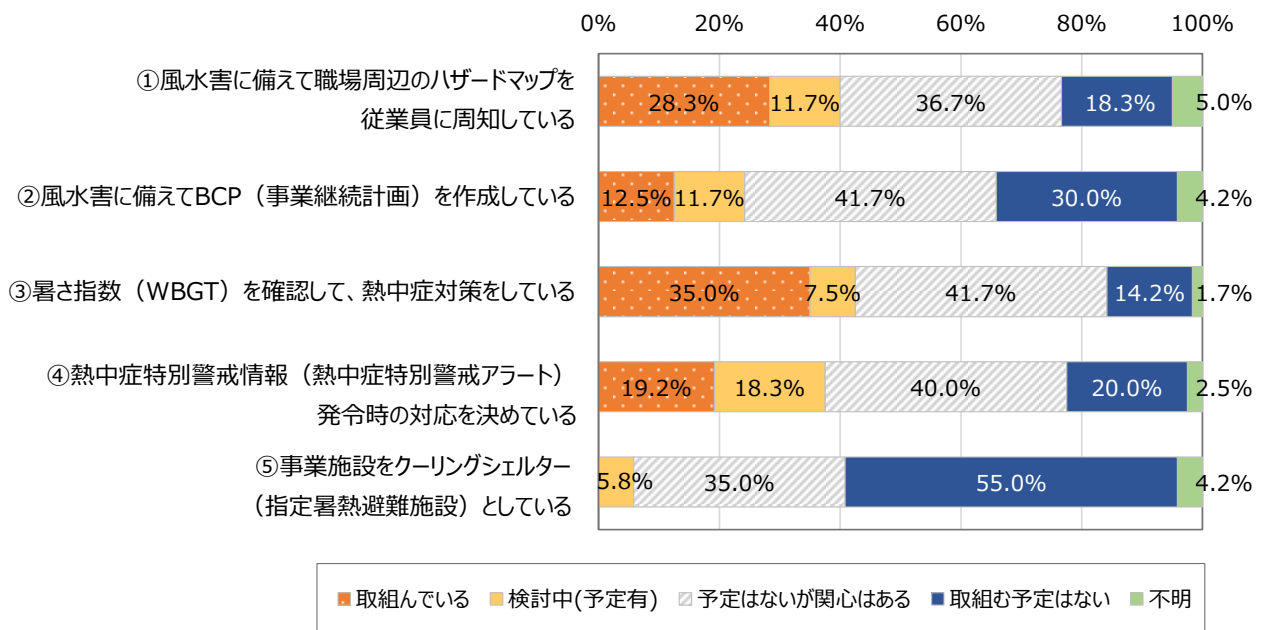
(3) 気候変動適応策の取組状況

問6 貴事業所では気候変動による風水害や気温上昇に対する備えや影響を抑える取組を行っていますか。それぞれの項目について、1~4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

気候変動適応策の取組状況を聞いたところ、実施率が高かった項目は「③暑さ指数（WBGT）を確認して、熱中症対策をしている」（35.0%）、「①風水害に備えて職場周辺のハザードマップを従業員に周知している」（28.3%）、「④熱中症特別警戒情報（熱中症特別警戒アラート）発令時の対応を決めている」（19.2%）となりました。

また『検討中(予定有)』の取組としては、上記①、④の回答に加え「②風水害に備えてBCP（事業継続計画）を作成している」（11.7%）も1割を超える回答率となりました。

『予定はないが、関心はある』については、すべての項目で35%以上の回答率となっています。



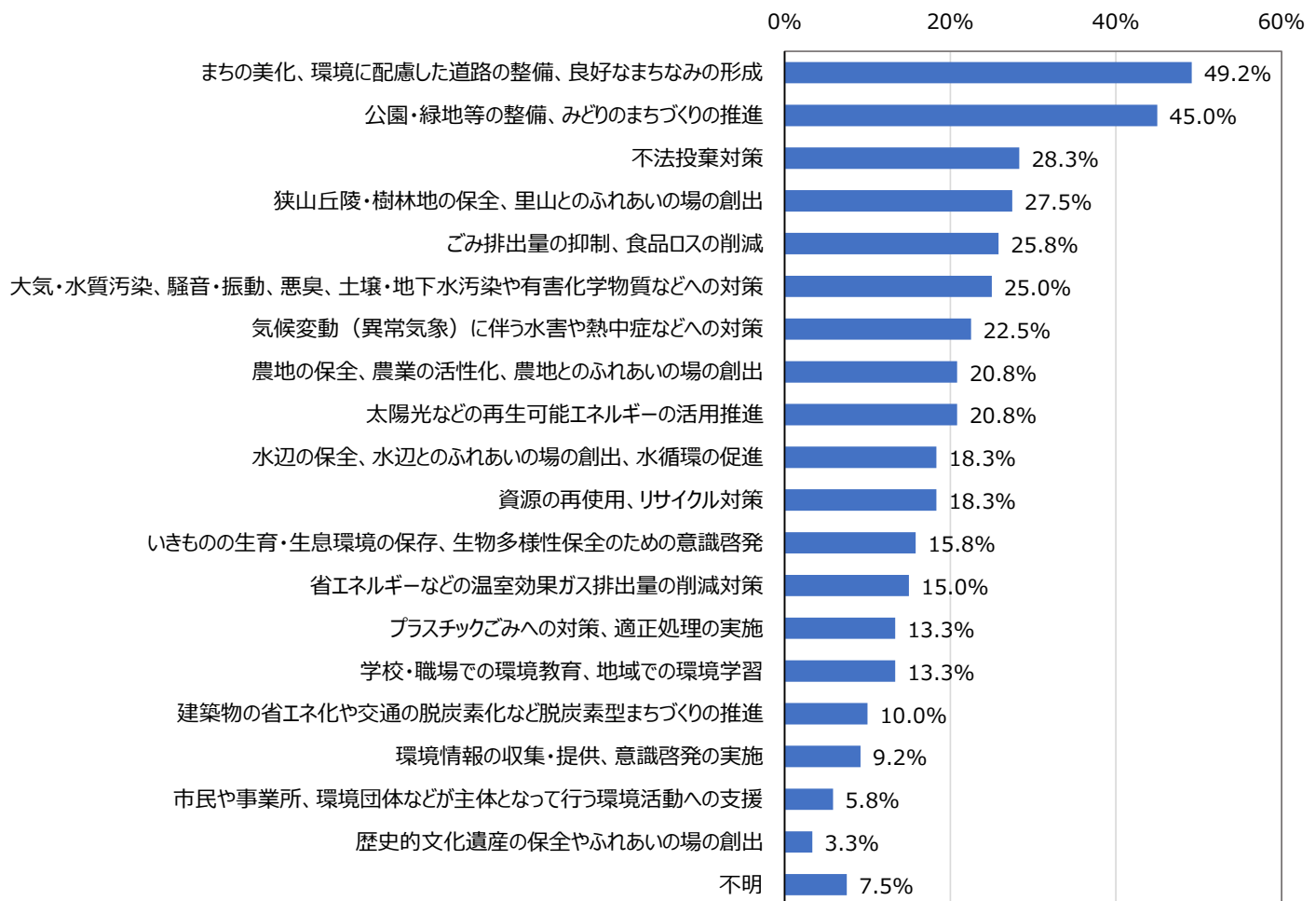
3-4 環境施策について

(1) 市が重点的に取り組むべき環境施策

問7 武蔵村山市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境施策は、どれだと思えますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に取り組むべき環境施策について聞いたところ、「まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成」(49.2%)が最も多く、次いで、「公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進」(45.0%)となっています。

景観保全や緑化等の施策の充実が求められていることがうかがえます。



【業種別の重点的に取り組むべき環境施策】（クロス集計）

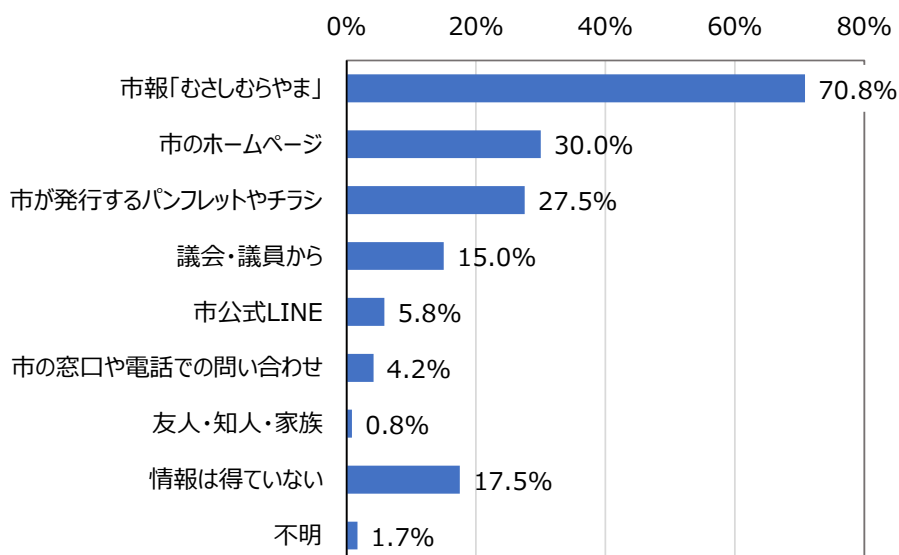
里山保全では建設業や不動産・賃貸業、生物多様性保全では卸売・小売業、農地の保全では金融・保険業、まちなみの形成では製造業や電気・ガス・熱供給業などで比較的高くなっています。（％）

業種	狭山丘陵・樹林地の保全、里山とのふれあいの場の創出	水辺の保全、水辺とのふれあいの場の創出、水循環の促進	いきものの生育・生息環境の保存、生物多様性保全のための意識啓発	公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進	農地の保全、農業の活性化、農地とのふれあいの場の創出	まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成	歴史的文化遗产の保全やふれあいの場の創出	大気・水質汚染、騒音・振動、悪臭、土壌・地下水汚染や有害化学物質などへの対策
全体(n=120)	27.5	18.3	15.8	45.0	20.8	49.2	3.3	25.0
建設業(n=25)	36.0	20.0	8.0	56.0	28.0	60.0	12.0	12.0
製造業(n=12)	0.0	8.3	0.0	58.3	8.3	50.0	0.0	16.7
電気・ガス・熱供給・水道業(n=5)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	40.0
運輸・郵便業(n=11)	27.3	18.2	18.2	36.4	9.1	45.5	0.0	18.2
卸売・小売業(n=12)	16.7	33.3	50.0	41.7	25.0	66.7	0.0	25.0
金融・保険業(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
不動産・物品賃貸業(n=8)	62.5	12.5	25.0	50.0	25.0	37.5	0.0	25.0
飲食・宿泊業(n=6)	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3
医療・福祉(n=16)	37.5	25.0	18.8	56.3	31.3	43.8	6.3	43.8
教育・学習支援業(n=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
サービス業(n=16)	31.3	6.3	18.8	37.5	18.8	31.3	0.0	31.3

(2) 市の環境情報の入手方法

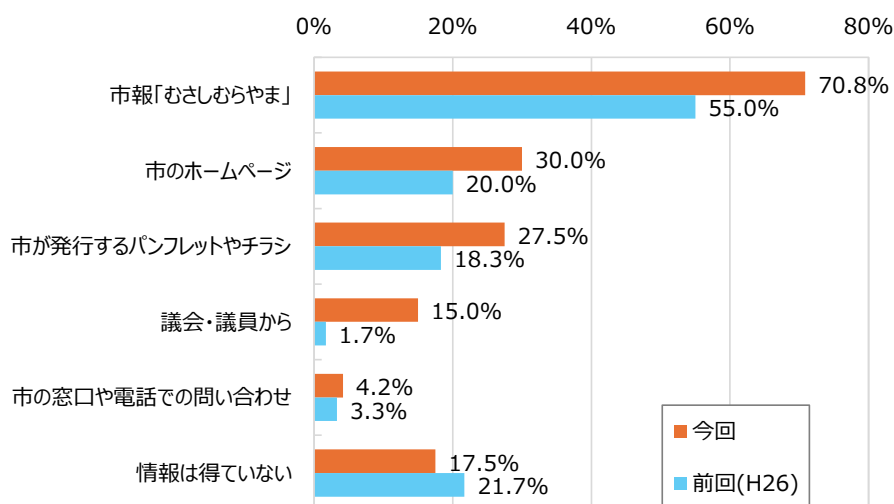
問 8 市が進めている環境に関する取組などの情報について、どのように入手していますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

市の環境情報の入手方法を聞いたところ、「市報「むさしむらやま」」(70.8%) が最も多く、次いで、「市のホームページ」(30.0%)、「市が発行するパンフレットやチラシ」(27.5%) となっています。



【前回調査（平成 26 年度）との比較】

前回調査（平成 26 年度）の比較可能な項目について比較すると、増加が最も多かったのは「市報「むさしむらやま」」で前回比 15.8 ポイント上昇しています。次に、「議会・議員から」(13.3 ポイント)、「市のホームページ」(10.0 ポイント) の順となっています。「情報は得ていない」は 4.2 ポイント低下し、情報を得ている事業者の割合が増加しています。



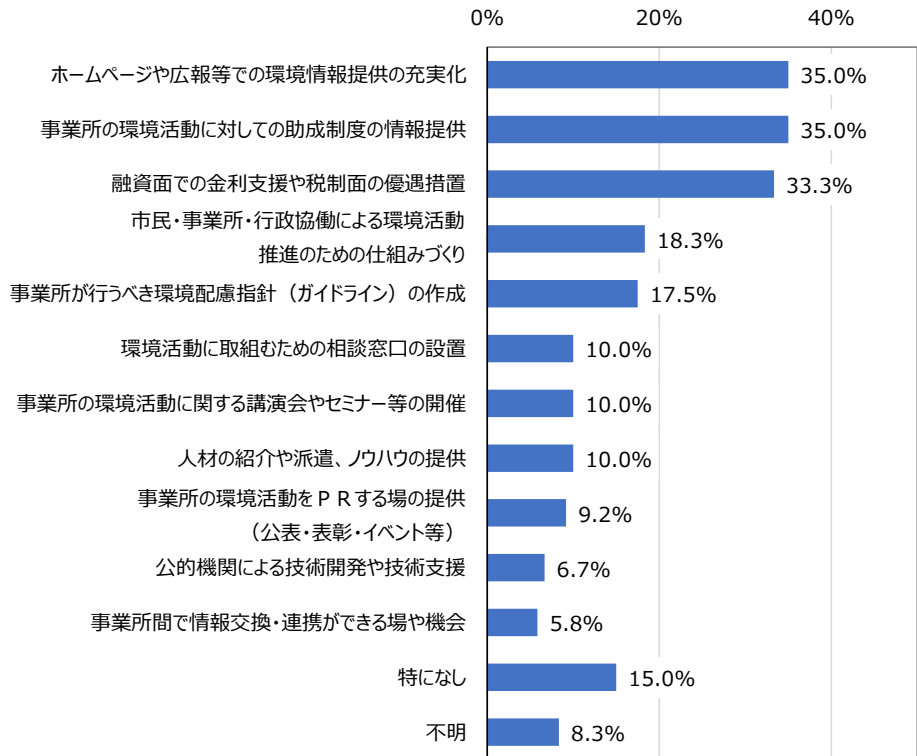
3-5 望ましい支援について

(1) 市が実施すると望ましいサポート

問 9 貴事業所が、環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んで下さい。

市が実施すると望ましいサポートについて聞いたところ、「ホームページや広報等での環境情報提供の充実化」(35.0%)ならびに「事業所の環境活動に対しての助成制度の情報提供」(35.0%)が最も多く、次いで、「融資面での金利支援や税制面の優遇措置」(33.3%)となっています。

問 5 の環境活動を進めるにあたっての課題で最も回答率が高かったコスト的な問題と対応し、費用面でのサポートや情報提供の充実が求められていることがうかがえます。

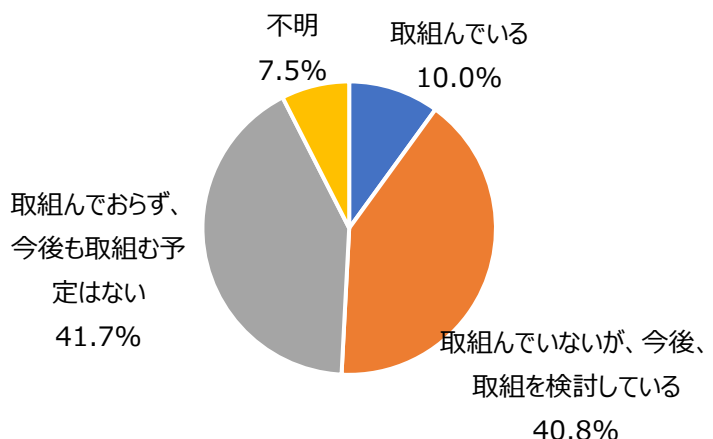


3-6 地域の環境活動について

(1) 取り組んでいる地域環境活動

問 10-1 貴事業所では、現在、地域に対する環境活動に取り組んでいますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

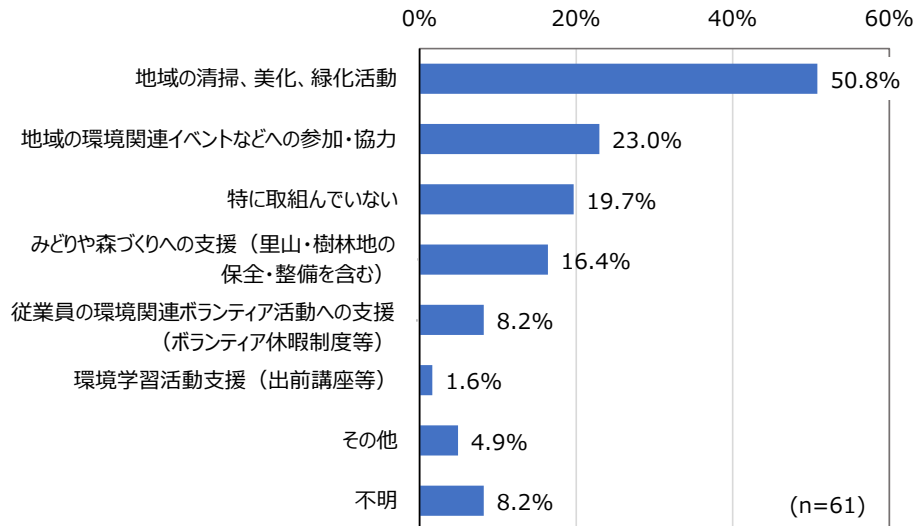
取り組んでいる地域の環境活動を聞いたところ、「取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」(41.7%)が最も多い一方、「取り組んでいないが、今後、取組を検討している」(40.8%)も4割を超え、今後の取組を検討している事業所が一定数あることが分かりました。



(2) 取組の状況

問10-2 問10-1で「1. 取組んでいる」あるいは「2. 取組んでいないが、今後、取組を検討している」とお答えの事業所の方のみに質問します。取組んでいる地域環境活動について、どのような取組をされていますか。また、今後、取組みたいと思いますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください

取組んでいる地域環境活動について、実施している内容や今後の意向を聞いたところ、「地域の清掃、美化、緑化活動」(50.8%)が最も多く、次いで、「地域の環境関連イベントなどへの参加・協力」(23.0%)となっています。地域に根差した活動が取組みやすいことがうかがえます。



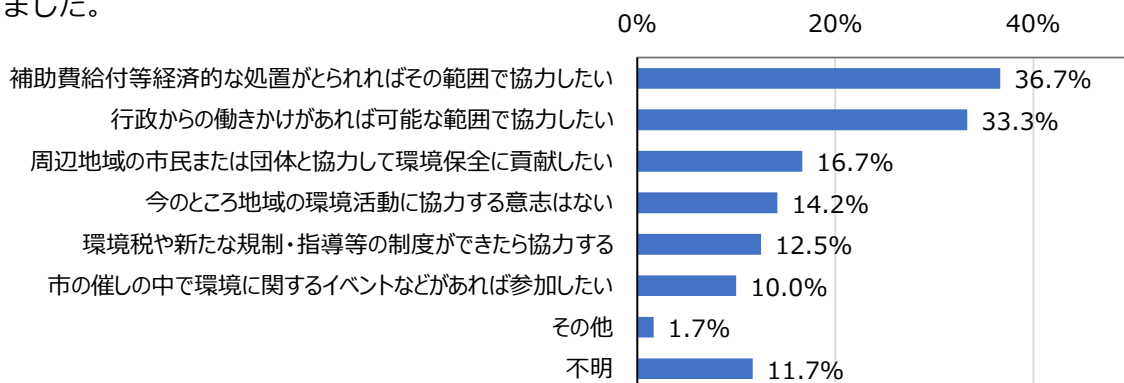
◆その他回答

- ゴミの削減
- こどものみらい古本募金
- 駐車場の災害時開放（避難場）

(3) 協力、支援の意向

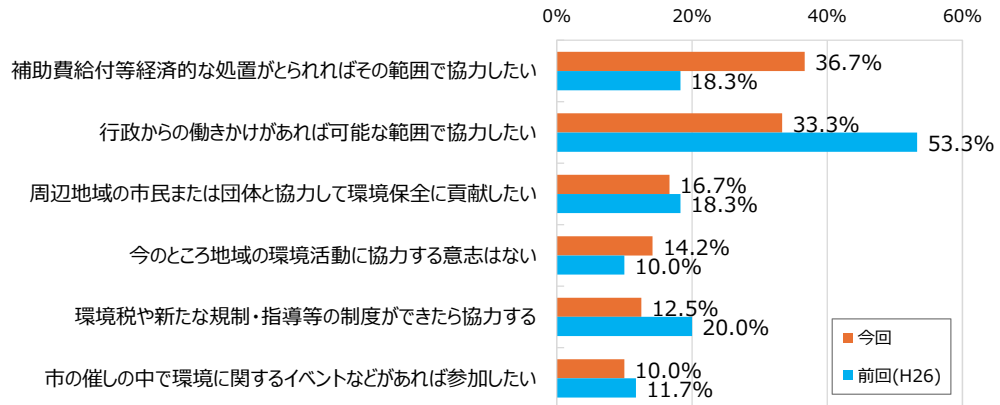
問11 事業所の地域に対する環境活動について、貴事業所ではどのように考えていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域活動について、協力、支援の意向を聞いたところ、「補助費給付等経済的な処置がとられればその範囲で協力したい」(36.7%)、「行政からの働きかけがあれば可能な範囲で協力したい」(33.3%)が3割を超える回答率となっています。続いて「周辺地域の市民または団体と協力して環境保全に貢献したい」(16.7%)との回答があり、地域と連携した活動の意向があることも分かりました。



【前回調査（平成 26 年度）との比較】

前回（平成 26 年度）と今回を比較すると、「補助費給付等経済的な処置がとられればその範囲で協力したい」は 18.4 ポイント、「今のところ地域の環境活動に協力する意志はない」は 4.2 ポイント上昇している一方、「行政からの働きかけがあれば可能な範囲で協力したい」（-20.0 ポイント）、「環境税や新たな規制・指導等の制度ができれば協力する」（-7.5 ポイント）などでは低下しています。



3-7 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、1社の事業所からの記入がありました。寄せられた意見を以下に示します。

- 道路の幅員が狭い場所に建物ができている。現在より基準を広げてもいいのではないか。

4 調査結果のまとめ

意識調査の結果について、国の第6次環境基本計画における個別分野の重点施策の区分に基づく分野ごとにまとめと課題、今後必要と考えられる取組（例）を整理しました。

4-1 気候変動対策

区 分	結果のまとめ
結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の気候変動対策への意識は高く、多くの取組が高い割合で取り組まれています。「冷暖房を使用するときは温度設定に気をつけている」は 89.6%、「熱中症警戒アラートを確認して、熱中症対策をしている」は 82.5%が取り組んでいると回答しています。 ● 事業所において「取り組んでいる」の回答が多かった項目は「暑さ指数（WBGT）を確認して、熱中症対策をしている」が 35.0%、「風水害に備えて職場周辺のハザードマップを従業員に周知している」が 28.3%などでした。BCP（事業継続計画）の策定は 12.5%にとどまっています。 ● 家庭における省エネ・再エネ設備の導入は、「LED などの高効率照明」が 75.4%と高いものの、「住宅用太陽光発電システム」は 8.5%、「家庭用蓄電池システム」は 4.2%にとどまっています。事業所では「LED などの高効率照明」が 63.3%、「省エネ性能の高いエアコン、モニター、PC などの導入」が 40.8%となっています。
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民レベルでは、具体的な行動に移すための知識や動機づけが不足している可能性があります。また、省エネ・再エネ設備の導入には初期費用がかかるため、経済的な支援が必要です。 ● 事業所では、気候変動対策への必要性を感じてはいるものの、コストや関係者の理解、情報や専門知識を有する人材の不足などのために取組みが進んでいないことが課題となっています。 ● 市民、事業所ともに、省エネ・再エネ設備の導入への関心はあるものの、導入に至っていないケースが多いとみられます。導入を促進する動機づけや経済的な支援、具体的な取組例や効果などの情報提供が求められています。
今後必要と考えられる取組（例）	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民向け：気候変動の影響や対策の重要性を啓発する環境学習講座や自然観察会の拡充、省エネ・再エネ設備の導入に対する補助金制度の拡充や取組例などの情報提供 ● 事業所向け：BCP 策定や省エネ診断、省エネ・再エネ設備導入に対する助成金制度などの情報提供、セミナーや勉強会など情報入手の機会の提供 ● 市全体：再生可能エネルギーの活用推進、公共施設の省エネ改修・再エネ活用の推進、適応策の推進

4-2 循環型社会の形成

区 分	結果のまとめ
結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民では「空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している」が98.2%、「買い物袋（マイバッグ）を持参している」が94.7%など、多くの項目について高い割合で実践されています。一方、「生ごみを堆肥にしている」は16.9%にとどまっています。 ● 事業所において「取組んでいる」の回答が多かった項目は、「廃棄物の適正処理」が72.5%、「使用済み製品や容器等の回収、リサイクル」が55.8%などでした。一方、環境マネジメントシステム（EMS）の導入は6.7%にとどまっています。
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民では、分別や減量化、リサイクルへの意識は全般的に高く、取組も定着しています。環境に優しい商品の購入や生ごみの堆肥化など、実施率の低い取組の更なる普及が必要です。 ● 事業所では、廃棄物の適正処理が進められているものの、事業者全体から見ると高い水準に達しておらず、取組の余地があります。また、食品ロスの削減やプラスチックの使用削減などに取組の余地があります。 ● 市民、事業所ともに、リユース、リサイクルの機会やルールに関する情報提供が不足している可能性があります。
今後必要と考えられる取組（例）	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民向け：エシカル消費（人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）など環境に優しい商品の情報提供の拡充、リサイクルに関する情報提供の拡充 ● 事業所向け：循環経済（廃棄物などを資源として循環利用する取組）のセミナーや勉強会の実施、リサイクル製品の利用促進 ● 市全体：リサイクルステーションの整備やリユース品の販売促進など、循環型社会の形成に向けたインフラ整備、製品プラスチックリサイクルの検討

4-3 自然共生社会

区 分	結果のまとめ
結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の満足度が高い項目として、「緑とのふれあい」（3.72）、「空気のきれいさ」（3.70）、「自然的風景の良さ」（3.59）があげられており、自然環境に対する満足度が高いことがうかがえます。 ● 将来に残したい身近な自然や環境として、野山北・六道山公園、野山北公園自転車道、狭山丘陵など自然的要素が多く挙げられています。市が重点的に取り組むべき環境施策として「公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進」が51.1%と高くなっています。 ● 事業所では、事業所の緑化や自然環境の保全・再生への取組の実施度が低くなっています。一方、市が重点的に取り組むべき環境施策として「公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進」を求める声が45.0%と高く、みどりのまちづくりに対する関心は高い傾向がうかがえます。

区 分	結果のまとめ
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の自然環境への関心は高いものの、具体的な保全活動への参加は低い傾向がみられます。 ● 事業所では、自然環境への意識は低いものの、緑化や自然保全に関する施策へのニーズが高い傾向がみられます。 ● 緑地や水辺の保全、生態系保全と向上の取組への期待が高いものとみられます。
今後必要と考えられる取組 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民向け：自然観察会やボランティア活動の機会の拡充、自然保護団体との連携強化、地域ごとの自然資源の魅力を発信するイベント開催 ● 事業所向け：都市緑地法に基づく、優良緑地確保計画認定制度（事業所の緑化や自然環境保全に対する評価・認定制度（TSUNAG））や地域環境活動への参加を促す情報提供 ● 市全体：緑地や水辺の保全計画の策定と生態系に配慮した整備の推進、生物多様性の保全に関する計画の作成

4-4 安全・安心・快適な生活環境

区 分	結果のまとめ
結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の「交通手段に関する便利さ」の満足度点は 2.08 と全項目中で最も低く、「道路（車道）、歩道の快適さ」も 2.57 と低くなっています。 ● 市民の災害時の安全性への関心は高く、「台風や水害など災害時の安全性」の満足度点は前回調査から 1.27 上昇しています（ただし、前回調査とは設問の表現が一部異なります）。 ● 市が重点的に取り組むべき環境施策として、市民・事業者ともに「まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成」が最も多くなっています。
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通手段の利便性、道路や歩道の整備状況に対する不満が高いです。 ● 不法投棄やポイ捨て、ペットのフンなど、生活環境に関する問題が散見されます。
今後必要と考えられる取組 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関の利便性向上に向けた検討、道路や歩道の整備計画の見直し。 ● ハザードマップの周知徹底や防災訓練の実施、災害時の避難場所の確保など、防災対策の強化。 ● 不法投棄やポイ捨て対策の強化、ペットの飼育マナーに関する啓発活動。

4-5 環境教育・パートナーシップ

区 分	結果のまとめ
結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している」は9.2%と低く、環境学習への参加は低い水準です。一方、「今後なるべく取り組みたい」では、「環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している」が54.8%と高くなっています。 ● 市民の環境活動への参加率は低く、参加しない理由として「どのような活動があるのか知らない」が39.6%、「参加するための時間がない」が37.5%となっています。 ● 市民や事業所ともに、環境情報については「市報むさしむらやま」からの入手が最も多いものの、他の情報源へのニーズも高い傾向です。 ● 事業所では、地域環境活動について「取組んでおらず、今後も取組む予定はない」が41.7%と高い一方、「取組んでいないが、今後、取組を検討している」も40.8%と高くなっており、関心は高いものとみられます。
課題分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境学習へのニーズと提供されているプログラムがミスマッチしている可能性があります。 ● 市が発信する情報へのアクセスは比較的容易であるものの、その内容や発信方法を改善する必要があります。 ● 地域の環境活動への参加に結びつかない要因として、情報不足や時間的制約、一人で参加することへの不安などが挙げられます。 ● 地域環境活動への関心は高いことから、具体的な活動につながるよう改善を図る必要があります。
今後必要と考えられる取組 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境学習講座や自然観察会を拡充し、子どもから高齢者まで幅広い層を対象としたプログラムや、時間のない人も参加しやすいプログラムを提供。 ● 市のホームページやSNSを活用し、環境に関する情報の積極的に発信。 ● 地域環境活動に関する情報提供の充実、参加しやすい時間帯や場所での活動機会の提供、地域コミュニティとの連携強化。 ● 地域環境活動に取り組む市民団体や事業所との連携を強化し、情報交換や協働活動を促進。 ● 環境活動に関する情報プラットフォームを整備し、市民、事業所、行政が相互に連携できる環境づくり。

巻末資料

- ① 市民アンケート調査票
- ② 事業者アンケート調査票

① 市民アンケート調査票

整理番号

武蔵村山市の環境についての市民アンケート調査

日ごろより、武蔵村山市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。
市では、平成28年度から令和7年度までの10年間の計画（令和2年度中間見直しを実施）である「武蔵村山市第二次環境基本計画」を策定し、「みどり」と「暮らし」をみんなで育む「住み良いまち」を目指すべき環境像として掲げ、計画に沿ってさまざまな環境施策を進めてきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えるため、気候変動や生物多様性など昨今の国内外の社会的情勢の変化を踏まえながら、令和8年度を初年度とする「武蔵村山市第三次環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民の皆様から、住んでいる地域の環境の満足度や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年9月

武蔵村山市長 山崎 泰大

- ◆ 市内に在住する満18歳以上の2,000人の方を無作為に抽出し、無記名でご回答をお願いしています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、回答いただいた方の個人情報が公表されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。

ご回答の方法（次のいずれかの方法をお選びください）

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② スマートフォン・WEBでのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/iYoVint3i1stWa2x8>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。

こちらからも
回答できます



ご回答は、**令和6年10月18日（金）**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

武蔵村山市 環境部 環境課 環境保全係

〒208-8501 東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

電話：042-565-1111（内線296） F A X：042-566-4493

E-mail：kankyo@city.musashimurayama.lg.jp

◆身近な地域の環境や環境活動の取組状況についてお伺いします◆

問1 お住まいの周辺環境（身近な環境）や行政の支援について、日ごろどのように感じていますか。
各項目の満足度について、1～5の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

項 目		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
【記入例】 ⇒		5	④	3	2	1
①	空気のきれいさ	5	4	3	2	1
②	水辺（川や水路）のきれいさ	5	4	3	2	1
③	まちの静けさ	5	4	3	2	1
④	まちの清潔さ	5	4	3	2	1
⑤	緑とのふれあい	5	4	3	2	1
⑥	水や水辺とのふれあい	5	4	3	2	1
⑦	野鳥や昆虫の生息環境の豊かさ	5	4	3	2	1
⑧	土との親しみ	5	4	3	2	1
⑨	自然的風景の良さ	5	4	3	2	1
⑩	まちなみの美しさ	5	4	3	2	1
⑪	道路（車道）、歩道の快適さ	5	4	3	2	1
⑫	広場、公園との親しみ	5	4	3	2	1
⑬	神社、仏閣など歴史的環境	5	4	3	2	1
⑭	ごみの減量ができる機会やルール	5	4	3	2	1
⑮	再使用（リユース）ができる機会やルール	5	4	3	2	1
⑯	リサイクルができる機会やルール	5	4	3	2	1
⑰	交通手段に関する便利さ	5	4	3	2	1
⑱	エネルギーの効率化・再生可能エネルギーの活用	5	4	3	2	1
⑲	台風や水害など災害時の安全性	5	4	3	2	1
⑳	暑さから身を守る場所や対策	5	4	3	2	1
㉑	環境学習や環境教育の機会	5	4	3	2	1
㉒	環境の状況や取組に関する情報提供	5	4	3	2	1
㉓	地域での環境活動ができる機会	5	4	3	2	1

問2 市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所がありますか。ある場合は、具体的な地名とその理由を3つまでご記入ください。

地名	理由
例) 狭山丘陵	豊かな自然が残されており、貴重な生き物などがみられるから。

問3 環境に関する取組について、普段あなたが取組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、1～4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

取組内容	ごく普通に取組んでいる	努力して取組んでいる	今後なるべく取組みたい	取組むのは難しい
【記入例】 ⇒	1	②	3	4
① 不要な照明やテレビはこまめに消す	1	2	3	4
② 冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている	1	2	3	4
③ 自家用車の使用を控え、できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関を使っている	1	2	3	4
④ 車を運転するときは、エコドライブを実践している	1	2	3	4
⑤ 買い物袋（マイバッグ）を持参している	1	2	3	4
⑥ 過剰な包装や使い捨てのスプーンやフォークなどを断っている	1	2	3	4
⑦ ものを大切にし、長く使っている	1	2	3	4
⑧ 食材は使いきる、料理は食べられる量でつくるなど、食品ロスを出さないようにしている	1	2	3	4
⑨ 空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している	1	2	3	4
⑩ 環境に優しい商品（環境に配慮した製品や地元産の食材）を購入している	1	2	3	4
⑪ 生ごみを堆肥にしている	1	2	3	4
⑫ お風呂（シャワー）、炊事など水を流しっぱなしにせず、こまめに節水している	1	2	3	4
⑬ 油や調理くずなどを下水に流さないよう家庭排水に配慮している	1	2	3	4
⑭ 生け垣の設置や緑のカーテンなど緑化をしている	1	2	3	4
⑮ 庭やベランダに植木や花壇、鉢植えなど植栽をしている	1	2	3	4
⑯ 近隣騒音（音漏れなど）に気を付けている	1	2	3	4

取組内容	ごく普通に取組んでいる	努力して取組んでいる	今後なるべく取組みたい	取組むのは難しい
⑰ ペットを飼うにあたっては、ルールを守っている	1	2	3	4
⑱ 自宅のまわりや所有地をきれいに管理する	1	2	3	4
⑲ 風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している	1	2	3	4
⑳ 熱中症警戒アラートを確認して、熱中症対策をしている	1	2	3	4
㉑ 地域の環境活動（地域清掃、リサイクル活動、緑化活動、自然環境保全活動など）に参加している	1	2	3	4
㉒ 環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している	1	2	3	4
㉓ その他（ご記入ください： _____）				

問4 問3で1つでも「取組むのは難しい」と回答した方にご質問します。理由としてあてはまる番号をすべて○で囲んでください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 時間や手間がかかる | 2. やり方がわからない |
| 3. 費用がかかる | 4. 効果がよくわからない |
| 5. 必要性を感じない | 6. そういう取組があることを知らない |
| 7. その他（ _____） | |

コラム：私達の生活を支える自然環境

私たちの生活は、気候や生態系などの自然環境に支えられています。右の図のように、基盤となる環境・自然資源があるからこそ、経済社会活動が継続できることとなり、経済の成長や生活の質の向上は、これ以上環境に負荷を与えないようにすることが必要不可欠となっています。

地球温暖化や生物多様性の減少などの環境問題は、すでに私たちの生活の基盤を脅かすものとなっており、普段の生活のなかでも環境に配慮することが求められています。



資料：環境省

問5 電気やガスなどエネルギー使用量の削減につながったり、水害対策となる設備等について、**導入しているものはありますか。**それぞれの項目について、**1~4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。**

項目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	予定はない が、関心は ある	関心はない、又は該 当しない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
②	電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4
③	ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ	1	2	3	4
④	壁、床、天井などの断熱	1	2	3	4
⑤	エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器	1	2	3	4
⑥	家庭用燃料電池システム（エネファーム）	1	2	3	4
⑦	住宅用太陽熱利用システム	1	2	3	4
⑧	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4
⑨	家庭用蓄電池システム	1	2	3	4
⑩	HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）※1	1	2	3	4
⑪	PHEV（プラグイン・ハイブリッド・カー）※2	1	2	3	4
⑫	EV（電気自動車）	1	2	3	4
⑬	ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）※3	1	2	3	4
⑭	雨水浸透・貯留設備	1	2	3	4

※1 HEMS：家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステム。

※2 PHEV：搭載したバッテリー（蓄電池）に外部から給電できるハイブリッド車。

※3 ZEH：高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

問6 問5で1つ以上「関心はない、又は該当しない」と回答した方にご質問します。理由としてあてはまる番号をすべて○で囲んでください。

1. 初期コストがかかる	2. 効果がわからない
3. 借家や集合住宅のため設置できない	4. どのようなものかわからない
5. 地球温暖化問題に関心がない	6. 特に理由はない
7. その他（	）

◆市の環境政策についてお伺いします◆

問7 武蔵村山市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境施策は、どれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

1. 狭山丘陵・樹林地の保全、里山とのふれあいの場の創出
2. 水辺の保全、水辺とのふれあいの場の創出、水循環の促進
3. いきものの生育・生息環境の保存、生物多様性保全のための意識啓発
4. 公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進
5. 農地の保全、農業の活性化、農地とのふれあいの場の創出
6. まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成
7. 歴史的文化遺産の保全やふれあいの場の創出
8. 大気・水質汚染、騒音・振動、悪臭、土壌・地下水汚染や有害化学物質などへの対策
9. 省エネルギーなどの温室効果ガス排出量の削減対策
10. 太陽光などの再生可能エネルギーの活用推進
11. 建築物の省エネ化や交通の脱炭素化など脱炭素型まちづくりの推進
12. 気候変動（異常気象）に伴う水害や熱中症などへの対策
13. ごみ排出量の抑制、食品ロスの削減
14. 資源の再使用、リサイクル対策
15. プラスチックごみへの対策、適正処理の実施
16. 不法投棄対策
17. 環境情報の収集・提供、意識啓発の実施
18. 学校・職場での環境教育、地域での環境学習
19. 市民や事業所、環境団体などが主体となって行う環境活動への支援
20. その他（)

問8 市が進めている環境に関する取組などの情報について、どのように入手していますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

1. 市報「むさしむらやま」
2. 市が発行するパンフレットやチラシ
3. 市のホームページ
4. 市公式 LINE
5. 市公式 SNS (X (旧 twitter)、Facebook、Instagram)
6. 議会・議員から
7. 自治会などの回覧板・掲示板
8. 友人・知人・家族
9. 情報は得ていない
10. その他（)

問9-1 あなたは環境保全に関する催しや、自然観察会、美化・清掃活動などに参加したことがありますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください

- | | | |
|---------------------------------|---------------|-----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ときどき参加している | ➔ 問9-2にご回答ください。 |
| 3. 過去に参加したことがあるが、現在はほとんど参加していない | | ➔ 問9-3にご回答ください。 |
| 4. 参加したことがない | | |

問9-2 現在、参加している方（問9-1で「1. 積極的に参加している」あるいは「2. ときどき参加している」と答えた方）に質問します。参加したきっかけは何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 友人、知人から誘われて | 2. 家族から誘われて |
| 3. 学校で誘われて | 4. 自治会などの回覧板・掲示板で知って |
| 5. 市報をみて | 6. 市のホームページで知って |
| 7. その他（ | ） |

問9-3 現在、参加していない方（問9-1で「3. 過去に参加したことがあるが、現在はほとんど参加していない」あるいは「4. 参加したことがない」と答えた方）に質問します。参加しない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. どのような活動があるのかわからない | 2. 参加したい活動が行われていない |
| 3. 一人で参加しづらい | 4. 参加するための時間がない |
| 5. 参加費用がかかる | 6. 参加による効果を実感できない |
| 7. 活動の内容が難しいイメージがある | 8. 興味がない・必要性を感じない |
| 9. その他（ | ） |

問10 あなたはどのような機会があれば、環境活動に参加したいと思いますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 身近な場所（小学校や公民館など）で開催される活動 | |
| 2. 市域の大きなイベントで同時開催される活動 | |
| 3. 関心のあるイベント・活動（具体的に： | ） |
| 4. 時間帯や参加回数を選べる活動（休日・夜間、平日・昼間など） | |
| 5. 家族や仲間と一緒になくても参加できる活動 | |
| 6. その他（ | ） |

◆最後に、あなたご自身のことについてお伺いします◆

問11 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|---------|----------|
| 1. 10歳～20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問12 あなたがお住まいの「地域」は、どこですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 北東エリア | 2. 北西エリア | 3. 南東エリア |
| 4. 南西エリア | 5. 緑が丘エリア | |

※お住まいの地域は、以下をご参照ください。

地域名	該当する地区名(町名)	地域名	該当する地区名(町名)
1. 北東エリア	中藤、神明、中央、本町	2. 北西エリア	三ツ木、岸、中原
3. 南東エリア	榎、学園、大南	4. 南西エリア	残堀、伊奈平、三ツ藤
5. 緑が丘エリア	緑が丘		

問13 あなたは武蔵村山市に何年住んでいますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

問14 あなたの住居の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 一戸建て(持ち家) | 2. 一戸建て(借家) | 3. 集合住宅(持ち家) |
| 4. 集合住宅(借家) | 5. 社宅・寮 | 6. その他() |

問15 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|---------------------|-----------|---------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子ども(二世帯) |
| 4. 親と子どもと孫など(三世帯以上) | 5. その他() | |

問16 世帯で所有している自動車は何台ですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. なし | 2. 1台 | 3. 2台 | 4. 3台以上 |
|-------|-------|-------|---------|

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

ご協力いただき、ありがとうございました。
本調査票を返信用封筒に入れ、令和6年10月18日(金)までにご投函ください。

② 事業者アンケート調査票

武蔵村山市の環境についての事業者アンケート調査

日ごろより、武蔵村山市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。
市では、平成28年度から令和7年度までの10年間の計画（令和2年度中間見直しを実施）である「武蔵村山市第二次環境基本計画」を策定し、「みどり」と「暮らし」をみんなで育む「住み良いまち」を目指すべき環境像として掲げ、計画に沿ってさまざまな環境施策を進めてきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えるため、気候変動や生物多様性など昨今の国内外の社会的情勢の変化を踏まえながら、令和8年度を初年度とする「武蔵村山市第三次環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、貴事業所の環境活動の取組状況や課題、市の取組に対するご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年9月

武蔵村山市長 山崎 泰大

- ◆ 市内に所在している事業所500社を無作為に抽出し、無記名でご回答をお願いしています。
- ◆ ご記入にあたっては、貴事業所（ご送付先が支店ならば支店）としてのお考えをご記入ください。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、回答いただいた事業者の情報が公表されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、事業者を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、事業者を特定するものではありません。

ご回答の方法（次のいずれかの方法をお選びください）

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② スマートフォン・WEBでのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/6nStUafqLcwwLzDR9>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。

こちらからも
回答できます



ご回答は、**令和6年10月18日（金）**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

武蔵村山市 環境部 環境課 環境保全係

〒208-8501 東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

電話：042-565-1111（内線296） F A X：042-566-4493

E-mail：kankyo@city.musashimurayama.lg.jp

問2-1 貴事業所では、どのような環境活動に取組んでいますか。それぞれの項目について、1～4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

取組内容		取組んでいる	今後取組みたい	取組む予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	事業所の緑化	1	2	3	4
②	事業所敷地内や周辺の自然環境の保全・再生	1	2	3	4
③	電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践	1	2	3	4
④	温室効果ガス排出量の把握・目標設定	1	2	3	4
⑤	公共交通機関や徒歩・自転車の利用推奨	1	2	3	4
⑥	エコ・ドライブの実践	1	2	3	4
⑦	雨水の再利用などの水の有効利用	1	2	3	4
⑧	環境に配慮した商品や原材料の調達	1	2	3	4
⑨	廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
⑩	使用済み製品や容器等の回収、リサイクル	1	2	3	4
⑪	廃棄物の適正処理	1	2	3	4
⑫	食品ロスの削減	1	2	3	4
⑬	プラスチックの使用削減	1	2	3	4
⑭	大気汚染防止（設備等の設置など）	1	2	3	4
⑮	事業所排水の適正処理	1	2	3	4
⑯	騒音や振動の発生防止（低騒音型機器の導入など）	1	2	3	4
⑰	悪臭防止対策の実施	1	2	3	4
⑱	有害物質の使用削減	1	2	3	4
⑲	特定フロンの使用削減	1	2	3	4
⑳	社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
㉑	環境情報の開示（CSRレポート等）	1	2	3	4
㉒	ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS（環境マネジメントシステム）の導入	1	2	3	4
㉓	環境保全のための基金に対する協力や支援	1	2	3	4
㉔	環境関連ビジネス（環境にやさしい製品の開発、販売技術開発、サービス、コンサルティングなど） その内容を具体的にご記入ください⇒	1	2	3	4

問2-2 このほか、貴事業所が取組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

問3 エネルギー使用量の削減や水害対策となる設備等について、**導入しているものはありますか。**それぞれの項目について、1～5の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

項目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定はないが、関心はある	導入予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒	①	2	3	4	5
① LEDなどの高効率照明	1	2	3	4	5
② 省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入	1	2	3	4	5
③ 高効率ボイラー、モーターなどの動力機	1	2	3	4	5
④ ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなどの高効率空調機	1	2	3	4	5
⑤ 冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御	1	2	3	4	5
⑥ コージェネレーションシステム	1	2	3	4	5
⑦ 建築物の省エネ性能の向上（断熱等）	1	2	3	4	5
⑧ BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）※1	1	2	3	4	5
⑨ PHEV（プラグイン・ハイブリッド・カー）※2	1	2	3	4	5
⑩ EV（電気自動車）	1	2	3	4	5
⑪ FCV（燃料電池自動車）	1	2	3	4	5
⑫ 太陽光発電システム	1	2	3	4	5
⑬ 太陽熱利用システム	1	2	3	4	5
⑭ 蓄電池システム	1	2	3	4	5
⑮ 雨水浸透・貯留設備	1	2	3	4	5

※1 BEMS: 「ビルエネルギーマネジメントシステム」の略で、建物全体のエネルギー設備を統合的に監視し、自動制御することにより、省エネルギー化や運用の最適化を行う管理システム。

※2 PHEV: 搭載したバッテリー（蓄電池）に外部から給電できるハイブリッド車。

問4 **問2又は問3で1つでも1に○をつけた方にお伺いします。**環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。**あてはまる番号をすべて○で囲んでください。**

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 企業イメージ・信用性の向上 | 2. 省エネ・再エネによるコスト削減 |
| 3. 業務の効率化によるコスト削減 | 4. 提供している製品・サービスの品質向上 |
| 5. 提供している製品・サービスの売上向上 | 6. 従業員の環境意識の向上 |
| 7. 特に効果はない | 8. その他 () |

問5 **すべての方にお伺いします。**貴事業所において、環境活動を実施するにあたり、どのようなことが課題であると感じていますか。**あてはまる番号をすべて○で囲んでください。**

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 消費者・利用者の理解向上 | 2. 取引先の理解向上 |
| 3. 従業員の理解向上 | 4. コスト面の課題 |
| 5. 環境対策に関する情報の不足 | 6. 知識をもつ人材の育成・確保 |
| 7. 取組推進のための組織体制の整備 | 8. 取組推進のための人員の不足 |
| 9. 取組を進めるための技術開発が困難 | 10. 取引先や技術支援等の協力先の確保 |
| 11. 企業や各主体の協力・連携体制の整備 | 12. 課題は特にない |
| 13. その他 () | |

問6 貴事業所では**気候変動による風水害や気温上昇に対する備えや影響を抑える取組**を行っていますか。それぞれの項目について、**1~4の中からあてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。**

項目	取組んでいる	検討中(予定有)	予定はないが関心はある	取組む予定はない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① 風水害に備えて職場周辺のハザードマップを従業員に周知している	1	2	3	4
② 風水害に備えてBCP(事業継続計画)を作成している	1	2	3	4
③ 暑さ指数(WBGT)を確認して、熱中症対策をしている	1	2	3	4
④ 熱中症特別警戒情報(熱中症特別警戒アラート) ^{※1} 発令時の対応を決めている	1	2	3	4
⑤ 事業施設をクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)としている	1	2	3	4
⑥ その他 ()	1	2	3	4

※1 熱中症特別警戒アラート：都道府県内において全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合等に発表。経営者、イベント主催者等の管理者は、全ての人が熱中症対策を徹底できているか確認し、できていない場合は、運動、外出、イベント等の中止、延期、変更(リモートワークへの変更を含む。)等の判断の対応が必要とされる。

◆市の環境への取組についてお伺いします◆

問7 武蔵村山市の環境をより良くするために、市が重点的に取組むべき環境施策は、どれだと思えますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

1. 狭山丘陵・樹林地の保全、里山とのふれあいの場の創出
2. 水辺の保全、水辺とのふれあいの場の創出、水循環の促進
3. いきものの生育・生息環境の保存、生物多様性保全のための意識啓発
4. 公園・緑地等の整備、みどりのまちづくりの推進
5. 農地の保全、農業の活性化、農地とのふれあいの場の創出
6. まちの美化、環境に配慮した道路の整備、良好なまちなみの形成
7. 歴史的文化遺産の保全やふれあいの場の創出
8. 大気・水質汚染、騒音・振動、悪臭、土壌・地下水汚染や有害化学物質などへの対策
9. 省エネルギーなどの温室効果ガス排出量の削減対策
10. 太陽光などの再生可能エネルギーの活用推進
11. 建築物の省エネ化や交通の脱炭素化など脱炭素型まちづくりの推進
12. 気候変動（異常気象）に伴う水害や熱中症などへの対策
13. ごみ排出量の抑制、食品ロスの削減
14. 資源の再使用、リサイクル対策
15. プラスチックごみへの対策、適正処理の実施
16. 不法投棄対策
17. 環境情報の収集・提供、意識啓発の実施
18. 学校・職場での環境教育、地域での環境学習
19. 市民や事業所、環境団体などが主体となっていく環境活動への支援
20. その他（)

問8 市が進めている環境に関する取組などの情報について、どのように入手していますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 市報「むさしむらやま」 | 2. 市が発行するパンフレットやチラシ |
| 3. 市のホームページ | 4. 市公式 LINE、SNS |
| 5. 市の窓口や電話での問い合わせ | 6. 議会・議員から |
| 7. 商工会や農業協同組合 | 8. 本社や取引先の事業所 |
| 9. 近隣の事業所 | 10. 情報は得ていない |
| 11. その他（) | |

問11 事業所の地域に対する環境活動について、貴事業所ではどのように考えていますか。
あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 周辺地域の市民または団体と協力して環境保全に貢献したい
2. 市の催しの中で環境に関するイベントなどがあれば参加したい
3. 行政からの働きかけがあれば可能な範囲で協力したい
4. 補助費給付等経済的な処置がとられればその範囲で協力したい
5. 環境税や新たな規制・指導等の制度ができれば協力する
6. 今のところ地域の環境活動に協力する意志はない
7. その他 ()

◆最後に、貴事業所についてお伺いします◆

問12 貴事業所の業種は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ○（兼業の場合、売上げの割合が高いもの）で囲んで下さい。

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 情報通信業 | 6. 運輸・郵便業 |
| 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 | 9. 不動産・物品賃貸業 |
| 10. 飲食・宿泊業 | 11. 医療・福祉 | 12. 教育・学習支援業 |
| 13. サービス業 | 14. その他 () | |

問13 貴事業所の主な形態について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 店舗・飲食店 | 2. 事務所・営業所 | 3. 工場・作業所 |
| 4. 倉庫 | 5. その他 () | |

問14 貴事業所の建物の形態について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1. 所有物件（事業所独立） | 2. 所有物件（自宅と兼用） | 3. 賃貸、テナント |
|----------------|----------------|------------|

問15 省エネ法の該当状況について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 第一種エネルギー管理指定工場（店舗、事務所を含む）である
2. 第二種エネルギー管理指定工場（店舗、事務所を含む）である
3. 特定輸送事業者又は特定荷主である
4. フランチャイズチェーン全体で規制対象となる特定連鎖化事業者である
5. 該当しない

問16 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 1～9人	2. 10～19人	3. 20～49人
4. 50～99人	5. 100～499人	6. 500人以上

問17 貴事業所の所在地について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 北東エリア	2. 北西エリア	3. 南東エリア
4. 南西エリア	5. 緑が丘エリア	

※地域は、以下をご参照ください。

地域名	該当する地区名(町名)	地域名	該当する地区名(町名)
1. 北東エリア	中藤、神明、中央、本町	2. 北西エリア	三ツ木、岸、中原
3. 南東エリア	榎、学園、大南	4. 南西エリア	残堀、伊奈平、三ツ藤
5. 緑が丘エリア	緑が丘		

問18 武蔵村山市での事業年数について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上	

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

ご協力いただき、ありがとうございました。
本調査票を返信用封筒に入れ、令和6年10月18日(金)までにご投函ください。